

令和3年度
事業報告書

社会福祉法人静岡県社会福祉協議会

第1 基本方針	1
第2 主要事業	4
第3 実施事項	
基本目標1 地域福祉を支える仕組みづくり	
実施目標1 住民主体による地域力の強化を推進します	17
実施目標2 多機関協働による包括的な支援体制の構築を支援します	21
実施目標3 地域共生社会の基盤となる市町社協を支援します	29
基本目標2 地域福祉を支える組織・人づくり	
実施目標1 社会福祉事業者等を支援します	34
実施目標2 福祉サービスの担い手の確保と育成を支援します	37
基本目標3 災害福祉支援体制づくり	
実施目標1 災害に備えた支援体制を構築します	54
実施目標2 災害時の市町社協を支援します	58
基本目標4 地域福祉を支える県社協の基盤づくり	
実施目標1 組織・経営強化を図ります	60
実施目標2 「人財」育成を図ります	67
事業報告の附属明細書	70

本計画書は別途作成した「第五次活動推進計画」の理念・体系に基づいて作成しています。

基 本 方 針

第1 基本方針

1 第五次活動推進計画 基本理念

| 本県における地域福祉を取り巻く現状と課題

最も大きな課題は人口減少への対応	現在 364 万人 →2025 年 推計 348 万人(約 16 万人減少)
超高齢社会への対応	一人暮らしや夫婦のみの高齢者世帯の増加 ⇒日常生活を支える仕組みづくり
価値観の多様化や地域のつながりの希薄化	社会的孤立、地域の福祉力が脆弱化 ⇒福祉教育、地域づくり(多分野連携)
課題の複合化・複雑化、制度の狭間	各分野の関係機関の連携が必要(包括的な支援体制の整備、協働の中核機能)
福祉・介護人材の安定的な確保 (2025 年の介護職員 8 千人不足)	イメージアップ、高齢者・外国人の介護人材確保等

誰一人取り残さない社会の形成と高齢者、女性、外国人など、これまで以上に多様な人材の活躍が不可欠



めざす社会の姿「地域共生社会の実現」

制度・分野の『縦割り』や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が『我が事』として参画し、世代や分野を超えて『丸ごと』つながり、一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会の実現

基本理念

地域共生社会の実現をめざし、
多様な主体の参画による地域福祉を推進します。

※基本理念とは、組織の姿勢や進むべき方向性を明確化するものである。(組織の存続原点、使命)

| 地域福祉の推進を目的とする県社協の役割(機能)

1 広域機能

社会全体として取り組んでいくべき重要な課題や、市町段階では容易に取り組めないような困難性の高い課題への対応

2 専門機能

地域における利害調整等を行う「第三者機関」の役割や、単独の事業体では完結できないような専門的な課題への対応(経営支援、人材確保・育成)

3 政策提言・連絡調整機能

地域間格差を解消していくような情報提供と調整、情報共有の場づくり、政策提言

4 情報提供機能

全国各地の情報や新たな課題への対応事例、そのノウハウなどを収集し、提供

計画推進機関：令和2年(2020年)4月～令和7年(2025年)3月の5年間

2 第五次活動推進計画 推進体系

基本理念

地域共生社会の実現をめざし、
多様な主体の参画による地域福祉を推進します。

<p>基本目標 1 地域福祉を支える 仕組みづくり</p> <p>地域共生に資する住民主体の地域力強化及び包括的な支援体制の構築を、広域的な見地から推進します</p>	<p>実施目標1 住民主体による地域力の強化を推進します 地域住民等が主体的に地域生活課題を把握し、解決を試みる体制づくりを推進します</p> <p>実施目標2 多機関協働による包括的な支援体制の構築を支援します 総合相談体制を構築するとともに、問題を解消するための伴走型支援の拡充や官民協働による支援活動を推進します</p> <p>実施目標3 地域共生の基盤となる市町社協を支援します 地域の最前線で地域福祉の推進をリードする、市町社協の経営基盤の強化及び総合力を活かした活動の活性化を支援します</p>
<p>基本目標 2 地域福祉を支える 組織・人づくり</p> <p>地域共生に資する福祉サービスの質の向上及び福祉・介護人材の確保・育成支援を推進します</p>	<p>実施目標1 社会福祉事業者等を支援します 社会福祉事業者等の経営基盤の強化とともに、複数の社会福祉法人等が連携・協働して、制度の狭間にある課題に向き合い、様々な地域づくりに関わる取組の更なる推進を図ります</p> <p>実施目標2 福祉サービスの担い手の確保と育成を支援します 福祉の仕事のイメージアップを図ると共に、関係団体との連携を深め、多様な人材確保や就労環境の改善に資する担い手の育成の支援に努めます</p>
<p>基本目標 3 災害福祉支援 体制づくり</p> <p>地域共生に資する総合的な福祉救援活動の体制整備を平時から推進します</p>	<p>実施目標1 災害に備えた支援体制を構築します 県内全域を対象としたボランティア活動の支援と、要配慮者支援を一体的に展開する災害時の広域支援体制を構築します</p> <p>実施目標2 災害時の市町社協を支援します 市町社協が災害支援活動に専念できるよう、社協ネットワークを活かした重層的な支援体制を構築します</p>
<p>基本目標 4 地域福祉を支える 県社協の基盤づくり</p> <p>地域共生に資する県域の地域福祉推進の中核として、基盤づくりを推進します</p>	<p>実施目標1 組織・経営強化を図ります 多様な主体の参画による組織体制、ガバナンス、安定的な経営基盤の強化とともに、様々な媒体を活用した情報収集と広報力の強化を図ります</p> <p>実施目標2 「人財」育成を図ります 職員を「人財」として大切にし、目指す職員像・行動目標を作成し、職員のキャリアアップを支援する計画的な人材育成を図ります</p>

大切にする視点

- ・「SDGs（持続可能な17の開発目標）」（貧困、保健、教育、ジェンダーなど）
- ・5つの特徴：普遍性、包摂性（誰一人取り残されない）、参画型（全てに役割を）、統合性、透明性

3 SDGs（持続可能な開発指標）と第五次活動推進計画の関係

- 1 持続可能な社会の実現を目指し、2015年9月の国連サミットで全会一致で採択された「SDGs」では、2030年に向けて、すべての国々に普遍的に適用される17の目標に基づき、経済・社会・環境をめぐる広範な課題への統合的な取組が求められています。
- 2 第五次活動推進計画に掲げる基本目標に基づく取組の推進が、SDGsの目標につながります。

普遍性	先進国を含め、 全ての国が行動
包摂性	人間の安全保障の理念を反映し「 誰一人取り残さない 」
参画型	全てのステークホルダーが役割を
統合性	社会・経済・環境に 統合的に取り組む
透明性	定期的にフォローアップ

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



| SDGsの目標（一部）

- ① 貧困（あらゆる場所で、あらゆる形態の貧困に終止符を打つ）
- ② 保健（あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する）
- ③ 教育（すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する）
- ④ ジェンダー（ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る）
- ⑤ 成長・雇用（生産的な完全雇用及び働きがいのある人間らしい仕事を推進する）
- ⑥ 平和（持続可能な開発に向けて平和で包摂的な社会を推進）
- ⑦ 実施手段（持続可能な開発に向けて実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する）

第五次活動推進計画基本目標	①貧困	②保健	③教育	④ジェンダー	⑤成長・雇用	⑥平和	⑦実施手段
①地域福祉を支える仕組みづくり	○	○	○	○	○	○	○
②地域福祉を支える組織・人づくり		○	○	○	○	○	○
③災害福祉支援体制づくり		○		○		○	○
④地域福祉を支える県社協の基盤づくり		○		○	○		○

主 要 事 業

第2 主要事業

基本目標 1 地域福祉を支える仕組みづくり

実施目標 1 住民主体による地域力の強化を推進します

重点事項 福祉以外の分野との協働促進及び地域福祉教育の推進

「地域共生社会」の実現を目指し、全ての世代の人々が地域、暮らし、生きがいを共に創り高め合う地域共生社会の実現と教育、農林水産、多文化共生など福祉以外の分野との協働促進を図るとともに、“社会的包摂”に向けた地域を基盤とした福祉教育を推進した。

	事業内容
1	地域共生社会づくりのための広報啓発 (1) 県社協地域づくり推進委員会の開催 (第1回 6/11、第2回 12/8) (2) ふじのくに地域共生大賞表彰式の開催 (8/6 ※令和2年度に受賞した8団体出席) (3) 地域共生推進フォーラムの開催(12/23 420人参加 ※うちリモート参加 300人)
2	生活支援体制整備の構築 (1) 【WEB開催】生活支援コーディネーター養成研修の開催 (7/14 162人参加) (2) 【WEB開催】生活支援コーディネータースキルアップ研修の開催 (11/26 110人参加) (3) 【WEB】西伊豆町社協移動支援事業運行管理アプリ作成支援(1/13, 21, 25, 2/24, 3/8, 24, 29)
3	地域福祉教育の推進 (1) 小学校 525校に「福祉教育副読本・プログラム集」を配付【赤い羽根助成金事業】 (2) 福祉教育副読本の活用実態調査の実施(政令市 183小学校のうち 96校から回答) (3) 市町社協地域福祉教育担当者会議の開催(8/12 31人参加) (4) 地域福祉教育推進セミナーの開催(12/2 76人参加) (5) 静岡県地域福祉教育推進委員会の開催(第1回 7/29、第2回 3/10) (6) 新たな福祉教育副読本作成事業における作業部会の開催 (8/12、9/9、10/14、11/8、12/6、1/19、2/22、3/10)【赤い羽根助成金事業】

【進捗状況及び成果】

地域共生社会の実現に向けて、地域の中での役割や生きがいの創出、他分野連携を図るために、令和2年度ふじのくに地域共生大賞受賞団体を表彰し、先駆的な事例を情報発信するとともに令和3年度の募集を行った。

また、地域共生推進フォーラムを開催し、「多職種連携」や「地域で最後まで暮らす」をテーマに、人との違いや個々の特性を受け入れ、認め合う地域のあり方について啓発し、理解を深めた。

さらに、福祉教育副読本及びプログラム集を小学校 525校に配付するとともに、活用実態調査を行い、地域福祉教育の推進につなげた。そして、中学生を対象に新たな地域福祉教育副読本の作成のため、作業部会を設置し次年度以降も協議を重ねる。



8/6 ふじのくに「地域共生」大賞表彰式



12/23 地域共生推進フォーラム



福祉教育副読本
 「みんなちがっても
 おなじ『いのち』」
 【赤い羽根助成金事業】

実施目標 2 多機関協働による包括的な支援体制の構築を支援します

重点事項 市町における包括的な支援体制の構築の推進

住民が抱える生活課題の内容は様々で複雑化・複合化しているため、高齢、障がい、児童、生活困窮者などの属性に関わらず、住民が抱える生活課題の解決と繋がり続ける支援活動に向け、支援機関がチームとなり包括的な支援体制を構築する取組を支援した。

事業内容	
1	地域共生のための包括的相談支援体制の構築支援 ※県委託事業 (1) 市町へのアドバイザー派遣 (7市町、計15回) (2) 市町の体制整備に係る相談支援 (6市町、計5回) (3) 包括的相談支援体制構築推進部会の開催 (2/28) (4) 人材育成研修事業 (前期: 講義 WEB 配信 7/20~8/13 132人受講 後期: 10/22、11/12、12/3、12/24) (5) 地域別研究会の開催 (下田 7/16、三島 7/20、沼津 7/21、浜松・静岡 WEB 配信)
2	市町社協における総合相談体制づくりの推進 (1) 権利擁護のあり方検討委員会 (5/18、7/30、10/7) (2) 被災者見守り・相談支援事業の実施 (熱海市)
3	新型コロナウイルス感染症拡大に係る緊急小口資金等特例貸付の実施 【R2.3~R4.3月末までの累計】 ・ 緊急小口資金 申請: 28,392件 5,054,120千円 決定: 26,054件 4,613,320千円 ・ 総合支援資金 申請: 18,450件 8,874,965千円 決定: 16,127件 7,726,385千円
4	児童養護施設等を退所し自立生活を送る学生に対する新型コロナ禍緊急「夢みらい応援資金」交付事業の実施 (1) 学生14人に応援資金一人100,000円を贈呈 (2) 令和3年度“赤い羽根”課題解決プロジェクト募金活動の実施 募金額 1,113,299円

【進捗状況及び成果】

県内全市町及び市町社協に対し、包括的相談支援体制構築事業及び重層的支援体制整備事業の内容や必要性を伝えることができた。すでに体制整備に向けた準備を始めている市町に対しては、アドバイザー派遣を行うことでより具体的に検討を進めることができている。

また、新型コロナウイルス感染症の影響により、収入(所得)の減少や失業した方々の生活支援を目的に、緊急小口資金等特例貸付を実施し、その貸付実績はリーマンショック時の4倍超となっている。

さらに、児童養護施設等への入所措置や里親委託を解除され、大学等の学費や生活費を自分自身で工面して生活を送っている学生で、新型コロナウイルス感染症拡大等により、経済的に困窮し、就学を継続できず、夢を諦めなければならない状況に陥っている方に対し、緊急に「夢みらい応援資金」を贈呈し、その夢と未来を応援した。



7/14 小山町相談支援包括化ネットワーク会議



6/22 夢みらい応援資金贈呈式

実施目標3 地域共生社会の基盤となる市町社協を支援します

重点事項 市町社協の基盤強化と活動支援

地域共生社会づくりに向けて、「社協・生活支援活動強化方針」に基づく事業展開を進めるために市町社協連絡協議会の部会運営や市町社協個別支援・担当制の導入により市町社協の組織・事業基盤の強化を図り活動を支援した。

	事業内容
1	市町社協連絡協議会及び部会の開催 (1)幹事会の開催(7/1) (2)介護保険部会(幹事会:10/11)・広報啓発部会(幹事会2/17)・総務部会(12/6)の開催
2	市町社協個別支援の実施 (1)社会福祉法人等ネットワーク化による協働推進事業実施市町への担当職員配置及び事業への助言、伴走支援(16市町・通年) (2)西伊豆町社協移動支援事業運行管理アプリ作成支援(再掲) (3)市町災害ボランティアセンター設置運営訓練、災害VC養成講座への協力(御殿場市、伊豆市、富士市、志太榛原2市4町、菊川市、掛川市、磐田市、浜松市、湖西市、長泉町、川根本町)
3	市町社協階層別、分野別研修及び会議の開催 (1)市町社協監事研修会の開催(4/12 42人参加) (2)市町社協新任職員研修会の開催(5/20~21 76人参加) (3)市町社協新任事務局長研修・事務局長会議の開催(4/23、5/25) (4)市町社協会計実務研修会の開催(9/9 講義動画収録) (5)市町社協会長会議の開催(3/1) (6)市町社協決算実務研修会の開催(2/21.22 講義動画収録)
4	コミュニティワーク研修、コミュニティソーシャルワーク研修の実施 (1)コミュニティワーク研修会 (データ活用編 11/24 19人参加)(地域福祉活動計画編 1/20 23人参加) (地域アセスメント編 2/2 25人参加) (2)コミュニティソーシャルワーク(地域福祉コーディネーター)実践者養成研修の開催 Step1(7/9~10 27人参加)・Step2(2/25~26 26人参加) (3)コミュニティソーシャルワーク研修受講者継続研修の開催 東部連絡会(7/3 82人参加・2/5 60人参加)、スキルアップ研修(8/24 25人参加)
5	社会福祉法人等と協働した地域公益活動の推進 (1)社会福祉法人等ネットワーク化による協働推進事業の実施(16市町) 令和3年度新規実施市町:伊東市、裾野市、島田市、袋井市、湖西市、函南町 (2)施設経営法人・社会福祉協議会合同研修会の開催(3/3 58人参加) (3)社会福祉法人の地域貢献実態調査の実施(有効回答304法人/432法人(70.3%)) (4)社会福祉法人等の地域貢献事業紹介・魅力発信映像ポータルサイト制作

【進捗状況及び成果】

特に、市町における社会福祉法人等のネットワーク化や協働事業の実施に向けて、県社協に地区担当を配置し、支援に取り組んだ。新たに6市町が「社会福祉法人等ネットワーク化による協働事業」に取り組み、これまで県内35市町の内、30市町でネットワーク化が進んだ。

また、既存の映像化された取組事例を有効に活用できるよう、ポータルサイトを公開し情報発信に力を入れている。



7/10, 11 令和3年度コミュニティソーシャルワーク実践者養成研修会



社会福祉法人等の地域貢献事業紹介・魅力発信映像ポータルサイト

基本目標 2 地域福祉を支える組織・人づくり

実施目標 1 社会福祉事業者等を支援します

重点事項 自主的、自立的な法人経営、施設運営に向けた支援

社会福祉法人等が常に利用者の立場に立って、良質かつ適切な福祉サービスを提供していくため、コンプライアンス（法令順守）の徹底、ガバナンス（組織統治）の確立、財務規律の強化及びサービスの質の向上に向けた体制構築を、県社会福祉法人経営者協議会等と連携して支援した。

事業内容	
1	福祉施設経営指導事業による専門相談の実施 相談件数 469 件
2	経理、労務、施設運営等に関するWEB研修の開催(11本 1,269施設参加)
3	民間社会福祉施設運営費助成基金助成事業の実施 助成実績 一般助成決定件数 51件 8,076,000円 特別助成決定件数 1件 630,000円
4	感染症発生施設への応援体制構築事業の実施 (1)社会福祉施設・事業所面会者向け注意喚起動画の作成 (2)クラスター対応会議の開催(12回) (3)クラスター発生施設への応援職員の派遣調整(高齢施設5件、障害者施設1件 派遣人数:22人)

【進捗状況及び成果】

福祉施設経営指導事業や経理、労務、施設運営等に関するWEB研修の開催等により、社会福祉法人・施設の経営基盤の強化に寄与した。

また、新型コロナウイルス感染症に係る「社会福祉施設・事業所面会者向け注意喚起動画」を作成し、感染防止対策の徹底を図るとともに、クラスター発生施設への応援職員の派遣調整を行い、当該施設の事業継続を支援した。

実施目標2 福祉サービスの担い手の確保と育成を支援します

重点事項 福祉サービスの担い手の確保の推進

福祉の仕事のイメージアップを図ると共に、関係団体との連携を深め、多様な人材確保や就労環境の改善に資する担い手の育成を支援した。

	事業内容
1	<p>社会福祉人材センターの運営及び利用促進</p> <p>(1) 無料職業紹介所の運営（本所・東部支所） 新規求人登録数 11,667人 新規求職登録数 3,881人 就職者数 484人 全県 667人 ※全国 1位</p> <p>(2) 無期雇用就職者の離職状況の確認</p> <p>(3) 福祉人材マッチング機能強化事業の実施 施設訪問 229か所 マッチング就職者件数 288件 マッチング支援者数 515件</p> <p>(4) 福祉の就職&進学フェアの開催(他業種からの転職者や学生等、幅広いターゲット向け) ア 地域密着型就職相談会の開催(8会場 313人参加) イ 合同企業説明会への参加(6会場) ウ 静岡県主催「静岡まるごと移住フェア ONLINE」に出展(1/30、3/6)</p> <p>(5) 大学等での出前説明会（事業所説明会や福祉職セミナー等）の開催(7回)</p>
2	<p>事業者等と福祉人材確保・定着実践研究会の実施（オンライン開催）</p> <p>(1) 就職フェア分科会（5/25、9/15） (2) 学生や他業種へのアプローチ分科会（6/4、10/4、3/18） (3) 人材定着分科会（6/3、9/27） (4) 外国人雇用分科会（6/11、10/7） (5) 保育分科会（10/27） (6) 研修分科会（12/21）</p>
3	<p>他機関との連携による外国人福祉人材等の雇用・定着支援</p> <p>(1) 外国人介護人材サポート事業の実施 ・ 職場訪問（71回）6～2月 ・ 研修交流会の開催（ZOOM、県内15回開催、1回中止）※9月に7回、2月に8回</p>
4	<p>保育士・保育所支援センターの運営及び利用促進</p> <p>(1) 保育士・保育所支援センターの運営(就職支援コーディネーター3名を配置) 保育所就職者数 119人</p> <p>(2) 保育士就職説明会の開催 県内4か所 ※内1か所、WEB開催 保育所就職者数 7人</p> <p>(3) 潜在保育士現場復帰支援研修の開催(4回166人参加) ※内1回、WEB開催</p> <p>(4) 出張相談会の開催(計13回) ・ 静岡县委託分 6回 ・ 静岡市委託分 7回</p> <p>(5) 保育現場体験事業の開催 静岡县委託分 体験23人36日、静岡市委託分 体験6人15日・見学0人</p> <p>(6) 保育士さんの働く職場説明会&セミナーの実施(3回17人参加)</p> <p>(7) 保育士・保育所支援センター登録システム及びホームページの管理運営、離職保育士届出制度の周知(離職保育士届出数184人)</p> <p>(8) 放課後児童支援員の人材確保支援 求職相談件数 42件 就職者数 0人</p> <p>(9) 保育士養成施設連絡会の開催(7/2、3/22)</p>

5	福祉教育・仕事理解の講座等による若年層や教員、保護者等への浸透 (1)福祉のお仕事魅力発見セミナーの実施 小学校 43校 81回、中学校 26校 78回、高等学校 19校 33回 計 88校 192回 参加者数 6,339人 (2)保護者向け啓発資料の作成・配布 (10,000部作成)
6	福祉施設の見学会や参加・体験型イベントの実施 (1)福祉のしごと学び体験ツアーの実施 ・中部 (シズウエル) 7/27、東部 8/3 (プラサヴェルデ)、西部 8/6 (サーラシティ浜松) VR認知症体験プログラム、リモート施設見学会、現役の福祉系大学・専門学校生からのメッセージを通して、福祉の仕事の魅力や、やりがい等を発信した。参加者 49人

【進捗状況及び成果】

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、求職者が求人者から直接話を聞く機会の制限が続く中、個別就職相談会や施設見学会等で WEB を有効活用することにより、全国的に福祉分野の求職者数が低迷している中にあっても 484 人の就職者を確保した。浜松市福祉人材バンクと合わせた県全体では 667 人となり、全国 1 位を維持している。

また、将来の人材確保につなげるための小・中・高校生に向けた福祉の仕事の魅力を伝える取組は、オンラインによる開催も併用することで、目標の 150 回より 42 回多い 192 回の出前講座を実施した。



6/16 保育出張相談会



3/5 冬・SHIZUOKA 福祉の就職相談会

基本目標 3 災害福祉支援体制づくり

実施目標 1 災害に備えた支援体制を構築します

重点事項 静岡県災害ボランティア本部・情報センター及び静岡県災害福祉広域支援ネットワークの機能強化

県内全域を対象としたボランティア活動の支援と、要配慮者支援を一体的に展開する災害時の広域支援体制の構築に向けて取り組んだ。

事業内容							
1	<p>静岡県災害ボランティア本部・情報センターの機能強化</p> <p>(1) 令和3年7月静岡県東部豪雨災害に係る「静岡県災害ボランティア本部・情報センター」(以下「県V本部」)の設置(令和3年7月3日～)【赤い羽根助成金事業】 熱海市・沼津市・富士市社協への県V本部スタッフ・市町社協の職員派遣(～10/9) 派遣実人員 172名 延べ563人日の派遣(県V本部 181人日、市町社協 382人日)</p> <p>(2) 活動資機材ストックヤード設置(県内5ヶ所目：森町) ・6/29 設置と保守点検【赤い羽根助成金事業】</p> <p>(3) 外部有識者と「災害福祉支援アドバイザー」の業務委託契約締結(9/1～)</p> <p>(4) IT支援協定に基づく平時の取組の実施 ・サイボウズ災害支援チームと市町社協職員との定例情報共有ミーティング(毎週月曜日)</p> <p>(5) 災害VC運営効率化のためのアプリ開発、WEBサイトの充実及び情報発信の強化 ・被害状況収集アプリ作成。被害情報収集と市町被害状況共有view設置(7月豪雨) ・令和3年7月静岡県豪雨災害における沼津市及び熱海市災害ボランティアセンター業務支援アプリの導入と運用</p> <p>(6) 「静岡県災害ボランティア本部・情報センターの設置・運営等に関する協定」(9/9)</p>						
2	<p>静岡県災害福祉広域支援ネットワークの機能強化</p> <p>(1) 静岡県災害派遣福祉チーム(静岡 DWAT)の体制強化</p> <p>ア 静岡 DWAT 登録員養成研修の開催(2/28)</p> <p>イ スキルアップ研修の開催(12/21.22)</p> <p>ウ 平常時の支援活動展開(8回)</p> <p>エ 熱海市土砂災害における静岡 DWAT 派遣活動</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>派遣場所</th> <th>派遣期間</th> <th>派遣者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>熱海市避難所 (ニューフジヤホテル、 ウオミサキホテル、金城館)</td> <td>7/5～8/31 (57日間)</td> <td>延べ215人</td> </tr> </tbody> </table> <p>オ 県内3地域(東部・中部・西部)における支部活動の推進 支部活動検討会の開催(各1回 計52人参加)</p> <p>カ 派遣者振り返りの会の開催(10/20)</p> <p>キ ネットワーク会議の開催(3/9)</p> <p>ク 医療・保健・福祉分野における災害支援団体連絡会の開催(11/5、2/25)</p>	派遣場所	派遣期間	派遣者数	熱海市避難所 (ニューフジヤホテル、 ウオミサキホテル、金城館)	7/5～8/31 (57日間)	延べ215人
派遣場所	派遣期間	派遣者数					
熱海市避難所 (ニューフジヤホテル、 ウオミサキホテル、金城館)	7/5～8/31 (57日間)	延べ215人					

【進捗状況及び成果】

令和3年7月の静岡県東部豪雨災害に対応するため、静岡県ボランティア協会とともに「静岡県災害ボランティア本部・情報センター」を7月3日(土)に開設し、全国的な災害ボランティア支援団体の協力を得ながら、対応にあたっている。

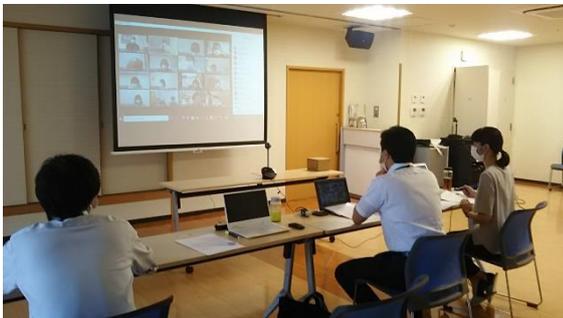
特に、初動を迅速に行って体制を整え、発災当日に情報共有会議を開催し、関係者間で情報共有が図れた。また、当センター単独の運営にとどまらない包括的な視点で支援体制の構築を、課題を残しつつも模索できた。さらには、熱海市内のホテルが避難所になる中で、全国ではじめて、当センターと災害派遣福祉チーム(DWAT)が連携した支援活動に取り組むことができた。



災害ボランティアセンター業務支援アプリ
(熱海市災害ボランティアセンター)



令和3年7月豪雨災害 被災地社協特設サイトの構築



令和3年度静岡 DWAT 支部活動検討会
(西部支部)



熱海市での静岡 DWAT 派遣活動
(健康体操)

実施目標 2 災害時の市町社協を支援します

重点事項 市町社協の運営支援及び被災者への生活支援

市町社協が災害支援活動に専念できるよう支援活動を展開し、大規模災害発生時に支援が必要な被災者に対する支援体制の整備を図った。

事業内容	
1	<p>市町社協の運営支援</p> <p>(1) 災害時相互支援協定に基づく職員の派遣</p> <p>ア 令和3年7月豪雨災害における静岡県災害ボランティア本部・情報センターの設置運営と被災地社協支援の実施</p> <p>イ 令和3年7月豪雨災害における市町社協職員応援派遣の実施 熱海市 125人、延べ442人日 沼津市 37人、延べ99人日、富士市 10人、延べ22人日</p> <p>(2) 市町社協災害ボランティア担当者研修・会議</p> <p>ア 市町社協災害ボランティア担当者会議 (4/30)</p> <p>イ 静岡県下災害ボランティア本部（センター）運営力向上事業【赤い羽根助成事業】市町社協災害ボランティア担当者人材育成研修会の開催 第1回：実践編(6/17 32市町社協、46人参加) 第2回：運営編(11/29 27社協、47人参加) 第3回：情報共有システム活用研修(25市町社協、51人参加)</p>
2	<p>円滑な生活福祉資金（特例貸付）の実施</p> <p>(1) 生活福祉資金特例貸付の実施を想定した体制整備の構築</p> <p>(2) 被災者への生活支援(特例貸付業務応援職員の派遣 71人派遣)</p>
3	<p>災害時における日常生活自立支援事業の利用者支援</p> <p>(1) 利用者の安否確認と避難生活時の支援を想定した体制整備の構築</p> <p>(2) 災害時運営マニュアルの検証</p>
4	<p>災害時における介護保険事業の利用者支援</p> <p>(1) サービス利用者の安否確認と避難生活時の支援を想定した体制整備</p> <p>(2) 災害時対応マニュアルの策定支援</p>
5	<p>被災者見守り・相談支援事業の実施</p> <p>(1) 静岡県熱海地域支え合い支援センターの開設(開設日 10/4)・運営</p> <p>(2) 熱海市伊豆山ささえ逢いセンターの事業支援(開設日 10/4)</p>



静岡県下災害ボランティア本部
(センター) 運営力向上事業



市町社協職員応援派遣
(熱海市災害ボランティアセンター)



静岡県災害ボランティア本部・情報センター



熱海市伊豆山ささえ逢いセンター

【進捗状況及び成果】

災害に備えて平時から市町社協の人材育成を支援し、市町社協間と担当職員間のネットワーク構築を図ることができた。被災前に研修を開催していたことで、実際の災害で外部支援者の支援をスムーズに受け入れることができた。

生活再建に向けて被災者支援を行う熱海市社協に対して、県センターを設置し後方支援を継続している。

基本目標4 地域福祉を支える県社協の基盤づくり

実施目標1 組織・経営強化を図ります

重点事項 安定的な法人運営の実施

本会の会員サービスの充実に向けた検討を行うとともに、未加入の県内事業所等に対し、加入促進を行った。

また、経営基盤を強化するために、事業の効率化、財源の確保、ITの高度化を進めるとともに、組織体制・ガバナンスの強化を図った。

事業内容	
1	会員サービスの充実 (1) 会員サービスの充実に向けた検討 ・会員向けの研修「リスクマネジメント研修会」を開催 (Zoom開催 参加者 112人)
2	連絡協議会、部会、委員会活動の充実 (再掲) (1) 介護保険部会 (幹事会: 10/11) (2) 広報啓発部会 (幹事会 2/17) (3) 相談事業部会 (4) 総務部会 (12/6) の開催 (5) 介護保険部会全体会等 (3/1) を開催し、市町社協が抱える課題を共有し、課題解決の参考となる研修会の企画を検討した。
3	理事会・評議員会等の運営 (1) 新型コロナウイルスによる経済活動低迷の長期化を受けた生活福祉資金の期間延長、7月の静岡県東部豪雨災害対応等のため、定例開催の他、理事会及び評議員会を書面により開催し、必要な予算措置を行った。 ア 理事会 7回開催 イ 評議員会 6回開催 ウ 監事監査 1回開催 エ 評議員選定委員会 1回開催

4	<p>経営基盤の強化</p> <p>(1) 新たな自主財源の検討・獲得</p> <p>(2) 各種基金の運用方法の見直し ・松下基金の運用債券を売買し、長期にわたる安定的な利息収入の確保に努めた。</p> <p>(3) 事業の検証及び決算分析の実施 ・令和2年度の決算分析を実施し、理事会及び評議員会に報告した。</p> <p>(4) 支出削減への積極的取組（契約の見直し、エコジョブ運動） ・法人名義のクレジットカードの利用を開始し、これまで代行決裁業者に支払っていた手数料の削減を図った。 ・福祉カレンダーのサイズ見直し、各種就職相談会のオンライン開催、動画編集の内製化などにより、経費の削減に努めた</p> <p>(5) システムの導入及び改善 ・公益事業の貸付管理システムを稼働し、エクセルによる総合振込依頼書の作成からオンライン送金に一部変更した。 ・勤怠管理等の事務省力化のため、勤怠管理システムの導入を進めた（令和4年度） ・福祉人材センターの求職・求人情報や、県内一次生活利用者の食糧・日用品のリスト管理等について、業務改善ツールであるキントーンの活用により、情報の共有・業務の円滑化を図った。</p>
5	<p>任意監査の実施</p> <p>(1) 公認会計士による外部監査（年3回） ア 令和2年度決算監査（5/17～18） イ 上半期出納監査（11/17～18） ウ 下半期予算執行監査（2/16～17）</p>
6	<p>県総合社会福祉会館（シズウエル）の管理運営 （指定管理期間 平成31年4月1日～令和6年3月31日）</p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染防止の対応 会館内でのマスク着用の呼びかけ、玄関や会議室へのアルコール消毒液の設置、受付の飛沫防止パネルの設置、トイレ等の消毒などの対策を徹底した。 また、緊急事態宣言、まん延防止等重点措置に対応し、宣言期間中の会議室の使用抑制・返金対応等を行った。</p> <p>(2) 会館入居団体職員等を対象とした接遇研修の実施 新規採用等の初めて受講する職員向けの研修（5/28、21人）と、管理職等の受講経験者に分けた接遇研修（6/7、8人）を行い、会館入居団体の職員等の資質向上を図った。</p> <p>(3) 防災訓練の実施 ア 第1回防災訓練（9/2） ・新型コロナによる緊急事態宣言下であったため、密集を避けるため、放水訓練を除き、図上により実施した。 イ 第2回防災訓練（2/18） ・新型コロナウイルス感染症によるまん延防止等重点措置が適用されていたため、感染防止の観点から、図上により実施した。</p>

7	<p>静岡県社会福祉協議会災害対策本部の運営</p> <p>(1) 県社協災害対策実施計画、各業務班の活動マニュアル作成と随時見直し、緊急連絡網のシステム化に係る検討を進めた。</p> <p>(2) 県社協災害対策本部の立ち上げ訓練については、7月県東部豪雨災害による県災害ボランティア本部・情報センターの業務を優先し、実施しなかったが、実災害におけるボランティア本部運営のノウハウを得た。</p>
8	<p>広報力の強化</p> <p>(1) 福祉情報の発信強化</p> <p>ア 職員を対象に、魅力的なSNSの発信・活用に関する研修会(7/19)、広報力(情報発信力)を強化する職員研修(12/22、1/7)を実施した。</p> <p>イ 県社協70周年史</p> <p>70年史を編纂し発行した。(2,300部作成、県社協会員や関係機関に配布)</p>

【進捗状況及び成果】

会員サービスの充実のため、会員限定の研修会や、会員向け研修のオンデマンド配信、ホームページの会員専用ページに掲載する「団体要覧」の使い勝手の向上を行った。

経営基盤の強化の取組として、法人名義のクレジットカードによる事務経費の縮減や、福祉カレンダーのサイズ見直し、各種就職相談会のオンライン開催、動画編集の内製化などにより、経費の削減を図った。また、事務執行の上で欠かせない各種電算システムの改善を行い、事務の省力化や情報の共有化を進めた。

県総合社会福祉会館の管理・運営においては、新型コロナウイルス感染症の影響の長期化を受け、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置期間の会議室の使用抑制、防災訓練の図上実施、フェスタサイズウエルの中止など多くの影響を受けたが、引き続き入居者・来館者が安全・安心に施設を利用できる環境整備に努めた。

実施目標2 「人財」育成を図ります

重点事項 安心して働ける職場づくり

本会職員が、育児・介護等個々のライフスタイルに合った働き方ができるような環境を整備するとともに、計画的な職員の人材育成を図った。

	事業内容
1	<p>働きやすい職場環境の整備</p> <p>(1) 多様な働き方の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務の状況を考慮しながら、各部各課において、時差出勤、テレワークを実施 ・育児休業・介護休業法の改正に合わせ、規程類を改正 ・管理職員の災害対応を想定し、県の制度を参考に管理職特別勤務手当を創設 ・新型コロナウイルスのワクチン接種や、本人や親族のワクチン副反応により療養が必要な場合について、職務専念義務免除の対象とした。 <p>(2) 職員健康診断、人間ドック等の各種助成</p>
2	<p>職員研修の実施</p> <p>(1) 職員の研修体系の構築と階層別研修への参加(新採、中堅、管理職員等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修計画の策定(4/1) ・新規採用職員研修(4/2・13 10人、7/1 1人、1/4 1人、2/1 3人)

	<ul style="list-style-type: none"> ・市町社協新任職員研修会 (5/20～21 76人) ・キャリアパス対応生涯研修課程 (初任者) (7/26、8/16～17 2人 ※対象3人の内、災害対応のため1人延期) ・キャリアパス対応生涯研修課程(チームリーダー) (4/21、5/12～13 1人) <p>(2) 専門研修 (テーマ別) への参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人会計実務講座の受講 (入門・初級コース4人、中級コース2人) ・第57回社会福祉セミナーへの参加 (2人) <p>(3) 職員に対する資格取得奨励研修 (希望選考制)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉主事資格認定通信課程の受講 (春季コース1人、秋季コース1人) <p>(4) 外部からの依頼による講師の派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> ・静岡大学講義 ・DWA T養成研修 (東京都、三重県、京都府、奈良県、島根県、愛知県) ・静岡市ケアマネット協会全体研修会 ・奈良県社会福祉協議会研修講師 ・長野ふくしチーム学習会 ・掛川市災害VCDN養成講座 ・静岡災害リハビリテーション研修会 ・名古屋市災害ボランティアセンター3社合同研修 ・新潟県災害支援コーディネーター養成研修 (2回) ・生協役職員研修会 ・関東甲信越静岡ブロック社会福祉法人経営青年会研修会 ・神奈川県内市町社協ICT情報共有会議 ・浜松市災害VC講座 ・日本介護福祉学会シンポジウム ・全社協チームリーダー養成研修
--	--

【進捗状況及び成果】

安心して働ける職場環境整備のため、育児・介護休業法の改正に伴う規程類の改正、管理職員の災害対応を想定した管理職特別勤務手当の創設、新型コロナウイルスのワクチン接種を受けやすくなるよう職務専念義務免除の対象見直し等を行った。

また、引き続き、各種健康診断やストレスチェックの実施や、人間ドックやインフルエンザ予防接種の費用助成等を通じ、職員の健康保持をすることができた。

職員研修については、階層別研修、専門研修 (テーマ別)、自発的な資格取得支援を組み合わせる体系的な人材育成を進めるとともに、積極的に職員を講師として派遣することにより、外部団体の人財育成支援だけでなく、多くの交流経験を職員が積むことができた。

实施事项

第3 実施事項

基本目標1 地域福祉を支える仕組みづくり

実施目標1 住民主体による地域力の強化を推進します

推進事項1 地域住民が支え合う地域づくりの推進

市町において地域力強化や生活支援体制整備するにあたり、市町間の情報共有の場づくりや人材育成などの市町への支援、及び広域で推進していく必要がある取組を関係機関と協働して推進した。

事業の実績	効果・評価
<p>(1) 地域共生社会づくりのための広報啓発</p> <p>ア 地域づくり推進委員会の開催(第1回6/11、第2回12/8)</p> <p>イ ふじのくに「地域共生」大賞の募集 (30団体の応募)</p> <p>ウ ふじのくに地域共生大賞表彰式の開催 (8/6)</p> <p>エ 地域共生推進フォーラムの開催 (12/23 420人参加)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域共生社会の推進に向け、「誰もが住み慣れた地域で最後まで暮らす」をテーマに、当事者(人工呼吸器ユーザー、若年性認知症)と共生型サービス実践の先駆者からの発信をメインに開催した。 <p>講演「地域で暮らす」</p> <p>講師 海老原 宏美 氏(自立生活センター東大和理事長) 丹野 智文 氏(おれんじドア実行委員会代表) 惣万 佳代子 氏(特非このゆびと〜まれ理事長)</p> <p>パネルディスカッション「地域でともに暮らすために」</p> <p>登壇者 上記の講師3名</p> <p>コーディネーター 高橋 邦典 氏(静岡県社会福祉協議会常務理事、静岡県社会福祉士会会長)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域共生社会の実現に向けた多分野連携における先駆的活動の事例収集と情報発信を行った。  <p>ふじのくに地域共生大賞表彰式</p>  <p>地域共生推進フォーラム</p>
<p>(2) 住民が主体的に地域課題を把握して解決を試みる体制整備の支援</p> <p>ア 地域福祉推進ブロック会議全体会(6/18)</p> <p>[WEB]「地域共生社会の実現に向けた市町の包括的支援体制構築について」講師：中島修氏(文京学院大学)</p> <p>イ 地域福祉推進ブロック会議地域別会議(県内3地区)</p> <p>市町における包括的支援体制に係る事例紹介(配信)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・埼玉県鳩山町、愛知県長久手町の取組 <p>(3) 生活支援体制整備の構築</p> <p>ア 【WEB開催】生活支援コーディネーター養成研修の開催(7/14 162人参加)</p> <p>イ 【WEB開催】生活支援コーディネータースキルアップ研修の開催(11/26 110人参加)</p> <p>ウ 【新規】西伊豆町移動支援事業運行管理アプリ作成支援</p> <p>(4) ふじのくに型福祉サービスの推進</p> <p>ア 専門家派遣事業の実施(1/24 4人派遣)</p> <p>イ 県内11か所の居場所取材(2月～3月)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各市町における地域福祉計画の策定や重層的支援体制整備事業の進捗や課題等について先駆的市町の事例を学び、情報の共有化を図った。 ・生活支援コーディネーターに求められる知識(法的根拠の理解、協議体運営、関係づくり等)やノウハウの習得に寄与した。 ・運行管理の業務効率を図るためにkintoneアプリを作成し業務改善に寄与した。 ・コロナ禍以降も活動が盛んな居場所を取材撮影し好事例の収集

<p>(5) 子どもの居場所づくりへの支援 ア 【新規】子どもの居場所づくり活動応援事業 募集開始：令和3年11月～ 申請：57件、決定：55件（補助金決定総額5,131千円） ※辞退4件、変更申請4件 確定：51件（補助金確定総額：4,776千円）</p>	<p>を行った。 ・子どもの居場所、子ども食堂運営者への活動費助成を行い、継続的な運営に寄与した。</p>
--	--

推進事項2 地域福祉教育及びボランティア・市民活動の推進

全県的な福祉啓発活動の推進とともに、市町社協と協働して、地域を基盤とした福祉教育を推進した。

また、ボランティア・市民活動を推進するため、中間支援組織との関係づくりとともに、広域の中間支援組織として、新たな担い手や社会資源の確保・マッチング、情報提供、人材育成に対する支援を行った。

事業の実績	効果・評価						
<p>(1) 地域福祉教育の推進(静岡県地域福祉教育推進計画の推進)</p> <p>ア 福祉教育副読本作成事業【赤い羽根助成金事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内小学校525校に福祉教育副読本とプログラム集を配付した。 <p>イ 福祉教育副読本の活用実態調査の実施（政令市183校のうち96校から回答） (活用状況)</p> <table border="1" data-bbox="248 1079 1027 1375"> <thead> <tr> <th>調査内容</th> <th>回答結果と回答数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>活用している小学校の学年について</td> <td>小学生4年：95件(98.9%)</td> </tr> <tr> <td>どのように活用されているか</td> <td>児童に配付：63件(65.6%) 総合的な学習で活用：43件(44.8%) 授業で活用：33件(34.3%) →うち道徳：30件(31.2%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>ウ 市町社協地域福祉教育担当者会議の実施(8/12 31人参加) 講師：静岡福祉大学学長 増田 樹郎 氏 基調講義：「今だからこそ、求められる地域福祉教育の視点」～新たな福祉教育副読本のために～ 意見交換(グループワーク)「各市町社協における取組」</p> <p>エ 【新規】地域福祉教育推進セミナーの開催(12/2 76人参加) 『ともに生きる』ことをテーマに、地域共生社会の実現に向けて、みなさんとともに考える場として開催した。 趣旨説明：静岡福祉大学学長 増田 樹郎 氏 講演：①「重度障害者が社会を変える～ダイバーシティと表現未満～」 認定NPO法人クリエイティブサポートレッツ 理事長 久保田 翠 氏 ②「まとまりきらないほど人生はいい」 skybeans HAHAHANO.LABO 代表 二宮 奈緒子 氏</p> <p>オ 地域福祉教育推進委員会の開催(第1回 7/29、第2回 3/10)</p>	調査内容	回答結果と回答数	活用している小学校の学年について	小学生4年：95件(98.9%)	どのように活用されているか	児童に配付：63件(65.6%) 総合的な学習で活用：43件(44.8%) 授業で活用：33件(34.3%) →うち道徳：30件(31.2%)	<p>・福祉教育副読本を増刷し、県内の各小学校へ配布。また、活用実態調査を実施し、4割以上が「総合的な学習」で活用されていることがわかった。</p>  <p>福祉教育担当者会議</p>  <p>地域福祉教育推進セミナー</p> <p>・コロナ禍だからこそ、求められる地域福祉教育の視点について、地域全体で考えていくことを学んだ。</p>
調査内容	回答結果と回答数						
活用している小学校の学年について	小学生4年：95件(98.9%)						
どのように活用されているか	児童に配付：63件(65.6%) 総合的な学習で活用：43件(44.8%) 授業で活用：33件(34.3%) →うち道徳：30件(31.2%)						

- カ 福祉の思い・ココロを育む講師の派遣 (7/26)
フクシマン(石津道弘 氏)を掛川市西南郷地区へ派遣した。
- キ 【新規】新たな福祉教育副読本作成事業における作業部会の開催
(8/12、9/9、10/14、11/8、12/6、1/19、2/22、3/10)
 - ・小学4年生版の副読本に続く、中学生版の新たな福祉教育副読本の作成に向けた作業部会を設置し、協議をしている。【赤い羽根助成金事業】

(2) 全県的な福祉啓発の推進

- ア 暮らし・安心・支え合い”福祉のまちづくり県民運動の実施
(主に9～10月)県民福祉の日に関する広報啓発事業
 - ・「県民福祉の日」啓発用チラシ、ポスターの作成・配布
 - ・他団体が実施する行事等への協賛依頼
 - ・啓発用のぼり旗の設置
- イ 福祉のまちづくり絵画コンクールの開催
 - ・福祉に関する絵画作品の募集 (6/2～9/6)
 - ・応募総数：113校、913作品
 - ・最優秀賞1作品、優秀賞1作品、奨励賞13作品
 - ・表彰式(健康福祉大会)(※中止)
 - ・展示会(入選作品の展示)
 - ※東、中、西部各1か所
 - 中部：県庁別館 21階 10/29(金)～11/15(月)18日間
 - 西部：磐田市立中央図書館 11/25(木)～12/2(木)8日間
 - 東部：サンウェルぬまづ 1/11(火)～1/24(月)14日間
- ウ 福祉カレンダーの作成・配布
上記コンクール入賞作品を使用してカレンダーを作成、配布
※カレンダーには福祉に関する日(県民福祉の日や介護の日等)を書き入れ、その周知と福祉教育等に活用



- エ マスコミを活用した広報・啓発活動の実施
- オ 静岡県健康福祉大会の開催 ※開催中止
- カ 各福祉週間等啓発事業
 - ① 児童福祉週間(5月)
児童福祉週間の横断幕掲揚(4/30～5/10)
メールマガジンに掲載



新たな福祉教育副読本作業部会

- ・住民の気づきや地域活動への参加機運の醸成に寄与した。



福祉のまちづくり絵画コンクール募集チラシ



令和4年版福祉カレンダー

- ② 老人週間(9月)
広報誌9月号、HP、メールマガジンに掲載
- ③ 児童虐待防止月間(11月)
- ④ 障害者週間(12月)

(3) ボランティア・市民活動の推進

- ア 地域づくり推進委員会の開催 (6/11)【再掲】
- イ 市町社協ボランティア担当者会議(兼)ボランティアコーディネーター養成研修の実施(1/15 9人参加)
ボランティアコーディネーションの基礎を踏まえ、コロナ禍でのボランティア活動の事例を基に、ボランティア活動者のニーズに応えられるコーディネート力を養うことを目的に開催した。
- ウ 地域アセスメント等のスキルアップの向上【再掲】

(4) ふれあい基金による活動支援の実施

- ア ふれあい基金運営委員会の開催
第1回開催：6/8 Web(Zoom ミーティング併用)
下記助成先決定の承認を受けた。
第2回開催：2/15 Web(Zoom ミーティング併用)
令和3年度の実績見込みの報告と令和4年度の予定を報告、承認を受けた。

イ 県ボランティア協会への助成

- ①リフトバス運行事業
- ②ボランティア研究集会事業
- ③市民活動推進事業
- ④「ケアする人のケア」事業

ウ 地域福祉・ボランティア活動等推進助成事業

エ 広域的な防災推進助成事業

- 志太榛原4市2町の社協による広域連携事業
- 菊川市社会福祉協議会による近隣市連携による大規模災害被災時対応訓練と災害ボランティア育成事業

オ しずおかの居場所助成事業

- ①募集開始：市町社協、NPO等への周知(令和3年4月～)
県内50団体から申込
- ②助成先の審議：第1回ふれあい基金運営委員会
33団体の助成先を決定
活動推進助成(20団体：先駆的助成3団体含む)、セルフヘルプグループ活動支援助成(1団体)、しずおかの居場所助成事業(10団体)、広域的な防災推進助成事業(2団体)
- ③助成総額6,096千円
- ④実績：新型コロナウイルス感染拡大防止等の影響の為、事業縮小・変更申請(1件)・辞退(1件)があった。

⑤ 助成確定総額5,857千円

カ ふじのくに「地域共生」大賞の募集【再掲】

- ・県内ボランティアコーディネーターの資質向上を目的に、コロナ禍でのボランティア活動支援について情報交換を図ることができた。



ボランティアコーディネーター養成研修会

- ・在宅福祉・ボランティア活動等民間社会福祉団体が行う地域福祉活動の充実と発展に寄与した。
- ・近隣市町社協が連携して実践的な訓練と研修が開催でき、災害に対応する知識が習得され、関係者のネットワーク構築に寄与した。

<p>キ 災害ボランティア本部体制整備事業</p> <p>ク 福祉文化作品展奨励事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童養護施設協議会 (5/1～5/19 作品展開催) ・身体障害者福祉会 (11/11～11/16 作品展開催) ・肢体不自由児協会 (1/19～2/10 作品展開催) <p>ケ 高齢者等の移動支援検討事業</p> <p>西伊豆町社協移動支援事業運行管理アプリ作成支援【再掲】</p> <p>(5) ABCしあわせ基金車両贈呈事業の実施 (1月)</p> <p>申込のあった80団体について「ABCしあわせ基金運営委員会」(6/22)で審議し2団体を決定。車両贈呈式開催 (R04.1/18)</p> <p>寄贈団体</p> <p>①一般社団法人ゆいまある 就労継続支援B型事業所 響 寄贈車両：トヨタ ルーミーX</p> <p>②社会福祉法人茗翠会 ケアハウス花みずき・花みずきデイサービスセンター 寄贈車両：スズキ エブリィワゴン</p> <p>(6) 教員免許取得に係る介護等体験事業の実施</p> <p>介護等体験は、新型コロナウイルスの感染拡大のため、文部科学省の代替措置特例が延長となり、大学へ連絡調整を行った。</p>	 <p>ABCしあわせ基金車両贈呈式</p> <p>・実施方法の変更等について情報提供し、教員免許取得のための支援ができた。</p>
--	---

実施目標2 多機関協働による包括的な支援体制の構築を支援します

推進事項1 包括的支援体制の構築に向けた相談支援事業の実施支援

多様化・複合化した生活課題を抱える人や家族に対し、分野を超えて総合的に相談に応じ、関係機関との調整を行う体制を構築できるよう、アドバイザーの派遣や地域別の研究会を行い、市町の包括的相談支援体制の構築を支援した。

事業の実績	効果・評価
<p>(1) 地域共生のための包括的相談支援体制の構築支援</p> <p>ア 市町へのアドバイザー派遣 (7市町、計15回)</p> <p>イ 市町の体制整備に係る相談支援 (6市町、計5回)</p> <p>ウ 包括的相談支援体制構築推進部会の開催 (2/28)</p> <p>エ 人材育成研修事業 (前期：講義 WEB 配信 7/20～8/13 132人受講 後期：10/22、11/12、12/3、12/24)</p> <p>オ 地域別研究会の開催 (下田 7/16、三島 7/20、沼津 7/21、浜松・静岡 WEB 配信)</p> <p>(2) ひきこもり支援強化事業の推進</p> <p>ア 市町へのアドバイザー派遣 (6市町)</p> <p>伊豆の国市 事例検討会 (7/29)</p> <p>焼津市 勉強会 (7/30、11/2)</p> <p>菊川市 ケーススタディ (10/21、11/19、12/20、1/20)</p> <p>森町 勉強会 (1/20)</p> <p>掛川市 ひきこもり協議会での助言 (2/4、3/23)</p> <p>沼津市 勉強会 (3/18)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各市町へアドバイザーを派遣し、既存の組織だけでは得ることのできない専門的な知識を提供する機会となっている。 ・市町社協が総合相談窓口を設置し、社協本来の総合相談機能が発揮できるような体制づくりに寄与している。

イ 静岡県ひきこもり支援体制構築のための市町会議
(11/24)

県内行政機関ひきこもり担当者 (25 町)

熱海市、焼津市、湖西市、伊豆市、函南町、三島市、掛川市、富士市、牧之原市、下田市、富士宮市、御前崎市、伊東市、磐田市、御殿場市、島田市、裾野市、菊川市、伊豆の国市、長泉町、小山町、東伊豆町、河津町、南伊豆町、川根本町

(3) 市町社協における総合相談体制の構築

ア 権利擁護のあり方検討委員会 (5/18、7/30、10/7、1/24)

イ 被災者見守り・相談支援事業の実施 (熱海市)

(4) 生活困窮者自立支援事業の実施支援

ア ふじのくに生活困窮者自立支援コンソーシアム

県社協、NPO 及び 12 町社協の 14 法人によるコンソーシアム方式での郡部における生活困窮者自立支援事業の受託

(自立相談支援事業、家計再建支援事業、一時生活支援事業)

① 各町社協による相談受付及びプラン作成並びにプランに基づいた支援の実施 (適宜)

② 定期的な支援調整会議の開催

【支援実施 (12 町合計) ※3 月末現在】

自立相談支援事業

内容		件数
相談受付件数	新規	838 件
プラン作成件数	新規	436 件
一般就労件数	実就労者件数	155 件
支援調整会議	12 町	85 回

家計再建支援事業

内容		件数
相談受付件数	新規	186 件
プラン作成件数	新規	239 件

一時生活支援事業

内容		件数
宿泊日数		352 日
プラン作成件数	総数	15 件

③ 運営委員会の開催

・第 1 回コンソーシアム運営委員会

(5/7 東部、5/12 中部、5/17 賀茂)

参加者：14 団体長

内容：令和 2 年度事業報告、意見交換

・第 2 回コンソーシアム運営委員会

(10/5 東部、中部、賀茂 Zoom)



④コンソーシアム勉強会の開催（Zoom）

いずれも 10:00～1 時間程度

日程	内容
6/14	キックオフミーティング
7/12	生活困窮者自立支援金の対応について
8/16	県国際交流協会との連携について
9/13	長期化するケースへの対応
10/12	就労支援セミナー
11/14	青少年就労支援ネットワーク活動報告会
12/12	システム意見交換会
1/16	家計相談ケースミーティング
2/13	法律支援セミナー
3/13	一時生活支援事業について

イ 主任相談支援員養成研修修了者連絡会（4回）

4/15、5/19、6/2、9/21、2/2 すべてWEB開催

ウ 生活困窮者自立支援事業従事者養成研修の実施（3回）

4/27 WEB開催 51人参加

5/28 WEB開催 51人参加

7/14 WEB開催 27人参加

11/11 WEB開催 33人参加

エ ふじのくに生活困窮者自立支援基金事業の実施

【赤い羽根助成金事業】

就労に係る経費の給付（随時）

就労支度金 78 件、就労活動応援金 5 件、

生活環境改善 1 件、生活維持改善 13 件

認定就労準備 1 件

オ 緊急生活支援ガイド 2021 年静岡版の作成

【赤い羽根助成金事業】

生活に困りごとのある方、悩みを抱えている方に向けた

相談窓口を一冊にまとめた冊子、ホームページの作成。

冊子 3,000 冊作成し県内行政、社協、関係機関に送付。

(5)生活福祉資金貸付事業の実施

① 生活福祉資金貸付事業の実施

ア 総合支援資金

（生活支援費、住宅入居費、一時生活再建費）

イ 福祉資金（福祉費、緊急小口資金）

ウ 教育支援資金（教育支援費、就学支度費）

エ 不動産担保型生活資金

（不動産担保型生活資金、要保護世帯向け不動産担保型生活資金）

オ 新型コロナウイルス感染症拡大に係る緊急小口資金等特例貸付の実施（令和 2 年 3 月～令和 4 年 8 月末の予定）

【R2.3～R4.3 月末までの累計】



生活困窮者自立支援事業従事者養成研修

・修了者と連絡会を 4 回実施し現場支援員の意見を取り入れる機会となっている。

・養成研修を 3 回実施。自立機関職員の技術の向上に寄与した。

・延べ 49 件の給付を行い、困窮者の自立支援に寄与した。

・低所得世帯等の経済的自立及び生活意欲の助長促進に寄与している。

<ul style="list-style-type: none"> ・緊急小口資金 申請：28,392件 5,054,120千円 決定：26,054件 4,613,320千円 ・総合支援資金 申請：18,450件 8,874,965千円 決定：16,127件 7,726,385千円 <p>② 臨時特例つなぎ資金貸付事業の実施 (住居を失った離職者が公的給付又は公的貸付の交付を受けるまでの生活費の貸付)</p> <p>③ 生活福祉資金貸付審査等運営委員会の開催 (3月：書面開催)</p> <p>④ 生活福祉資金貸付審査等運営委員会小委員会、不動産担保型生活資金審査委員会の開催 (1/31)</p> <p>⑤ 市町社協新任担当職員研修会の開催 (中止)</p> <p>⑥ 市町社協担当者会議の開催 (4/8、6/21、9/9、12/13、3/16)</p> <p>⑦ 生活福祉資金の実務的課題に関する作業委員会の開催(中止)</p> <p>⑧ 利用促進のための広報の実施</p> <p>⑨ 債権管理・償還相談の実施</p> <p>ア 滞納者等含めた借受者に対する残高のお知らせの送付 (2月：7,273件)</p> <p>イ 滞納者への訪問調査の実施 (中止)</p> <p>ウ 所在不明者の調査(住民票調査)の実施(321人)</p> <p>エ 滞納債権整理推進等事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・滞納者への償還・生活相談の実施 ・民事訴訟・調停、支払督促等の提起 <p>⑩ 【新規】熱海市豪雨災害(7/3発生)に係る生活福祉資金貸付業務応援職員の派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町社協 42日間 64人 ・県社協 7日間 7人 計 46日間 71人 <p>(6) 児童や障がい者等の自立支援</p> <p>ア 神谷基金障がい者自立支援事業の実施</p> <p>① 障害者福祉施設への助成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選考委員会(書面審査)の開催 ・申請36施設 ・助成先7施設 <p>(特非)風の家 (福)ラルシュかなの家 多機能型まどい (福)おひさま 太陽の家 (福)宏寿会 ゆうほうのさと(井里絵店) (福)明光会 安倍野工房 (特非)天使のはね えんぜる (特非)エシカファーム スタジオアルテ</p> <p>② 専門家派遣事業(1事業所へ派遣)</p> <p>(有)INB 木工房「いつでもゆめを」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者の地域生活移行や就労・社会参加等を促進することができた。 ・専門家の指導により、商品の改良や販売を促進することができ、生産活動が向上した。
--	---

イ 県里親連合会の事務受託



令和3年度 里親研修会 【動画配信】
(令和3年9月18日～10月31日)

ウ 県肢体不自由児協会の事務受託

エ 【新規】 児童養護施設等を退所し自立生活を送る学生に対する新型コロナウイルス禍緊急「夢みらい応援資金」交付事業の実施

- ・ 学生 14 人に応援資金一人 100,000 円を贈呈
- ・ 令和3年度“赤い羽根”課題解決プロジェクト募金活動の実施 募金額 1,113,299 円



夢みらい応援資金贈呈式
令和3年6月22日

(7) 民生委員・児童委員活動の支援

- ア 相談技法に関する研修会の開催
(WEB配信 中・西部 8/30、東部 8/31)
- イ 法定地区民児協会長研修会の開催(中止)
- ウ 主任児童委員研修会の開催
(WEB配信 中・西部 2/9、東部 2/10)
- エ 全国大会等参加経費助成事業の実施(動画配信)
- オ 市町法定地区民生委員児童委員協議会への訪問指導活動
(4/28 袋井市民児協、8/17 焼津市和田地区民児協)
- カ 県民生委員児童委員協議会の事務受託

・ 里親制度の普及発展に寄与している。

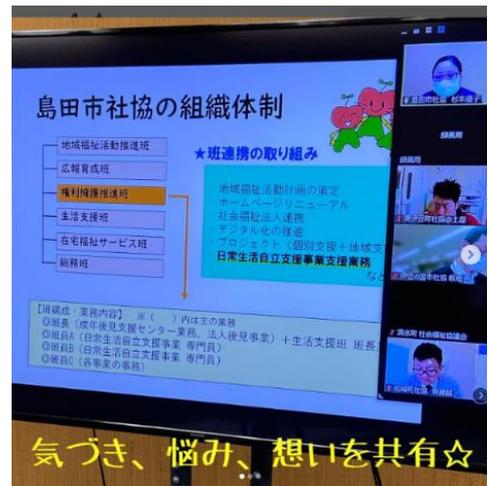
・ 肢体不自由児に対する理解促進に寄与している。
・ 関係機関・団体と連携し、制度の隙間となっていた学生へ応援資金を届けることができた。

・ 民生委員・児童委員の資質向上や住民の地域活動の活性化に寄与している。

推進事項2 意思決定支援を主体とした権利擁護の推進

認知症高齢者や知的障がい者、精神障がい者などの方々が、地域において自立した生活を安心して送ることができるよう、福祉サービスの利用支援を市町社協と協働して行った。

事業の実績	効果・評価
<p>(1) 日常生活自立支援事業の実施</p> <p>ア 事業利用の可否決定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局内審査会の開催（毎月） ・契約締結審査会の開催 4/8、5/20、8/19、9/9、10/14、2/10 ※6、7、8、10、11、12、1月は事務局内審査のみで完結のため見送り <p>イ 事業利用者への支援</p> <p>市町社協による定期・臨時支援の実施（随時）</p> <p>ウ 支援者の育成支援の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門員研修 (新任:6/11) WEB 配信 24人参加 <p>【内容】</p> <p>業務説明①②「日常生活自立支援事業の業務～相談から契約締結審査会まで～」</p> <p>説明：生活支援部権利擁護課</p> <p>業務説明③「日常生活自立支援事業業務支援システムについて」</p> <p>説明：熱海市社会福祉協議会 成年後見センター長 中村 直哉氏 (現任：2/28 撮影 3/8～3/31 YouTube 配信) YouTube 視聴回数 38回</p> <p>【内容】</p> <p>講義「利用者死亡時の手続きについて」</p> <p>講師：西尾智美法律事務所弁護士 西尾 智美氏 日常生活自立支援事業締結審査委員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門員連絡会 (2/18 撮影 2/21～2週間程度 YouTube 配信) 33市町社協専門員参加 <p>説明「令和4年度の日常生活自立支援事業について」</p> <p>説明者：生活支援部権利擁護課員</p> <p>事例報告</p> <p>「日常生活自立支援事業から後見制度への移行」</p> <p>報告者：島田市社会福祉協議会 権利擁護推進班長 杉本 優子氏</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・判断能力の不十分な方が自身の意思に基づく地域での暮らしを実現させるための支援を推進すると共に権利侵害や財産侵害の未然防止などに寄与した。 ・利用者が安心してサービスを受けられるように支援者の専門性の向上及び支援者間のネットワークの構築をした。



磐田市社会福祉協議会
生活支援係主査 林 雅之氏
システム紹介・質疑応答

「新業務システムの利用方法について」
～デモンストレーション～

講師 株式会社トムス 小野塚 裕之氏

・生活支援員研修

新任：昨年度のDVDの利用

現任：12/14 当日 WEB 配信 12/23 録画 DVD 郵送
363 人参加

報告「日常生活自立支援事業の動向について」

報告者：生活支援部権利擁護課職員

講義「支援に役立つコミュニケーション技法
について ～利用者との信頼関係を築く
ための工夫とは～」

講師：安藤 千晶氏

(一般社団法人静岡市清水医師会
在宅医療介護相談室長)

：赤木 恭子 氏

(静岡市清水区港南地域包括支援センター)
日常生活自立支援事業締結審査委員

エ 権利擁護事業あり方検討委員会 (年4回)

第1回 (5/18) WEB 会議

協議内容

- ・社協法人後見、市民後見について
- ・日常生活自立支援事業 死後事務について他
- ・不正防止について

第2回 (7/30) WEB 会議

協議内容

- ・不祥事防止について
- ・日常生活自立支援事業 訪問調査について
- ・日常生活自立支援事業 業務システムについて

第3回 (10/7) WEB 会議

協議内容

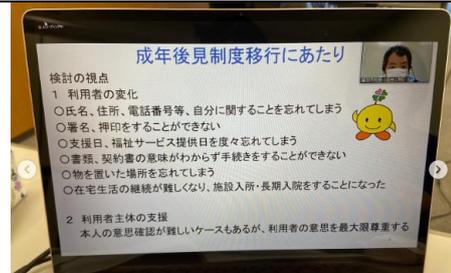
- ・日常生活自立支援事業 業務システムについて
- ・社協法人後見のチェック体制について

第4回 (1/24) WEB 会議

協議内容

- ・法人監査マニュアル記載項目について
- ・日常生活自立支援事業 現地訪問調査、書面調査チェック項目、新業務システム移行に向けた打ち合わせ、様式の整理等

オ 業務の適正化・効率化を図るための業務システ



利用者の意思を最大限尊重!
担当者1人で抱え込まない!



<p>ム改修の実施（適宜）</p> <p>カ 市町社協の運営状況の確認 （定期訪問・適宜調査）</p> <p>(2) 成年後見制度利用促進の実施</p> <p>ア 成年後見実施機関設置・運営等支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成年後見制度市町申立に係る実務研修（基礎編 6/4 177人、応用編 6/16 69人） ・成年後見制度 意思決定支援に係る実務研修【基礎編】（8/17 59人参加及びWEB視聴） <p>イ 成年後見制度利用促進協議会の開催（東部① 9/1、東部②9/2、賀茂 9/3、西部 9/8、中部 9/10）</p> <p>ウ 福祉関係者等を対象とする理解促進研修</p> <p>【基礎編】 12/10 （当日参加） 237人、youtube 再生回数 222回</p> <p>【活用編】 12/17 （当日参加） 245人、youtube 再生回数 133回</p> <p>エ 成年後見制度利用促進広域研修</p> <p>①全体会 8/17 成年後見制度 意思決定支援に係る実務研修</p> <p>②テーマ別研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中核機関設置運営編【webによるライブ配信】 1/21 ・診断書書式改定と本人情報シート活用編【録画配信】 1/24～3/15 ・成年後見制度利用促進セミナーin 静岡 特別編～地域連携ネットワークづくりのヒント～編【webによるライブ配信】 2/7 ・市民後見人育成・活動支援編【webによるライブ配信】 2/22 ・任意後見制度の理解と多様な権利擁護支援編【録画配信】 3/4～3/15 <p>オ 業務の適正化・効率化を図るための業務システム改修の実施（適宜）</p> <p>(3) 福祉サービス運営適正化委員会事業の実施</p> <p>ア 運営適正化委員会（全体会）の開催（6/7） 2年度事業報告、3年度事業計画の承認 情報共有等</p> <p>イ 運営監視合議体の開催 第1回 6/7、第2回 10/1 第3回 12/20、第4回 3/14</p> <p>ウ 福祉サービス利用援助事業実施状況調査 基幹社協（政令市2）、県社協委託市町社協 10</p> <p>エ 苦情解決合議体の開催</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市町の中核機関設置を支援出来た。 ・市民後見人育成の基盤となる社協の法人後見等の取り組みを支援出来た。 ・制度を必要とする人が適切に制度に繋がる為の制度の理解促進に取り組んだ。 <ul style="list-style-type: none"> ・県・市町社協等に対する運営監視業務により、福祉サービス利用援助事業の適正な運営の確保に寄与した。 ・苦情解決申出を受け、これに対して、助言、話合いの推奨による解決の支援を行うとともに、必要に応じて事情調査、改善の申入れや行政への通知等を行い福祉サービス利用者の権利擁護に寄与した。 <p>相談件数の増加は、コロナ禍による</p>
---	---

<p>第1回 6/7、第2回 7/30、第3回 10/1、 第4回 12/20、第5回 3/14</p> <p>オ 苦情解決申出及び相談等件数 苦情解決申出 75件(+14)、相談等 42件(+31)</p> <p>カ 事業所に対する苦情解決の巡回支援(通年2回)</p> <p>キ 福祉サービス従事者に対する苦情解決研修会開催 Web開催 11/26, 12/7 計86名</p> <p>ク 関東ブロック委員長等連絡会・相談員連絡会 WEB開催(3年度本県事務局) 10/8</p> <p>ケ 運営適正化委員会事業研究協議会参加 WEB開催 10/28</p> <p>コ 啓発活動の実施(通年) 福祉施設等へ掲示、利用者への配布等 ポスター 565枚、リーフレット等 615枚 印刷 ポスター 1,000枚</p>	<p>生活福祉資金の貸付要望の大幅増加に伴う苦情が大幅に増加した他、一昨年度には停滞した福祉施設やサービスに関する外部との交流が復活してきたことによるものとみられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・苦情解決研修会及び啓発活動を通じ、事業者の苦情解決の体制づくりを支援すること等により福祉サービスの質向上に寄与した。 ・苦情解決研修会では満足80%、やや満足20%の満足度を得た。
--	--

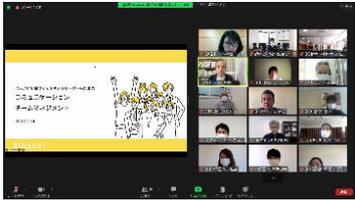
実施目標3 地域共生社会の基盤となる市町社協を支援します

推進事項1 市町社協相互の連絡調整及び基盤強化

市町社協の体制強化、基盤整備を図るとともに、地域福祉を協働して進めるための基礎調査及び個別訪問支援等を行います。

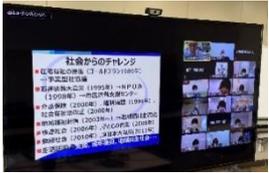
また、各市町の地域福祉推進における現状や課題、今後の取組について、近隣の市町の関係機関による意見交換の場を設定し、連携強化に努めた。

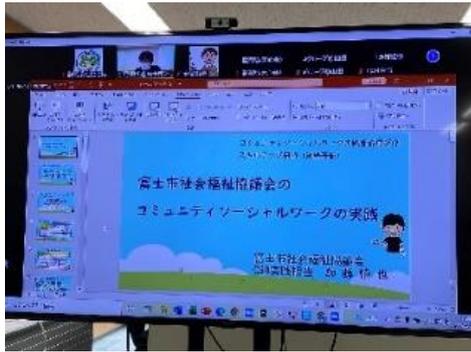
事業の実績	効果・評価
<p>(1) 市町社協連絡協議会及び部会の開催</p> <p>ア 幹事会の開催(7/1)</p> <p>イ 介護保険部会幹事会(10/11) 介護保険部会全体会(3/1 40名参加) 講師：園崎 秀治 氏(オフィス園崎 代表) 講義①「業務継続計画(BCP)作成のために」 講義②「業務継続計画(BCP)作成の具体的な進め方」</p> <p>ウ 広報啓発部会(幹事会2/17) 効果的な広報、情報発信の検討、次年度全体会企画</p> <p>エ 総務部会(総務担当者会議)の開催(12/6) 「令和3年7月豪雨災害における被災地社協総務担当者報告会」(熱海市、沼津市、富士市)</p> <p>(2) 市町社協の基盤強化と活動支援</p> <p>ア 地域福祉推進ブロック会議の開催【再掲】 地域福祉推進ブロック会議全体会(6/18) [WEB]「地域共生社会の実現に向けた市町の包括的支援体制構築について」講師：中島修氏(文京学院大学) 地域福祉推進ブロック会議地域別会議(県内3地区) 市町における包括的支援体制に係る事例紹介(配信)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市町社協が抱える課題の共有と解決につながる研修テーマの把握。 ・社協の介護保険事業におけるBCP作成のポイントを学んだ。 <div data-bbox="1034 1485 1350 1666" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1018 1675 1385 1733" data-label="Caption"> <p>介護保険部会全体会</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・包括的な支援体制の構築と重層的支援体制整備事業実施に向けて先進事例情報提供による理解促進

<ul style="list-style-type: none"> ・埼玉県鳩山町、愛知県長久手町の取組 イ 市町社協活動実態調査の実施（4/1時点） ウ 市町社協役員便覧の作成（200部、4-5月） エ みんなで支える地域福祉促進事業 （対象7市町：三島市、藤枝市、菊川市、長泉町、函南町、富士宮市、御殿場市） 市町社協における小地域福祉活動に係る担い手づくりへの助成を行った。 (3) 地域福祉活動計画の策定支援 (4) 調査研究、政策提言の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・県への地域福祉の提言(12/22) <ul style="list-style-type: none"> ①コロナ禍における県民の生命と生活を守るための継続支援及び「地域共生社会」に向けた取組の推進 ②福祉・介護人材の安定的な確保 ③災害にも強い福祉のまちづくりの推進 ・企画調査委員会の開催（3/3） 第5次活動推進計画進捗状況の報告 (5) 市町社協の個別支援 <ul style="list-style-type: none"> ア 藤枝市社協「ふじえだ生き生き助成金審査会」（6/19） イ 掛川市社協経営強化委員会（7月書面審議） ウ 社会福祉法人等ネットワーク化による協働推進事業実施市町への担当職員配置及び事業への助言、伴走支援（16市町・通年） エ 西伊豆町社協移動支援事業運行管理アプリ作成支援 オ 市町災害ボランティアセンター設置運営訓練、災害VC養成講座への協力（御殿場市、伊豆市、富士市、志太榛原2市4町、菊川市、掛川市、磐田市、浜松市、湖西市、長泉町、川根本町） カ 会計処理の適正化とコンプライアンスの徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ・助成を通じた市町域における生活困窮者自立支援や、孤立防止、多世代交流事業等の展開による地域づくり支援に寄与した。 ・地域共生社会実現に向けて広域的な見地から3つの地域福祉推進事項を要望として県に提言した。 <div style="text-align: right;">  </div> <div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> 伊豆市社会福祉法人連絡会 </div>
---	--

推進事項2 人材確保と専門性向上の推進

地域福祉の担い手となる市町社協役職員の人材確保と専門性向上を目的とした体系的な研修を実施した。

事業の実績	効果・評価
<p>(1) 階層別、分野別研修及び会議の実施</p> <p>ア 監事研修会の開催(4/12) 監査体制や監事の役割を確認し、監査による組織基盤の強化を図った。</p> <p>イ 新任職員研修の開催(5/20, 21 76人参加) 社協職員として求められる意識や視点を学び、他の市町社協職員とのネットワークを築き、今後の地域福祉活動に活かしていくことを目的に開催した。</p> <p>ウ 新任事務局長研修の開催(4/23)【再掲】</p> <p>エ 事務局長会議の開催(5/25)【再掲】 社協重点事業の推進方策の説明と行政説明及び市町社協運営課題を共有し各市町の取組について意見交換を行った。</p> <p>オ 地域福祉担当者会議の開催(3/3 ZOOM開催)</p> <p>カ 市町社協会長会議の開催(3/1)【再掲】 市町社協におけるBCP(事業継続計画)策定に向けて、経営層への理解促進と県下全域での意識醸成構築を図った。</p> <p>キ 市町社協会計実務研修会の開催(9/9 講義動画収録) 基礎的な会計実務など全般的な知識と会計処理の習得を図った。</p> <p>ク 市町社協決算実務研修会の開催(2/21, 22 講義動画収録) 決算実務を習得することにより経理事務の適正化を図った。</p>	<p>・組織運営の適正化及び役職員の質の向上に寄与した。</p>  <p>市町社協新任職員研修</p>
<p>(2) コミュニティワーク研修、コミュニティソーシャルワーク研修会の実施</p> <p>ア コミュニティワーク研修会</p> <p>(1) データ利活用編(11/24 19人参加)</p> <p>(2) 地域福祉活動計画編(1/20 23人参加)</p> <p>(3) 地域アセスメント編(2/2 25人参加)</p> <p>イ コミュニティソーシャルワーク実践者養成研修の開催 (前期7/9~10 27人参加・後期2/25~26 26人参加)</p> <p>ウ コミュニティソーシャルワーク研修受講者継続研修の開催 東部連絡会(7/3 82名参加・2/5 60人参加)、スキルアップ研修(8/24 25人参加)</p>  	<p>・地区単位におけるコミュニティソーシャルワーク実践者のネットワーク構築に寄与した。</p> <p>・制度外や狭間にある課題や複合的な課題など、従来の施策・サービスでは対応できない生活課題が増加していることから、各テーマでコミュニティワークの向上ができた。</p> <p>・事例を基にしたグループワークを実施し、地域住民や各関係者と共同し、円滑に課題解決につながるコミュニティソーシャルワーク技術の習得ができた。</p>



・本養成研修修了者を対象に、コロナ禍におけるコミュニティソーシャルワーク実践について、国の制度の動向と実践報告を踏まえながら学ぶことができた。

推進事項3 社会福祉法人等と協働した地域公益活動の推進

市町社会福祉協議会が核となるネットワーク化の促進により、法人間連携による地域における公的な取組の推進と福祉人材確保の取組を支援した。

事業の実績	効果・評価
<p>(1) 市町域のネットワーク構築支援</p> <p>ア 社会福祉法人等ネットワーク化による協働推進事業の実施</p> <p>【再掲】16市町社協と県社協事業の実施</p> <p>【下田市】人材確保協議 (6/24, 8/4, 9/14, 11/12) BCP 作成研修会 (11/5) 講師：園崎秀治氏 (オフィス園崎)</p> <p>【伊豆市】法人連絡会 (8/5, 2/4) 職員採用研修会 (11/15)</p> <p>【熱海市】法人連絡会 (12/16)</p> <p>【伊東市】市内法人連絡会会議及びBCP 基礎研修 (3/28)</p> <p>【裾野市】法人連絡会会議 (10/13, 11/30)</p> <p>【御殿場市】法人連絡会会議 (12/21) スキルアップ研修会 (2/24)</p> <p>【三島市】法人間連携推進会議 (第1回 1/31、第2回 3/23)</p> <p>【富士市】サードプレイス企画実行委員会 (第1回 4/20、第2回 8/10、第3回 2/15) 自立型人材育成研修会 (3/15)</p> <p>【焼津市】社会資源活用ガイド、法人紹介パンフレット作製 社会福祉法人セミナー (12/8) ※藤枝市と合同開催</p> <p>【藤枝市】社会福祉法人セミナー (12/8) 事業継続計画に係る研修会兼相談会 (3/7) BCP 策定研修 (15 法人 28 人) BCP 共同策定に向けた法人個別相談会 6 法人参加</p> <p>【島田市】事業打ち合わせ及び協力依頼 (5/31、8/12、10/6) 事業準備会 (12/24)、法人ネットワーク会議 (3/29)</p> <p>【菊川市】法人間連携プラットフォームの設置 (7/8 12/9) 菊川市セーフティネット支援ネットワーク会議 (4/27, 5/25, 6/29, 7/20, 8/24, 9/28, 10/26, 11/30, 12/21 1/25, 2/22, 3/22) 介護入門講座及び初任者研修の開催 (10/2, 10/9, 10/23 10/30, 11/6, 11/13, 11/20, 11/27, 12/4, 12/11, 12/18, 12/25, 1/8, 1/15, 1/22 参加者 12 人) 災害時に備えたオンラインネットワーク (通年)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・6市町が新たに事業を行い法人連絡会が設置された。 ・社協が社会福祉法人連携の中核となり、プラットフォームを構築し、社会福祉法人の連携・協働化を図り、地域生活課題への取組や人材確保育成定着に向けた研修会を開催した。 ・法人間が連携し、共通 WEB サイトによる戦略的な福祉人材確保の取組を展開 ・参画法人の職場定着事業実施に寄与 <div data-bbox="1098 1758 1391 1960" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1104 1966 1391 2065" data-label="Text"> <p>地域貢献事業・魅力 発信ポータルサイ</p> </div>

<p>【袋井市】福祉施設連絡会議（第1回 6/21、第2回 8/30、第3回 11/12、第4回 2/16）高校生向け起業説明会（3/18）</p> <p>【湖西市】連絡会勉強会（1/19）、法人訪問（3/25～3/28）</p> <p>【函南町】学生インターン事業（11/8～14） 民間企業との連携協働によるカフェ（11/9） 移動支援フォーラム（12/22）法人連絡会（2/14）</p> <p>【長泉町】社会福祉人施設連絡会（7/7、9/8、11/9、2/8） 社会福祉法人防止連携事業（7/1、7/26、9/8、11/9、3/15） 福祉人材確保のための広報、合同研修会（6/30、7/13、7/19） 福祉啓発イベント（8/6）合同説明会（11/26）</p> <p>(2) 社会福祉法人の地域貢献実態調査の実施 調査対象：県内社会福祉法人（432法人） 有効回答：304法人</p> <p>(3) 施設経営法人・社会福祉協議会合同研修会（3/3 58人）</p> <p>(4) 社会福祉法人等の地域貢献事業紹介・魅力発信ポータルサイト制作</p> <p>(5) 社会福祉法人等と連携した生活支援サービスの推進 西伊豆町移動支援事業運行管理アプリ作成支援【再掲】</p>	<p>・アプリ作成の助言を行ったことで、担当者のアプリ作成スキル向上につながり、西伊豆町社協の業務改善に寄与した。</p>
---	---

基本目標2 地域福祉を支える組織・人づくり

実施目標1 社会福祉事業者等を支援します

推進事項1 自主的、自立的な法人経営、施設運営に向けた支援

社会福祉法人が良質かつ適切な福祉サービスを提供していくため、コンプライアンス（法令等遵守）の徹底、ガバナンス（組織統治）の確立、財務規律の強化及びサービスの質の向上に向けた体制構築を、県社会福祉法人経営者協議会等と連携して支援した。

事業の実績	効果・評価
<p>(1) 社会福祉法人経営者協議会の事務局運営</p> <p>ア 【新規】社会福祉法人経営者協議会の事務受託 （正副会長会議、理事会、総会の開催、経営セミナーの実施、委員会の開催等）</p> <p>イ 県社協事業との連携強化 （地域における公益的な取組、外国人介護、人材の確保、定着）</p> <p>(2) 福祉施設経営指導事業による専門相談の実施</p> <p>ア 経営相談の実施（会計、法律、施設サービス、労務） 相談件数:469件</p> <p>イ 福祉施設経営指導連絡協議会の開催(1/27)</p> <p>(3) 経理、労務、施設運営等に関するWEB研修の開催</p> <p>ア 社会福祉法人監事監査研修会の開催(4月、264施設)</p> <p>イ 社会福祉法人簿記入門講座の開催(6月、68施設)</p> <p>ウ 社会福祉法人・施設事務職員経理基礎講座の開催 (7月、82施設)</p> <p>エ 社会福祉法人・施設事務職員経理応用講座の開催 (8月、122施設)</p> <p>オ 社会福祉法人予算管理講座の開催(9月、130施設)</p> <p>カ 社会福祉施設人事・労務管理研修会の開催 (10月、64施設)</p> <p>キ 社会福祉法人・施設事務職員会計実務専門講座 (10月、92施設)</p> <p>ク 社会福祉法人・施設職員税務実務講座(所得税)の開催 (11月、77施設)</p> <p>ケ 社会福祉法人財務管理講座の開催(12月、99施設)</p> <p>コ 社会福祉法人決算実務講座の開催(2月、156施設)</p> <p>サ 社会福祉施設運営管理研修会の開催(1月、115施設)</p> <p>(4) 施設借入金元金・利子助成事業の実施 元金助成 178件、582,064,050円 利子助成 189件、28,633,681円</p> <p>(5) 社会福祉振興資金貸付事業の実施（特別整備貸付資金） 償還元金 1件 1,637,192円 貸付金利子 1件 276,980円</p>	<p>・会員法人の課題把握及び経営全般にわたる質の向上に寄与した。</p> <p>・法人運営に関する質問事項について専門家による相談支援を行い、施設の経営全般にわたる質の向上に寄与した。</p> <p>・社会福祉法人・施設の経営基盤強化と質の高いサービス提供の推進に寄与した。</p> <p>・法人財政の安定</p> <p>・令和3年度から新たに5施設に元金助成を行い、社会福祉施設の整備促進に寄与した。</p>

(6) 民間社会福祉施設運営費助成基金助成事業の実施

区分	事業内容	件数	金額(千円)
区分1	第三者評価事業受審助成	15	1,960
区分2	地域との連携協働推進助成	4	573
区分3	職場内OJT助成	16	2,579
区分4	法人間連携推進事業	7	1,084
区分5	法人経営適正化のための助成	7	1,384
区分6	防災減災対策・福祉避難所設置助成	1	178
区分7	移動支援助成	1	300
小計		51	8,076
特別助成		1	630
合計		52	8,706

・民間社会福祉施設・事業所の運営基盤の強化と主体的な地域貢献や人材育成に寄与した。

・受審事業所が事業経営及びサービスにおける具体的な問題点を把握し、「サービスの質の向上」に寄与した。

(7) 福祉サービス第三者評価事業及び社会的養護関係施設第三者評価事業の実施

- ア 福祉サービス第三者評価の実施（5件）
- イ 評価委員会の開催（12月1日、2月8日）

(8) 感染症発生施設への応援体制構築事業の実施

- ア 検討会の開催（12月16日）
- イ 社会福祉施設・事業所面会者向け注意喚起動画の作成
- ウ 派遣調整団体との連携促進
- エ クラスター対応会議
（4/20、4/30、5/7、5/20、5/28、8/27、9/7、12/9、1/26、2/2、2/10、2/16）
- オ 応援職員派遣施設への感謝状贈呈式（12月2日）
- カ クラスター発生施設への応援職員の派遣調整
（高齢施設5件、障がい者施設1件 派遣人数：22人）



感謝状贈呈式の様子
（令和3年12月2日）

推進事項2 地域における公益的な取組の推進

複数の社会福祉法人が連携・協働して、制度の狭間にある課題に向き合い、様々な地域づくりに関わる取組の更なる推進を図るため、社会福祉法人や他法人（医療法人及びNPO法人等）の連携の中核として、特に広域及び市町域の連携を支援した。

事業の実績	効果・評価
<p>(1) 県域、広域、市町域における複数法人間連携の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 地域における公益的な取組等推進 部会の開催（地域における公益的な取組、災害支援体制の構築、人材確保・育成・定着など） イ 実践事例の収集、ホームページ、広報紙等による実践事例の発信 ウ 施設経営法人・社会福祉協議会合同研修会のWEB開催（3/3、参加者68人） <p>(2) 法人単位における取組の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 実践事例の収集、ホームページ、広報紙等による実践事例の発信 	<ul style="list-style-type: none"> ・複数の社会福祉法人が連携・協働して、地域の多様なニーズを把握し、様々な地域づくりに関わる取組の更なる推進を図った。 ・施設経営法人と市町社協が互いの強みや課題を共有し、地域に存在する多様なリソースと連携協働し、地域の福祉課題に取り組むことの重要性について理解を深めた。

推進事項3 社会福祉関係団体への支援

福祉関係団体が、民間性を発揮した活動を展開できるよう支援するとともに、各団体の課題や情報を共有し、お互いの強みや特性を活かし合うことができるよう、広域的な観点から「協働の場づくり」を推進した。

事業の実績	効果・評価
(1) 社会福祉団体等の連携強化 ア 社会福祉団体連絡協議会の開催 イ 県障害者社会参加推進協議会への参画 (2) 社会福祉団体への財政支援 ア 県民間社会福祉団体運営費の助成 第1回助成(6/30) 第2回助成(1/31) イ 県民間社会福祉活動促進事業費の助成 第1回助成(8/31) 第2回助成(11/30) 第3回助成(5/31) (3) ソーシャルアクションの実施 ア 社会福祉に関する県への要望 イ 児童虐待防止静岡の集いへの参画 ウ 障害を理由とする差別解消推進県民会議への参画	<ul style="list-style-type: none"> ・社会全体で取り組んでいくべき重要な課題に対し、解決に向けて協働できる関係性の構築に寄与した。 ・民間社会福祉団体の運営基盤の強化と地域福祉の促進につながった。

実施目標2 福祉サービスの担い手の確保と育成を支援します

推進事項1 福祉サービスの担い手の確保と定着に向けた支援

社会福祉人材センター及び保育士・保育所支援センターの更なる周知を行い、求職者の確保と個別支援の強化を図った。

また、施設・事業所や行政、養成校等の関係機関と連携強化を図り、壮年世代や外国人などを含めた多様な人材確保や就労環境改善に向けた方策の検討及び実践等の取組をとおして、福祉業界が一丸となり、福祉人材の確保に取り組んだ。

事業の実績	効果・評価								
<p>1 社会福祉人材センターの運営及び利用促進</p> <p>(1) ア 無料職業紹介所の運営（本所・東部支所） 福祉・介護求人者や求職者からの相談、就労・就職あっせん等 求人・求職登録・就職状況 新規求人登録数 11,667人 新規求職登録数 3,881人 就職者数 484人</p> <p>イ 無期雇用就職者の離職状況の確認(令和2年度就業者) 福祉サービス事業所と期間の定めのない労働契約を締結した者が、就職した日から6か月以内に解雇以外の理由で離職したか否かについて確認した。</p> <table border="1" data-bbox="231 1010 954 1193"> <tr> <td>就職から6か月以内に、解雇以外の理由で離職した者の数</td> <td>77人</td> </tr> <tr> <td>在職中</td> <td>329人</td> </tr> <tr> <td>期間（就職から6か月）の最終日以降に離職した者の数</td> <td>22人</td> </tr> <tr> <td>解雇により離職した者の数</td> <td>1人</td> </tr> </table> <p>(2) 社会福祉人材センター運営委員会の開催 社会福祉人材センターの運営を円滑、効果的に実施するために開催（オンライン併用） 日時 令和3年6月23日（水）10：00～11：30 場所 静岡県総合社会福祉会館シズウエル 内容 ア 委員長の選任について イ 静岡県内の雇用情勢と無料職業紹介事業の実績について ウ 人材課事業について エ 研修課事業について</p>	就職から6か月以内に、解雇以外の理由で離職した者の数	77人	在職中	329人	期間（就職から6か月）の最終日以降に離職した者の数	22人	解雇により離職した者の数	1人	<p>・全国的に福祉・介護人材の確保が厳しくなっている中、484人の就職者を確保できた。 ※浜松福祉人材バンクを含め全県 667人 全国 1位</p>
就職から6か月以内に、解雇以外の理由で離職した者の数	77人								
在職中	329人								
期間（就職から6か月）の最終日以降に離職した者の数	22人								
解雇により離職した者の数	1人								

(3) 福祉人材マッチング機能強化事業の実施

求職者のニーズに適した職場開拓や従事者が働きやすい職場環境作りのための事業者支援などを行った。

ア キャリア支援専門員の設置 5人

ハローワークや他機関の就職フェア等での出張相談、施設・事業所訪問、求職者・求人者への個別支援等を実施
施設訪問:229 か所

マッチング就職者数:288 件

マッチング支援者数:515 件

イ 専門アドバイザーの設置

(公認会計士、社会保険労務士に委嘱)

人事管理や労務管理及び経理事務等に関する専門的な相談会を実施

【新規】※10月～社会保険労務士のオンライン相談を開始した。

<相談件数> (単位：件)

区 分		東部	中部	西部	計
公認会計士	事業所	— (68)	195 (94)	— (33)	195
社会保険労務士 (3名)	事業所	2 (11)	42 (26)	8 (15)	52
	従事者	3 (3)	0	0 (0)	3
計		5 (82)	137 (120)	8 (48)	250

- ・公認会計士相談 月1回 (中部地区のみ) 計12回
- ・社会保険労務士相談 東部・西部隔月1回、中部月1回 計24回
- ・相談件数は、相談会場別件数、(事業所所在地別件数)の順で記載。

ウ 社会福祉人材センター情報発信事業の実施

社会福祉法人天竜厚生会が開催している静岡県生活困窮者支援等の協力を得て、生活困窮者に向け、社会福祉人材センターの取組みの紹介や介護補助業務等の紹介を行った。

また、他機関が実施する初任者研修や関係機関のイベント等での周知活動を行った。

◎ 中山間地域

市町名	開催名称	開催日	参加人数
浜松市	静岡県生活困窮者等就労準備支援事業「就労意欲向上合宿」	10/25	3人
浜松市	静岡県生活困窮者等就労準備支援事業「就労意欲向上合宿」	2/7	2人

・キャリア支援専門員により求職支援を行い、採用につながった。

・社会保険労務士のオンライン相談を開始し、12件の利用があった。申込者からは、オンライン相談ができるようになり、移動の時間が不要となったと好評を得た。

・新型コロナウイルス感染症予防対策によって、市町社協が開催する研修等の機会がなかったが、生活困窮者支援事業や行政等が実施する初任者研修等の機会を通じて周知活動を実施した。

◎ 中山間地以外

市町名	開催名称	開催日	参加人数
静岡市	第1回静岡市介護職員初任者研修講座	10/5	14人
静岡市	第2回静岡市介護職員初任者研修講座	10/20	17人
沼津市	ギャラリー展示沼津産業ビル1階	11/19~ 11/30	10人
静岡市	介護に関する入門的研修「介護講座」	1/12	13人

エ ミニ就職相談会の開催

小規模な相談会を開催し、求職者が求めている詳細な労働条件や施設・事業所の雰囲気伝えることにより、求人・求職のマッチングを図った。

年度当初は県内8地域で対面形式の計14回の開催を予定していたが、緊急事態宣言の発令等により3回中止とした。オンライン形式3回を加えて、対面11回・オンライン形式3回、計14回実施した。

(実施状況)

場所	開催回数	参加法人	求職者数	延相談数	採用人数
中部	5回	35法人	124人	148件	40人
東部	5回	37法人	84人	105件	17人
西部	1回	6法人	2人	4件	1人
オンライン	3回	9法人	8人	14件	0人
計	14回	87法人	218人	271件	58人

オ 求職者向けの施設見学の実施

新型コロナウイルス感染症対策から見学ツアーは実施困難なため、「福祉の職場見学会&個別相談会」とし、こちらで会場を準備し、会場と施設を結び Zoom や動画で施設内紹介等を実施した。9月は緊急事態宣言が延長されたため、急遽オンライン参加と会場参加で実施（実施回数15回 参加者数118人 採用数4人）

開催日	地区	会場	参加者数
5/18	静岡市	シズウエル	14人
6/24	静岡市	清水テルサ	10人
6/29	島田市	プラザおおるり	4人
7/17	浜松市	サーラシティ浜松	7人
7/29	静岡市	シズウエル	8人
9/21	静岡市	シズウエル	10人



ミニ就職相談会の様子
(令和3年4月22日)

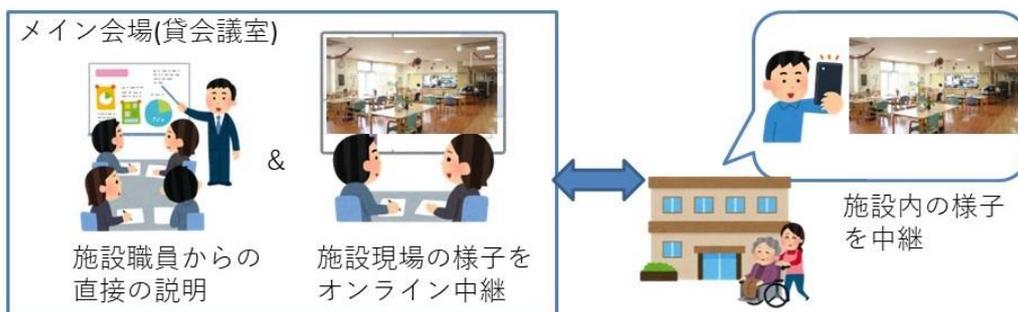


ミニ就職相談会「平日夜のオンライン」チラシ
(令和3年11月24日、26日、12月9日)



福祉の職場見学会の様子
Zoomで施設内を紹介
(令和3年5月18日)

10/26	富士宮	駅前交流センターきらら	2人
11/18	袋井市	サンライフ袋井	2人
11/26	長泉町	長泉町文化センター	7人
12/2	富士市	富士市交流センター	7人
12/11	伊東市	伊東市観光会館	4人
12/14	藤枝市	Bivi 藤枝	6人
1/20	静岡市	シズウエル	12人
3/5	静岡市	グランシップ	12人
3/12	沼津市	プラサヴェルデ	13人
合計			118人



(4) 福祉の就職・進学フェアの開催

ア 就職相談会の開催

- ① 7月17日(土) サーラシティ浜松 (参加者 67人)
 ※8/9(月・祝日) 熱海市中央公民館/いきいきプラザは、東部豪雨災害のため中止、8/22(日) 富士市交流プラザ・8/29(日) 焼津文化会館は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。
- ② 12/11 伊東会場 (16人参加)
- ③ 1/15 賀茂会場
(5人参加、Zoomを使用したハイブリット開催)
- ④ 【新規】 2/5 オンライン
(35人参加、バーチャルイベントシステム“GALIMO”を初めて使用。
 <GALIMOの特徴>
 リアルイベントのような雰囲気、相談ブースへの選択や着席、セミナーやプレゼンテーションの聴講等をオンライン上で実施できる。
- ⑤ 2/12 島田会場 (18人参加)
- ⑥ 2/27 磐田会場 (19人参加)
- ⑦ 3/5 静岡会場 (86人参加)
- ⑧ 3/12 沼津会場 (67人参加)

- ・7月～8月に4カ所で就職フェアの開催を予定していたが、東部豪雨災害や新型コロナウイルス緊急事態宣言により4カ所の内3カ所を一旦中止としたが、場所・時期を変更して追加で実施した。
- ・コロナ禍を契機に、オンラインを活用した開催手法にも取り組んだ。



- イ 合同企業説明会への参加(新規)
業種を問わない合同企業説明会(静岡新聞社「新卒のかんづめ」)に、「福祉業界のPR」を目的に出展した。
- ・企業PRでのプレゼンテーションの実施
 - ・「福祉のお仕事紹介コーナー」のブース出展

	日付	会場	対象	PRタイム参加 (ブース参加)
①	5/29(土)	グランシップ	大学 3年生	358人 (32人)
②	6/26(土)	アクトシティ浜松	大学 4年生	12人 (3人)
③	7/7(水)	グランシップ	大学 4年生	44人 (4人)
④	9/20 (月・祝)	オンライン	大学 4年生	18人
⑤	1/30(日)	浜松プレスタワー	転職希 望者	10人 (1人)
⑥	3/1(火)	ツインメッセ静岡	大学 3年生	100人 (3人)

- ウ 静岡まるごと移住フェアへの出展【新規】
1/30(日)、3/6(日)に静岡県が主催した「静岡まるごと移住フェア」に出展した。※急遽オンライン開催に切替。
フェアの特設サイト内の「仕事相談コーナー」に福祉のお仕事紹介コーナーを掲載するとともに、Zoomでの個別相談を受付けたが、相談申込は0件であった。

- エ 大学等の出前講座
大学等と連携して、学生が福祉職に興味を持てるような内容のセミナーや就職相談会を開催している。(ゲストスピーカーの派遣、出張相談会等)

	日時	学校・学科	区分	人数
①	4/6(火)	浜松学院大学子どもコミュニケーション学科	セミナー	4年生 30人
②	7/7(水)	小田原短期大学 保育学科	セミナー	1年生 60人
③	7/28(水)	静岡福祉大学 福祉心理学科	セミナー	2年生 102人
④	7/28(水)	静岡福祉大学 健康福祉学科	セミナー	2年生 26人
⑤	7/28(水)	静岡福祉大学 子ども学科	セミナー	2年生 74人

- ・「福祉に関心がない」学生にも、福祉の仕事の魅力を知り、関心をもってもらう機会を創出した。



- ・「ふじのくにに住みかえる推進本部」構成団体に参加し、移住定住促進について連携強化を図った。
※県健康福祉部政策管理局企画政策課

- ・福祉学科の学生には、福祉現場で活躍する先輩から話を聞き、より一層福祉現場への入職を後押しする機会となった。

- ・福祉学科以外の学生には、福祉の仕事に関心を持つきっかけとなった。

⑥	11/8(月)	静岡県立大学 短期大学部	セミナー	1年生 29人
⑦	11/15(月) AM	静岡県立大学 短期大学部	セミナー	1年生 29人
⑧	11/15(月) PM	静岡県立大学 短期大学部	セミナー	1年生 29人
⑨	11/24(水)	常葉大学 教育学 部生涯学習学科	セミナー	2年生 49人
⑩	12/1(水)	常葉大学 教育学 部生涯学習学科	セミナー	2年生 49人
⑪	12/1(水)	静岡県立大学 経営情報学部	セミナー	3年生 30人
⑫	12/17(金)	静岡県立大学 短期大学部	出張相談	1年生 2人

(5) 福祉の職場体験事業の実施

福祉・介護の職場に就職を希望・検討する求職者や福祉系学校に進学希望・関心のある中学生以上の学生を対象にした職場体験を実施。

地区	東部	中部	西部	合計
延受入施設(箇所)	84	120	25	229
体験人数(実人数)	75	113	21	209
延体験日数(日)	243	315	64	622

(6) 介護職員復職支援事業

結婚、出産等で離職した介護職経験者の掘り起こしを行い、復職希望者の復職を支援し、介護人材の確保を図った。

ア テレビCM等による制度の周知

- ・セミナー周知用チラシの作成、配布(21,000枚)
- ・テレビCM放映(9/1~9/30)民放1局 99本、パブリシティ3本
- ・事業周知用リーフレットの作成、配布(2,000枚)
- ・スマートホン、タブレット、YouTube動画広告
令和3年10月1日(金)~令和3年11月30日(火)
- ・静岡新聞夕刊中部版広告掲載(11/10発行)235,800部
- ・むるぶ広告掲載(令和3年11月号)82,000部
- ・仕事情報アイデムへの広告掲載

介護のシゴト復職応援セミナー 2月開催分

- 令和4年1月30日発行藤枝、焼津、島田 100,000部
- 令和4年2月6日発行富士、富士宮、沼津 100,000部
- 令和4年2月13日発行 磐田、袋井、掛川、浜北区 100,000部
- 令和4年2月20日発行富士、富士宮、沼津 100,000部

- ・昨年に比べ、ワクチン接種が進んだこともあり、職場体験の受入れ事業所や体験を希望する求職者が増加したが、コロナ感染症拡大予防のため、事業所、求職者双方からのキャンセルも多くあった。(キャンセル457日)

- ・新たにテレビCMや、実際の復職者の紹介動画を制作し、WEB広告等で幅広く県民に、事業の周知、利用促進を図った。



テレビCM放映
(令和3年9月)

イ 復職前研修

① 「介護のシゴト復職応援セミナー」の実施

- ・ 中部 4/22(木)、10/13(水)、11/16(火)、1/22(月)、12/17(金)、1/22(土)、2/5(土)、2/12(土)、2/12(土)、2/14(月)、3/5(土)、3/8(火)
 - ・ 東部 5/19(水)、8/27(金)、5/31(月)、11/1(金)、11/17(水)、12/11(土)、2/16(水)、2/21(月)、2/24(木)、3/12(土)
 - ・ 西部 6/15(火)、7/17(土)、8/2(月)、11/9(火)、11/26(金)、2/27(日)、2/27(日)、3/2(水)
- 合計 30 回を開催。



復職前研修の様子
(令和4年2月24日富士市)

ウ マッチングの実施と復職後のサポート

	支援者数	採用数	復職者数
人数	1,694	106	106

(7) 静岡県福祉職合同入職式（～入職者のための合同研修会～）の開催

ア 合同入職式：3月

県内福祉施設に次年度4月採用の新規入職者を対象にした合同入職式をリモートで開催した。

地区	開催日	参加人数
東部	令和4年3月3日(木)	17人
中部	令和4年3月7日(月)	45人
西部	令和4年3月9日(水)	25人
計		87人

- ・ 福祉職として働くことの意義を自覚し、仕事へのモチベーションの向上に寄与した。



福祉職合同入職式
(令和4年3月7日中部地区)

イ フォローアップセミナー

平成31年、令和2年及び令和3年開催の合同入職式参加者を対象としたセミナーの開催

地区	会場	開催日	参加人数
東部	プラザヴェルテ	令和3年11月29日(月)	18人
中部	シズウエル	令和3年11月19日(金)	31人
西部	サークシティ浜松	令和3年11月5日(金)	23人
計			72人

- ・ 福祉・介護職場における職員の定着促進を図った。

2 事業者等と福祉人材確保・定着実践研究会の実施

(1) 事業所の採用担当者等とのWEB会議の開催

Zoomによる会議&テーマ別の分科会方式にて開催

【分科会設定および日程】

	種類 (人数)	1回目	2回目	3回目
1	就職フェア (21)	5/25(火) 14:00	9/15(水) 14:00	
2	学生や他業種への アプローチ(20)	6/4(金) 10:00	10/4(月) 10:00	3/18(金) 14:00
3	人材定着(16)	6/3(木) 10:00	9/27(月) 14:00	
4	外国人雇用(8)	6/11(金) 14:00	10/7(木) 14:00	
5	保育分科会 【新規】	10/27(水) 13:00		
6	研修分科会 【新規】	12/21(火) 15:00		

(2) 課題解決に向けた実践

ア 調査研究の実施

県内福祉系養成校卒業生の進路調査

令和3年3月23日～4月15日の期間、県内の福祉養成校

(大学、短大、専門学校、高等学校)を対象に実施

イ 大学生の福祉施設でのアルバイト・インターンシップに係るポータルサイト作成(稼働は令和4年度)

(3) 福祉人材確保実践セミナーの開催

法人での人材確保・定着に向けた課題や社会情勢に対応するために必要となるテーマにより開催する。

対象：社会福祉法人及び福祉・介護事業所の職員

①(特定)処遇改善加算入門セミナー

日時：令和3年11月19日(金) Zoom開催

講師：ふくしえん社労士事務所

社会保険労務士 後藤功太氏 ほか

参加：159台(PC接続台数)

②外国人介護人材雇用に係る法務WEBセミナー

日時：令和3年12月15日(水) Zoom開催

講師：弁護士法人Global HR Strategy

弁護士 杉田昌平氏

参加：45台(PC接続台数)

・人材確保や職場定着、福祉のイメージアップ、事業所間連携等に対する課題や現在の取り組み等を協議し、実現に向けて、事業所と一体となって、調査や民間の合同企業説明会への参加等実践につなげた。

・保育特有の課題を検討するため、保育分科会を新たに設置した。

・本会主催研修に外部の意見を取り入れるため研修分科会を新たに設置した。

・処遇改善加算の事務及び外国人雇用事務に課題を抱える施設職員に適切な知識を学ぶ機会を提供した。

3 他機関との連携による外国人福祉人材等の雇用・定着支援

(1) 外国人介護人材サポート事業

ア 職場訪問（訪問目標数 70 か所）

71 事業所、93 人の外国人職員を訪問。

イ 研修交流会の開催（県内 15 回）

9 月（オンライン）：国別にて 7 回 参加者計 53 人

2 月（オンライン）：国別にて 7 回、多国籍 1 回

参加者計 40 人

4 保育士・保育所支援センターの運営及び利用促進

(1) 保育士・保育所支援センターの運営

就職支援コーディネーターの配置 3 人

ア 事業所の保育士募集、求人に関する相談対応

イ 【新規】訪問による保育所等の方針や求人の把握

ウ 潜在保育士の就労に関する相談対応、潜在保育士への

情報発信の強化（静岡市）月 1 回 SNS で発信

エ 求職者のニーズに合った就職先の紹介、あっせん

オ 保育士資格の取得等に関する相談対応

カ 【新規】求人者、求職者のマッチングの強化

キ 支援対象を保育士以外の保育補助者等に拡大

（静岡市）【新規】

ク 現職保育士の対する、就労継続に向けた相談支

援の実施（静岡市）

	求人 相談	求職 相談	新規求人 登録数	新規求職 登録数	採用数
保育士	710 件	1,250 件	725 件 1,505 人	1,290 人	119 人
保育補助	22 件	60 件	19 件 181 人	135 人	3 人

(2) 保育就職説明会の開催

求職者（保育士）と雇用者（保育施設）が一堂に会する機会を提供し、保育の職場に就労を希望する者の就職活動を支援

地区	会場	開催日	参加 人数	採用数
中部 1	オンライン (オンラインツール Remo)	7/11 (日)	48 人	2 人
中部 2	グランシップ (静岡市)	1/16 (日)	57 人	3 人
西部	i プラザ (磐田市)	1/15 (土)	11 人	1 人
東部	富士市交流センター (富士市)	1/29 (土)	9 人	1 人
合計			125 人	7 人

・年々増加している「外国人介護職員」について、研修交流会や巡回訪問を通じて現状と課題の情報収集に努めた。



・前年度比、新規求人登録数、就職者数が増加した。保育士 119 人の就職に結びついた。

・活躍している保育士や保育所の取組の紹介や、「保育士のほっこりエピソード」等を SNS で 11 回発信し、保育職の魅力発信を行った。



保育士就職説明会
オンライン
＜中部第 1 回＞
(令和 3 年 7 月 11 日)

(3) 潜在保育士職場復帰支援研修の開催

潜在保育士等を対象に、復職への不安を緩和し再就職への意欲を高めるための研修を開催した。

※保育就職説明会と同日開催

地区	会場	開催日	参加人数
中部1	オンライン (オンラインツールRemo)	7/11 (日)	103人
講師：大阪教育大学 小崎 恭弘 氏 内容：(午前) 就職先選びの3つのポイント (午後) よりよい保護者対応			
中部2	グランシップ (静岡市)	1/16 (日)	46人
西部	i プラザ (磐田市)	1/15 (土)	8人
東部	富士市交流センター (富士市)	1/29 (土)	9人
講師：上藤 美紀代 氏 (絵本専門士、ヴォイスセラピー実践 研究家、元アナウンサー) 内容：(中部2) 「絵本の読み方 愛情いっぱい、読み手も楽しむ♪」 (西部) 「絵本の選び方 大切にしたいことは？」 (東部) 「絵本をつかってふれあいましょう！こどもた ちの笑い声が幸せを運びます♪」			



保育士現場復帰支援研修
オンライン
＜中部第1回＞
(令和3年7月11日)



保育士現場復帰支援研修
グランシップ
＜中部第2回＞
(令和4年1月16日)

(4) 出張相談会の開催

ハローワークや行政等が実施する就職相談会への出張相談会を実施した。

回数	地区	会場	開催日	参加人数	ミニセミナー講師
1	静岡市	HW 静岡	5/19 (水)	19人	だきしめこども園 園長 小林 かおり 氏
2	静岡市	HW 清水	5/26 (水)	4人	ふたば保育園 園長 加藤 伸子 氏
3	中部	Bivi 藤枝	6/16 (水)	16人	たかくさ保育園 園長 村松 幹子 氏
4	静岡市	静岡市役所 清水庁舎	6/30 (水)	6人	静岡市役所子ども園課 係長 杉山 真紀 氏
5	静岡市	静岡市 駿河区役所	8/19 (木)	8人	静岡市役所子ども園課 係長 杉山 真紀 氏
6	静岡市	HW 静岡	10/26 (火)	14人	静岡ホーム保育学園 園長 横山 洋子 氏
7	東部	HW 富士宮	1/21 (金)	9人	野中こども園 副園長中村章啓 氏
8	西部	HW 磐田	10/13 (水)	3人	磐田市役所こども部 幼稚園保育園課 職員
9	中部	HW 掛川	11/17 (水)	5人	桜木こどもの森 園長 岡田 博次 氏
10	静岡市	HW 静岡	12/9 (木)	13人	新富町こども園 園長 柴田 壽子 氏
11	東部	HW 沼津・ 三島	12/15 (水)	13人	いずみ保育園 園長 十八公亜由美氏
12	西部	HW 浜松	2/5 (土)	12人	すずかけっこ保育園 副園長三和 由起子氏 保育士 三室美琴 氏
13	静岡市	HW 清水	2/16 (水)	1人	えじり保育園 園長 井出孝太郎 氏

※HW=ハローワーク

(5) 保育現場体験事業の開催

保育士及び資格取得見込者を対象に、保育所等での現場体験を実施（令和3年4月～令和4年2月末）

対 象：保育士又は幼稚園教諭

保育士資格又は幼稚園教諭免許取得見込者

体験先：県内保育所及び静岡市内公立こども園等

地 区	東部	中部	西部	合計
延受入施設（箇所）	23	9	1	33
体験実人数（一般）	0	6	1	7
体験実人数（学生）	20	2	0	22
延体験日数（日）	32	17	2	51
静岡市公立こども 見学人数（実人数）	0	0	0	0
延見学日数（日）	0	0	0	0
採用数	0	1	0	1

(6) 保育士さんの働く職場説明会&セミナーの開催

保育所等での働き方や現状等での働き方や現状等の説明及び現場で活用できる知識、技術を習得する説明会&セミナーを開催

コース	開催日	参加事業所	参加人数
中部 (静岡市)	12/13 (月)	静岡市子ども未来局幼保支援課 静岡市子ども未来局こども園課 静岡市社会福祉協議会 ふたば保育園	7人
東部 (三島市)	11/24 (水)	三島市社会福祉部こども保育課 三島市教育推進部教育推進課 三島市立錦田保育園 静岡恵明学園こども園グループ	3人
西部 (掛川市)	11/12 (金)	掛川市こども政策課 桜木こどもの森 さくらぎ子ども館 おおさかこども園	7人

(7) 保育士・保育所支援センター登録システム及びホームページの管理運営、離職保育士届出制度の周知

静岡県・静岡市 保育士・保育所支援センターホームページ

<http://shizuoka-hoiku.jp/>

<平成29年3月開設・平成30年11月リニューアル>

離職保育士届出数	184人(令和4年3月末現在)
----------	-----------------

・体験者からは「先生方の接し方や話し方を近くで見てもそれを真似しながら子ども達と接した。実際に働く先生方の近くで学ぶことができて良かった。」という意見があった。



「保育士さんの働く職場説明会&セミナー」
シズウエル
(令和3年12月13日)

(8) 放課後児童支援員の人材確保支援

保育士資格を有する放課後児童支援員の人材確保について、求職者と求人者からの相談対応や勤務条件等のマッチングを実施

求人 相談	求職 相談	新規求人 登録数	新規求職 登録数	就職者 数
19件	42件	20件 (155人)	19人	0人

(9) 保育士養成施設連絡会の開催

保育士を取り巻く状況の共有、早期離職の解消に向けた仕組みの検討や保育士の職場定着を目的とした情報共有を実施

第1回：令和3年7月2日（金）

「採用内定後の事前研修の現状と課題について～愛知県の取組～」 講師：豊橋創造大学短期大学部
キャリアセンター長 綱島 剛 氏

第2回：令和4年3月22日（火）

報告：保育士修学資金貸付制度等について

協議：アンケート調査（①事前実習・研修、②新入保育士の意識調査）等について

5 保育士、介護福祉士等の資金貸付事業の実施

(1) 介護福祉士修学資金貸付事業

ア 介護福祉士修学資金

介護福祉士養成施設に在学する者及び実務者研修受講者に対し、授業料等の貸付。

・介護福祉士修学資金 95人 70,093,200円

・介護福祉士実務者研修 91人 14,387,483円

イ 再就職準備金

離職した介護職員が介護職員として勤務する際に、再就職準備金の貸付。 54人 21,600,000円

ウ 【新規】 障害福祉分野就職準備金

障害福祉分野の研修を受講し、障害福祉サービス事業所に障害福祉職員として勤務した際に就職支援金の貸付。

1人 200,000円

エ 【新規】 福祉系高校修学資金

福祉系高校に在学者に対し、介護実習費、受験対策費等の貸付

61人 12,520,000円

・保育職の魅力発信、職場定着について保育士養成施設や保育士会等と課題解決に向けて協議した。

・県内の介護施設等への有資格者の就職促進と定着に寄与した。

<p>(2) 保育士修学資金等貸付事業</p> <p>ア 保育士修学資金 保育士養成施設に通う学生に対し、授業料等の貸付を行った。 659人 465,187,700円</p> <p>イ 保育補助者雇上費 保育士の雇用管理改善や労働環境改善に積極的に取り組む保育事業者に対し、保育士資格を持たない保育補助者の雇い上げに必要な費用の一部について貸付を行った。 12施設 14人 24,130,243円</p> <p>ウ 保育料の一部 未就学児をもつ潜在保育士が、保育士として保育所に勤務する際、未就学児の保育施設利用料の一部について貸付を行った。 39人 4,882,705円</p> <p>エ 就職準備金 潜在保育士が、保育士として保育所に勤務する際の就職準備金の貸付を行った。 105人 40,600,000円</p> <p>オ 子どもの預かり支援事業利用料金の一部 未就学児をもつ潜在保育士が、保育士として保育所に勤務する際、未就学児の預かり支援に関する事業所を利用した場合の利用料金の一部についての貸付。 0人 0円</p> <p>(3) 児童養護施設退所者等自立支援資金貸付事業 児童養護施設等を退所し、就職または進学した児童等に対し、家賃相当額や生活費、資格取得費を貸し付けることにより、自立を支援した。</p> <p>ア 生活支援費 6人 3,677,096円 イ 家賃支援費 4人 1,764,360円 ウ 資格取得支援費 3人 750,000円</p> <p>(4) ひとり親家庭訓練促進資金貸付事業 高等職業訓練促進給付金を活用し、看護師等の就職に有利な資格を取得するため養成機関に入学し卒業後その資格を利用し就労自立を目指すひとり親について、入学準備金・就職準備金を貸し付けることにより、ひとり親家庭の自立を促進した。</p> <p>ア 入学準備金 12件 6,000,000円 イ 就職準備金 17件 3,400,000円 ウ 住宅支援資金 22件 2,708,100円</p>	<p>・ 保育人材の確保及び保育士の雇用管理・労働環境の改善に寄与した。</p> <p>・ 施設退所者等の退所後の生活基盤の安定に寄与した。 安定した生活基盤の確立</p> <p>・ ひとり親家庭の経済的自立及び看護師等の人材確保に寄与した。</p>
---	---

6 県ホームヘルパー連絡協議会の事務受託

- ・一般研修会（3回）、サービス提供責任者研修会（3回）の開催



第1回一般研修会
(令和3年6月8日)

7 福利厚生センターの事務受託

- ア 業務推進委員会の開催（2月10日開催）
- イ 会員交流事業（48事業・中止3事業）
- ウ 会員加入等促進活動の実施（3施設・3団体）



会員交流事業
清水エスパルス観戦チケット



会員交流事業
中伊豆日帰りバスツアー

- ・訪問介護職員の資質向上につながった。

- ・コロナ禍でストレスが溜まる中、施設職員がリフレッシュでき、又職務に対する意欲向上に繋がった。
- ・施設職員の定着率の向上につながっている。

推進事項2 福祉業界・仕事の魅力発信

将来の福祉・介護従事者の確保を目的として、小、中、高校生を対象に福祉・介護職のイメージアップを図るための出前講座（セミナー）や体験ツアーを実施するとともに、一般的に持たれている福祉・介護の仕事に対する漠然とした不安やイメージを払拭できるよう、WEB高校・SNS等を利用した広報により福祉・介護職の魅力発信を行い、効果的に福祉人材の確保につなげた。

事業の実績						効果・評価	
1 福祉教育・仕事理解の講座等による若年層や教員、保護者等への浸透 (1) 福祉のお仕事魅力発見セミナーの実施 (4月～2月 県内小学校・中学校・高等学校等)						<ul style="list-style-type: none"> ・例年通りの要望に加え、コロナ禍で福祉体験ができない代替案としてセミナーへの依頼が増えた。外部との接触が少なくなってしまった教育現場で福祉の仕事について情報を発信できたことは、今後の事業促進、ひいては将来を担う世代の福祉・介護への参入促進につながった。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・県内の学校を訪問し、福祉・介護の仕事について興味・関心、理解を深める出前講座を実施（学校からの要望によってオンラインも実施） ・セミナーの資質向上のための講師意見交換会を開催 第1回11月3日、第2回2月28日 <実施状況> (3月末現在)							
	種別	種別	申込数		実施数		
			校数	回数	校数	回数	
小学校	公立		45	89	43	81	
	私立		0	0	0	0	
	計		45	89	43	81	
中学校	公立		26	80	25	77	
	私立		1	1	1	1	
	計		27	81	26	78	
高等学校	公立		12	21	12	21	
	私立		9	15	7	12	
	計		21	36	19	33	
合計			93	206	88	192	
(2) 保護者向け啓発資料の作成、配付						<ul style="list-style-type: none"> ・福祉の仕事魅力発見セミナーの受講生の保護者等に配布し、福祉の仕事に対するネガティブなイメージの払拭に寄与した。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・資料増刷 10,000部 ・Future しずおかガイドブックへの掲載（県内高校生向け） ・静岡新聞就活新聞への掲載 							
							
Future しずおか見開き 2P						保護者向け啓発資料	



福祉の仕事魅力発見セミナー
 <磐田市立磐田中部小学校>
 (令和3年12月6日)

2 福祉施設の見学会や参加・体験型イベントの実施
福祉のしごと学び体験ツアー(リモート版)の実施
社体験を実施した。

<実績>

地区 場所	日程	法人名等	参加 人数
中部 シズウエル	7/27(火)	(株)ツクイ、(医)百葉の会、静岡福祉大学	18人
東部 プラサヴェルデ	8/3(火)	(株)ツクイ、(株)サンリッチ三島、大原介護福祉専門学校沼津校	12人
西部 サーラシティ浜松	8/6(金)	(株)ツクイ、(福)ほなみ会、聖隷クリストファー大学	9人
計			49人

※西部は新型コロナウイルス感染症防止のため、WEB開催のプログラムに変更

3 WEBサイトやSNSによる広報・啓発の推進

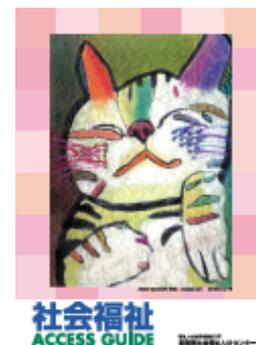
- (1) 広報(新聞、テレビ、ラジオCM等)の実施
- (2) リーフレット(Job-note)の発行 5,000部
- (3) 社会福祉アクセスガイドの発行 2,000部
- (4) 利用の手引きの発行 2,000部
- (5) 求人の手引きの発行 800部
- (6) 社会福祉人材センター年報の発行 200部
- (7) 福祉・介護の仕事イメージアップ冊子の発行 6,000部
- (8) ホームページの充実
- (9) WEB広告の実施
- (10) 電車内アナウンスの実施

- ・新型コロナウイルス感染症防止のため、集合形式によってVR認知症体験やリモートや動画による施設見学会を実施することによって、福祉の仕事の魅力ややりがいについて理解を深める機会となった。また、今年度は各地域の福祉系の大学・専門学校生からもメッセージもいただき、進路の参考となった。



中部：令和3年7月27日
(シズウエル)

- ・テレビCMの放送やインターネットによる情報提供等により、広く県民に広報・啓発を行い、福祉の仕事に対するイメージアップや社会福人材センターの周知につながった。
- ・社会福祉アクセスガイドの表紙をより親しみやすくするため、atelier QUOKKAの作品を使用した。



推進事項3 質の高い人材の育成支援

1 各種研修の実施

福祉職場の人手不足が深刻化している中、福祉サービスの担い手の確保と定着を図るため、現に福祉職場に従事する方の資質向上と併せ、就労環境の改善が急務となっています。

そこで、福祉職員を対象とした外部研修実施機関として階層別・テーマ別の研修会を、集合研修、オンライン研修を交えて開催するとともに、人材育成の基本である職場内研修の実施を支援した。

事業の実績	効果・評価
<p>(1) 研修の体系化及び効率性の向上</p> <p>ア 研修の体系化に基づき研修会を開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修体系に基づき、74本の研修を新型コロナウイルス感染防止に努めながら実施した(受講者4,053人)。 ・実施研修74本のうち51本の研修について、オンライン形式を活用して実施した。 <p>イ 研修受講申込みの効率的な実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本会ホームページ上から研修受講申込みができるサービスを提供した。 <p>(2) 積極的な研修広報の展開</p> <p>希望する事業所等へ毎月電子メールにて研修情報を提供するとともに、申込システムに登録のある会員事業所にも情報提供した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉職員に必要とされる組織力・専門技術力・人間力の習得を通じてサービスの質向上や職員の職場定着に寄与した。 ・事業所及び本会の経費削減・事務の効率化に寄与した。 ・受講者の確保に努めた。



研修風景（オンライン研修）



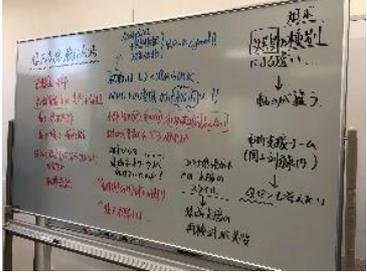
研修風景（集合研修・グループ発表）

基本目標3 災害福祉支援体制づくり

実施目標1 災害に備えた支援体制を構築します

推進事項1 静岡県災害ボランティア本部・情報センターの機能強化

県内全域を対象にボランティア活動の支援を行う広域拠点として、市町災害ボランティア本部が円滑に機能するよう、人材育成、活動資機材の整備、情報発信拠点及び県行政等関係機関・団体との連携体制の強化を図った。

事業の実績	効果・評価
<p>(1) 本会職員の人材育成</p> <p>ア 7月大雨災害の発生に伴い、静岡県災害ボランティア本部・情報センターが設置されたことにより、職員を各班に配置し、実際の運営を経験したことが各職員の学びとなった。</p> <p>イ 県域支援検証会議の開催(12/27)</p> <p>7月豪雨災害の支援について、県社協職員として県域支援の検証を行った。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 正規職員で支援の棚卸をすることで今後の課題が明らかとなり、BCP策定につなげることができた。  <p>(県域支援検証会議)</p>
<p>(2) 活動資機材の配備と保守点検</p> <p>ア 設置資機材を活用した稼働訓練と保守点検</p> <p>イ 周遠圏域(森町)への設置及び新規設置拠点(東部)の検討【赤い羽根助成金事業】</p> <p>特別養護老人ホーム森町愛光園(森町)に設置(6/29)</p> <p>新規拠点は富士市(東部)に設置予定</p>	
<p>(3) 県本部・情報センターの体制整備</p> <p>ア IT支援協定に基づく平時の取組の実施【再掲】</p> <p>サイボウズ災害支援チーム、県内外市町社協担当者との定例ズーム会議の開催(毎週月曜日)</p> <p>イ 支援協定の年次確認の実施</p> <p>支店合併に伴う銀行、信用金庫との協定内容の見直しを検討し協定締結先に確認を行った。</p> <p>ウ 県本部・情報センターHP内の市町別サイト構築</p> <p>7月豪雨災害により、熱海市、沼津市、富士市においてサイトを公開し運用した。</p> <p>エ 有識者との「災害福祉支援アドバイザー」の業務委託契約締結(9/1～)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 災害ボランティアセンターの他県の状況や最先端の情報を収集した。 被災地の状況や支援に関する情報を迅速に発信することができた。  <p>熱海市復興ボランティアセンター</p>

オ 県との「静岡県災害ボランティア本部・情報センターの設置・運営等に関する協定」を締結 (9/9)

(4) 県本部マニュアルの更新

ア 県、県ボランティア協会と更新内容の検討

イ マニュアルの更新

・県所管3課、県ボランティア協会との5者検討会(7/15)

令和3年7月豪雨災害における静岡県災害ボランティア本部・情報センターの設置、運営 (7/3~10/9)

・被災地支援経験豊富な識者から初動対応について助言指導を受けることができた。

・発災初日に本部を設置し、被災地社協支援を実施。



県災害VC本部・情報センター
HP・市町別サイト



災害ボランティア活動用
資機材整備事業【赤い羽根助成事業】



ふじのくに支援者会議の開催(7/9)



被災地社協への巡回支援
(富士市災害ボランティアセンター)

推進事項2 静岡県災害福祉広域支援ネットワークの機能強化及び社会福祉事業者の防災対策支援

県・市町の災害対策本部と連携し、地域の要配慮者を支援する「静岡県災害福祉広域支援ネットワーク」の強化を図るため、「静岡 DWAT」登録員のスキルアップ、事務局体制の強化、受援体制の構築及び他の専門職チームとの連携体制の構築を図った。

事業の実績	効果・評価																						
<p>(1) 災害派遣福祉チームの体制強化</p> <p>ア 静岡 DWAT 登録員養成研修の開催 (2/28)</p> <p>イ スキルアップ研修の開催 (12/20、12/21)</p> <p>ウ 平常時の支援活動展開</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 県総合防災訓練事前打合せ (8/4) 2. ふじ bousai (11/20) 3. 福祉避難所(賀茂モデル)設置訓練 (12/24) <p>エ 県内3地域(東部・中部・西部)における支部活動の推進</p> <table border="1" data-bbox="240 792 924 972"> <thead> <tr> <th>エリア</th> <th>開催日</th> <th>時間</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>東部</td> <td>6/15(火)</td> <td>13:30~15:00</td> <td>24人</td> </tr> <tr> <td>中部</td> <td>6/16(水)</td> <td>13:30~15:00</td> <td>12人</td> </tr> <tr> <td>西部</td> <td>6/11(金)</td> <td>13:30~15:00</td> <td>16人</td> </tr> </tbody> </table> <p>オ ネットワーク会議の開催 (3/9)</p> <p>カ 医療・保健・福祉分野における災害支援団体連絡会の開催 (11/5、2/25)</p> <p>キ 災害派遣福祉チーム活動用資機材の整備 (ダンボールベット・ビブス) 【赤い羽根助成金事業】</p> <p>ク 【新規】熱海市土砂災害における静岡 DWAT の派遣活動</p> <table border="1" data-bbox="231 1272 895 1491"> <thead> <tr> <th>派遣場所</th> <th>派遣期間</th> <th>派遣者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>熱海市避難所 (ニューフジヤホテル ウオミサキホテル 金城館)</td> <td>7/5~8/31 (57日間)</td> <td>のべ215人</td> </tr> </tbody> </table> <p>ケ 派遣者振り返りの会 (10/20)</p> <p>(2) 要配慮者支援の理解促進</p> <p>ア 静岡 DWAT 出前講座の実施</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 掛川市福祉避難所部会 (7/20) 2. 県介護福祉士会第1回災害フォーラム (10/3) 3. 静岡 DWAT に学ぶ災害時の福祉や介護 (10/12) 4. 袋井市施設介護支援専門員研修 (10/19) 5. CSW 東部研究会研修 (11.6) 6. 静岡県立大学短期大学部講座 (11/15) 7. 静岡県介護支援専門員協会研修会 (12/4) 8. 災害リハビリテーション研究会 (12/11) <p>イ 職能団体、種別協等との合同研修会の開催</p> <p>ウ 静岡 DWAT 啓発用展示パネル貸し出し事業の実施</p>	エリア	開催日	時間	参加者数	東部	6/15(火)	13:30~15:00	24人	中部	6/16(水)	13:30~15:00	12人	西部	6/11(金)	13:30~15:00	16人	派遣場所	派遣期間	派遣者数	熱海市避難所 (ニューフジヤホテル ウオミサキホテル 金城館)	7/5~8/31 (57日間)	のべ215人	<ul style="list-style-type: none"> ・登録員数が249名に増加した。 ・会議開催により静岡 DWAT 登録員の横のつながりづくりにつながった。 ・支部化の目的を理解し、今後の活動の展開について検討した。 ・伊豆山土砂災害において、57日間の支援活動を展開し、避難所内の福祉ニーズに対応した。 <ul style="list-style-type: none"> ・出前講座、研修等を実施し、地域防災の向上に寄与するとともに、静岡 DWAT の周知を行った。 <div data-bbox="1027 1476 1482 1727" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1043 1765 1453 1827" data-label="Text"> <p>実践事例映像の作成</p> </div>
エリア	開催日	時間	参加者数																				
東部	6/15(火)	13:30~15:00	24人																				
中部	6/16(水)	13:30~15:00	12人																				
西部	6/11(金)	13:30~15:00	16人																				
派遣場所	派遣期間	派遣者数																					
熱海市避難所 (ニューフジヤホテル ウオミサキホテル 金城館)	7/5~8/31 (57日間)	のべ215人																					

<p>(3) 個別避難計画(災害時ケアプラン)の作成促進</p> <p>ア モデル地区(富士市)における計画作成支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者事例 <ul style="list-style-type: none"> 当事者力アセスメント (11/16) 地域力アセスメント (11/19) 調整会議における「個別避難計画」の作成 (11/19) ・障がい者事例 <ul style="list-style-type: none"> 当事者力アセスメント (9/9) 地域力アセスメント (10/19) 調整会議における「個別避難計画」の作成 (10/19) 避難訓練による「個別避難計画」の検証 (12/5) <p>イ モデル事業報告会の WEB 開催 (2/25、参加者：146 人)</p> <p>ウ モデル事業報告書の作成</p> <p>エ 実践事例映像の作成</p>	
--	--



熱海市土砂災害における派遣活動
(医療・保健・福祉合同調整会議)



熱海市土砂災害における派遣活動
(福祉なんでも相談)

実施目標2 災害時の市町社協を支援します

推進事項1 市町社協運営支援

「被災地に対する社協ネットワークの役割と支援の提案」(全社協作成)を進め、災害時の連絡体制の整備や社協間のネットワークを活かした効果的な支援のあり方を検討するとともに、BCP(事業継続計画)の策定など、提案に沿った体制づくりを支援します。災害時には社協ネットワークを駆使し、災害支援活動に専念できるよう、スーパーバイズ機能、コーディネート機能、代替機能を発揮した支援活動を行った。

事業の実績	効果・評価
<p>(1) 災害時相互支援協定に基づく職員派遣</p> <p>ア 令和3年7月豪雨災害における静岡県災害ボランティア本部・情報センターの設置運営と被災地社協支援の実施</p> <p>イ 市町社協応援職員派遣の実施 熱海市125人、延べ442人日 沼津37人、延べ99人日、富士10人、延べ22人日</p> <p>(2) 県災害ボランティア本部・情報センターの体制整備</p> <p>【赤い羽根助成金事業】</p> <p>ア 令和3年7月豪雨災害による県災害ボランティア本部・情報センターを設置運営(7/3~10/9)</p> <p>イ 多様な支援機関と連携協同を実施</p> <p>ウ JVOADの要請、技術系支援団体の要請、外部識者の招聘等運営財源確保に関する要望の継続</p> <p>エ 公益信託静岡県災害ボランティアファンドの見直し要望書の提出(8/12)</p> <p>オ 県、県ボランティア協会との検討会の実施(7/15、12/27)</p> <p>カ 令和3年7月豪雨災害支援活動記録映像の制作 熱海市、沼津市、富士市の各災害ボランティアセンターの記録映像を制作</p> <p>(3) 【新規】市町社協災害ボランティア担当者研修・会議の開催 市町社協災害ボランティア担当者人材育成研修の開催【再掲】</p> <p>【赤い羽根助成金事業】</p> <p>実践編(6/17)</p> <p>運営編(11/29)</p> <p>広報&ICT活用編(3/9)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 発災により県災害ボランティア本部・情報センターが設置され、被災地社協の後方支援を行った。 多様な支援機関と迅速に連携協働を図ることができ、被災地社協の支援に寄与した。 市町社協担当者が災害ボランティアセンターの運営に必要なヒト、モノ、情報について学ぶことができた。



多様な支援関係者との連携協働
(熱海市災害ボランティアセンター)



多様な支援関係者との連携協働
(沼津市社協地域ささえあいセンター)

推進事項2 被災者への生活支援

事業の実績	効果・評価
<p>(1) 円滑な生活福祉資金(特例貸付)の実施 災害時等の貸付けの特例措置に関する協定に基づく協定機 関連絡会の実施及び実施体制・方法の検討 ・熱海市豪雨災害に係る生活福祉資金貸付業務応援職員の派 遣 市町社協 42日間 64人 県社協 7日間 7人 計46日間 71人</p> <p>(2) 日常生活自立支援事業の利用者への支援の検討 ア 運営マニュアルに基づいた訓練の実施(1回) イ 災害VCと他事業との連携検証(随時)</p> <p>(3) 【新規】生活支援相談員の体制整備の検討 生活支援相談員の設置想定の方策と体制整備に向けた検討 ・熱海市豪雨災害に係る「熱海市伊豆山ささえ逢いセンター」 の設置に向けた検討、支援</p> <p>(4) 介護保険サービス利用者への支援の検討 サービス利用者の安否確認と避難生活時の支援を想定した 体制整備の検討</p> <p>(5) 【新規】被災者見守り・相談支援事業の実施 静岡県熱海地域支え合い支援センターの運営 熱海市伊豆山ささえ逢いセンターの事業支援 ・熱海市センターとの打ち合わせ(計13回) ・熱海市伊豆山ささえ逢いセンター連絡会(12/3) ・相談員向け研修(10/18、1/6) ・アドバイザー派遣・市相談員への同行訪問支援(計68日)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全市町社協で災害時の事業運営が円滑に展開できる体制構築 ・県市町社協の担当職員が共通認識のもと行動できるようにする。 ・市町社協で運営が円滑にできるよう体制整備を行う。 ・県市町社協の担当職員が共通認識のもと行動できるようにする。 ・熱海市伊豆山ささえ逢いセンターの事業支援を県センターとして先行実施地域の協力を得て行うことが出来た。

基本目標4 地域福祉を支える県社協の基盤づくり

実施目標1 組織・経営強化を図ります

推進事項1 組織体制の強化

本会の会員サービスの充実に向けた検討を引き続き行うとともに、未加入の県内事業所等に対し、加入促進を行った。

また、制度改正や社会の動向に対応した組織体制を整備するとともに、法令遵守が徹底されるように取り組んだ。

災害に対しては、想定されるあらゆる状況に対応できるよう活動マニュアルの整備の検討を進めた。

なお、平成31年度から5年間指定管理者の指定を受けている静岡県総合社会福祉会館（シズウェル）の管理・運営については、静岡県と締結する協定書を遵守し、入居団体や利用者の安心と満足を確保する管理と運営に努めた。

事業の実績	効果・評価
<p>1 会員サービスの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組織強化委員会及び企画戦略会議において新たな会員サービスを検討した。 ・会員限定の研修会として「リスクマネジメント研修会」を10/22に実施（zoom開催、参加者112人）。 <p>2 未加入事業所、賛助会員の加入促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組織強化委員会や企画戦略会議における検討結果をもとに、放課後等デイサービスの設置主体（株式会社）105社に対し、加入案内を送付。 <p>3 連絡協議会、部会、委員会活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町社協連絡協議会、社会福祉団体連絡協議会の運営（再掲） ・介護保険部会（幹事会：10/11） ・広報啓発部会（幹事会2/17） ・相談事業部会・総務部会（12/6）の開催 介護保険部会全体会等を開催し、市町社協が抱える課題を共有し、課題解決の参考となる研修会の企画を検討した。 <p>4 事務組織体制、ガバナンスの強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉人材部長や総務課長、課員による、新規採用職員向けの導入研修（4/2 10人、7/1 1人、1/4 1人、2/1 3人） ・制度改正や社会の動向に対応した見直し ・新規事業実施に伴う事務量増に対応するため、嘱託事務職員を1名採用。また、生活福祉資金貸付事務等、各課の事務量の一時的な増加に対応し、派遣会社からの派遣職員を配置して対応。 	<ul style="list-style-type: none"> ・会員制度の理解促進と会員向けサービスの充実による新規会員の獲得を図った。 ・加入案内の送付により、16社から会員加入の問い合わせを受けている。 ・連絡協議会、部会、委員会での意見を中期計画、年度計画に反映 ・主に新規採用職員の法令順守意識の醸成につながっている。 ・業務の増加に対応し、職員負担の軽減と事務円滑化を図った。

<p>5 理事会・評議員会の運営</p> <p>(1) 理事会の開催</p> <p>【書面】R3.5.6(木)みなし決議</p> <p>1 議題</p> <p>① 理事の候補者選定案</p> <p>② R3 5月生活福祉資金会計資金収支補正予算</p> <p>③ 評議員会の招集</p> <p>【第217回】R3.6.9(水)14:00～</p> <p>1 議題</p> <p>① 理事・監事の候補者選定案</p> <p>② 評議員候補者選任案</p> <p>③ R2事業報告</p> <p>④ R2一般会計・生活福祉資金会計収支決算</p> <p>⑤ R3 6月一般会計・生活福祉資金会計資金収支補正予算</p> <p>⑥ 経理規程の一部改正(案)</p> <p>⑦ 第178回評議員会の招集</p> <p>2 報告事項</p> <p>① 外部監査の実施結果</p> <p>② R2会長及び常務理事の職務執行状況</p> <p>③ R2決算に基づく社会福祉充実残額の算定結果</p> <p>④ 県社協に対する寄附金等</p> <p>⑤ 生活福祉資金特例貸付の実施状況</p> <p>⑥ 牧之原市における突風(竜巻)被害への対応</p> <p>⑦ 感染症発生施設への応援体制構築事業</p> <p>【第218回】R3.6.24(木)15:30～</p> <p>1 議題</p> <p>① 人事案件(会長、副会長、常務理事の選定)</p> <p>② 理事の候補者選定案</p> <p>③ 評議員会の招集</p> <p>2 報告事項</p> <p>① 評議員の選任結果について</p> <p>【書面】R3.7.28(水)みなし決議</p> <p>1 議題</p> <p>① 人事案件(副会長の選定)</p> <p>【書面】R3.9.6(月)みなし決議</p> <p>1 議題</p> <p>① 職員給与規程の改正</p> <p>② R3 9月一般会計・生活福祉資金会計資金収支補正予算</p> <p>③ 評議員会の招集</p> <p>2 報告事項</p> <p>① 令和3年7月静岡県東部豪雨災害への対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県社協や地域が抱える課題や重要事項等を審議することにより、県社協事業の円滑な遂行と的確な地域福祉施策の推進につながった。 ・ 新型コロナウイルスによる経済活動低迷の長期化を受けた生活福祉資金の貸付申請の増大や、7月の東部豪雨災害対応のための補正予算を編成し、迅速な事業実施を図った。
--	--

<p>② 生活福祉資金特例貸付の実施状況</p> <p>【第 219 回】 R 3 . 10 . 26 (火) 14 : 00 ~</p> <p>1 議題</p> <p>① R 3 11 月一般会計及び生活福祉資金会計資金収支補正予算</p> <p>② 経理規程の一部改正 (案)</p> <p>③ 職員給与規程の一部改正 (案)</p> <p>④ 役員等報酬規程の一部改正 (案)</p> <p>⑤ 評議員会の招集</p> <p>2 報告事項</p> <p>① R 3 上半期主要事業執行状況報告</p> <p>② 令和 3 年 7 月静岡県東部豪雨災害への対応</p> <p>③ 熱海市避難所における災害派遣福祉チーム (静岡 DWAT) の活動</p> <p>④ 令和 2 年度決算の検証</p> <p>⑤ 令和 3 年度上半期の会長及び常務理事の職務執行状況</p> <p>⑥ 生活福祉資金特例貸付の実施状況</p> <p>【第 220 回】 R 4 . 3 . 11 (金) 13 : 30 ~</p> <p>1 議題</p> <p>① 地域共生基金の創設等について</p> <p>② R 3 3 月一般会計及び生活福祉資金会計資金収支補正予算</p> <p>③ R 4 事業計画 (案)</p> <p>④ R 4 一般会計及び生活福祉資金会計資金収支予算 (案)</p> <p>⑤ 諸規程の一部改正 (案)</p> <p>⑥ 評議員会の招集</p> <p>2 報告事項</p> <p>① 静岡県熱海地域支え合い支援センターの運営</p> <p>② 生活福祉資金特例貸付の実施状況</p> <p>③ R 4 理事会・評議員会等の日程</p> <p>(2) 評議員会の開催</p> <p>【書面】 R 3 . 5 . 13 (木) みなし決議</p> <p>1 議題</p> <p>① 理事の選任</p> <p>② R 3 5 月生活福祉資金会計資金収支補正予算</p> <p>【第 178 回】 R 3 . 6 . 24 (木) 13 : 00 ~</p> <p>1 議題</p> <p>① 理事・監事の選任</p> <p>② R 2 事業報告</p> <p>③ R 2 一般会計・生活福祉資金会計 収支決算</p> <p>④ R 3 6 月一般会計・生活福祉資金会計資金収支</p>	
---	--

<p>補正予算</p> <p>2 報告事項</p> <p>① 外部監査の実施結果</p> <p>② R 2 決算に基づく社会福祉充実残額の算定結果</p> <p>③ 県社協に対する寄附金等</p> <p>④ 生活福祉資金特例貸付の状況</p> <p>⑤ 牧之原市における突風（竜巻）被害への対応</p> <p>⑥ 感染症発生施設への応援体制構築事業</p> <p>【書面】R3. 7. 16（金）みなし決議</p> <p>1 議題</p> <p>① 理事の選任</p> <p>【書面】R3. 9. 13（月）みなし決議</p> <p>1 議題</p> <p>① R 3 9月一般会計・生活福祉資金会計収支補正予算</p> <p>2 報告事項</p> <p>① 令和3年7月静岡県東部豪雨災害への対応</p> <p>② 生活福祉資金特例貸付の実施状況</p> <p>【第179回】R3. 11. 10（水）14:00～</p> <p>1 議題</p> <p>① R 3 11月一般会計及び生活福祉資金会計資金収支補正予算</p> <p>② 役員等報酬規程の一部改正（案）</p> <p>2 報告事項</p> <p>① R 3 上半期主要事業執行状況報告</p> <p>② 令和3年7月静岡県東部豪雨災害への対応</p> <p>③ 熱海市避難所における災害派遣福祉チーム（静岡DWA T）の活動</p> <p>④ 令和2年度決算の検証</p> <p>⑤ 生活福祉資金特例貸付の実施状況</p> <p>【第180回】R4. 3. 25（金）15:30～</p> <p>1 議題</p> <p>① 地域共生基金の創設等について</p> <p>② R 3 3月一般会計及び生活福祉資金会計資金収支補正予算</p> <p>③ R 4 事業計画（案）</p> <p>④ R 4 一般会計及び生活福祉資金会計資金収支予算（案）</p> <p>2 報告事項</p> <p>① 静岡県熱海地域支え合い支援センターの運営</p> <p>② 生活福祉資金特例貸付の実施状況</p> <p>③ R 4 理事会・評議員会等の日程</p> <p>(3) 監事による監査 5月21日（金）</p> <p>(4) 評議員選定委員会の開催 6月14日（月）</p>	
--	--

<p>6 政策提言の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県への地域福祉の提言(12/22) 【再掲】 ① コロナ禍における県民の生命と生活を守るための継続支援及び「地域共生社会」に向けた取組の推進 ② 福祉・介護人材の安定的な確保 ③ 災害にも強い福祉のまちづくりの推進 <p>7 静岡県社会福祉協議会災害対策本部の運営</p> <p>県社協災害対策実施計画の抜本的な見直しを開始した。(令和4年度完了予定)</p> <p>8 県社協災害対策本部の立ち上げ訓練の実施</p> <p>7月の県東部豪雨災害による県災害ボランティア本部・情報センターの活動を優先し未実施。</p> <p>9 県総合社会福祉会館(シズウエル)の管理・運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指定期間 平成31年4月1日～令和6年3月31日 ・ 館内における新型コロナウイルス感染防止に配慮 <p>ア 指定管理業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 会議室等の使用承認等 ② 利用料金の設定及び収受 ③ 会館の維持管理 ④ 会館入居団体、利用者の調整 ⑤ 来館者への食事提供に関する業務 <p>イ 利用実績(3月末現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 有料会議室(10室うち1室は、展示ギャラリー兼用)、利用料金収入10,407,350円 ・ その他の施設(7施設、32入居団体) ・ 累計2,257件、52,544人利用 <p>ウ 接遇研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 5/28「知らないと恥をかく接遇の基本」21人 ② 6/7「さすが!と言われる接遇のコツ」8人 <p>エ 普通救命講習Ⅰの開催</p> <p>新型コロナウイルスの緊急事態宣言、まん延防止等重点措置が適用され、講習依頼先の静岡市消防本部の職員の派遣が困難となったため、令和3年度中には実施できなかった。</p> <p>オ フェスタシズウエル2021(中止)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルスの感染防止を考慮し、中止 <p>10 防災訓練の実施</p> <p>(1) 情報伝達訓練の実施</p> <p>(4月、県社協職員、会館入居団体職員)</p> <p>(2) 総合社会福祉会館防災訓練の実施</p> <p>第1回: 9/2実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナによる緊急事態宣言下での訓練であり密を避けるため、放水訓練以外は図上実施。 ・ 階段避難器具(EVAC+CHAIR)等動作確認の必要な 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会福祉に関する県への要望等の実現 ・ 県社協災害対策実施計画に基づく各業務班の活動内容の明確化 ・ 県災害ボランティア本部・情報センターの実設置により、運営に関する知見を得た。 ・ 指定管理者として、会館の管理運営業務を着実に遂行し、入居団体や利用者が安心して、満足が得られる運営に努めた。 ・ 新型コロナウイルス感染防止のため、会館内でのマスク着用、玄関や会議室へのアルコール消毒液の設置、受付の飛沫防止パネルの設置、トイレ等の消毒などの対策を徹底した。 ・ 会館入居団体職員等を対象とした接遇研修に多くの職員等が参加し、会館職員及び関係者の資質向上を図ることができた。 ・ 情報伝達が円滑に行われるか検証できた。 ・ 入居団体職員による放水訓練の実施により防災設備操作の熟知に努めた。 ・ 新型コロナウイルスによる緊急事態宣言やまん延防止等重点
--	---

<p>機器類の訓練は宣言解除後に実施する予定であったが、宣言解除後も長期に渡りまん延防止等重点措置が適用されていたため、実施しなかった。</p> <p>第2回防災訓練：2/18実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症によるまん延防止等重点措置が適用されていたため、密を避け、感染防止の観点から図上実施。 <p>11 任意監査の実施</p> <p>(1) 決算書類に関する任意監査の実施(5/17～18)</p> <p>(2) 出納業務に関する任意監査の実施(11/17～18)</p> <p>(3) 会計業務及び予算執行に関する任意監査の実施(2/16～17)</p> <p>12 【新規】 県社協 70 周年記念事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 70 年史を編纂し発行した。 2,300 部作成、県社協会員や関係機関に配布。 未来年表作成ミーティングの開催(随時) <p>常葉大学造形学部の協力のもと、社会福祉協議会及び静岡県の福祉の未来をイメージした未来年表を作成して公開した。</p>	<p>点措置の期間であったため図上訓練とした。</p> <ul style="list-style-type: none"> 各団体に図上訓練の趣旨の周知に努めた結果、多くの参加があったが、引き続き訓練の見直しをすすめる。 会計経理の適正な手続きと事業運営の透明性を確保 過去の事業の総括及び諸事業や活動のさらなる発展をはかる
--	--

推進事項2 経営基盤の強化

限られた財源を有効活用するため、財政の効率化と改善を推進し、財政基盤の強化を図った。

事業の実績	効果・評価
<p>1 新たな自主財源収入の検討・獲得</p> <ul style="list-style-type: none"> 課ごとに加入していたzoomアカウントを見直し、300人まで参加できるアカウントを導入。人気研修の受入定員増により、受講料収入の増加をはかった。 多額の遺贈を受け、制度の狭間にある福祉課題に対応するため、新たに「地域共生基金」を造成し事業に活用していくこととした。 <p>2 各種基金の運用方法の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> 松下基金の運用債券を売買し、長期にわたる安定的な利息収入の確保に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> 自主財源事業における新たな財源確保の検討を進めた。 限られた財源の中で、新たな自主財源の捻出や有効活用することによる財源基盤の強化を進めた。 計画的な財政執行の促進に努めた。

<p>3 経常経費の見直しによる支出削減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・備品管理の一元化 ・事務機器等契約の見直し リース期間経過後の印刷機について、耐用年数や累計印刷枚数を検討した上で、リース期間を延長（再リース）することとした。 ・事業検証、決算分析の実施 令和2年度の決算分析を理事会及び評議員会に報告した。 ・福祉カレンダーのサイズ見直しにより、印刷費用と発送費を前年度比60%に抑制した。 ・オンラインによる「就職相談会」や「保育のお仕事フェア」開催により、会場費・職員旅費・移動時間の節約とともに、来場者の利便を高めた。 ・会計・経理講座の動画編集について、編集ソフトを購入し職員が作業を行うことで、業務委託費を前年比約32万円減額できた。 <p>4 ICT活用による業務効率化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・勤怠や休暇管理、時間外勤務申請・集計及び手当支払等の事務省力化のため、これらを統合管理する勤怠管理システムの導入を進めた（令和4年度より導入） ・公益事業の貸付管理システムを稼働し、エクセルによる総合振込依頼書の作成からオンライン送金に全て変更した。 ・人材センターの求職・求人情報の記録入力にキントーンのアプリを活用することで、対応履歴をリアルタイムで共有し、折り返し対応を円滑化した。また、相談件数の集計作業の手間やペーパーレスにつながった。 ・県内各町における一時生活利用者の食糧・日用品のリスト管理をキントーンへ移行し情報共有することにより、過剰発注の防止ができた。 ・静岡 DWAT として初めての県内派遣活動である「熱海市土砂災害」（7月）を契機に、静岡 DWAT 登録員専用ホームページを開設し、各登録員や関係者に避難所の活動状況を発信し、リアルタイムな情報発信・共有が可能となった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTの活用・導入を進め、事務省力化・効率化や、情報共有ができた。
---	--

推進事項3 広報力の強化

県内の地域共生づくりに向けた先駆的な取組みや地域特性を反映した取組みなどの最新情報を収集し、職員一人一人が高い意識を持ち、様々な媒体を活用した広報・情報提供の取組みを進めた。

また、社会福祉協議会の創設70周年を機に、本会のこれまでの歩みや事業理念を積極的に広報し、本会の認知度を高めることに努めた。

事業の計画及び概要	効果・評価
1 福祉情報の発信強化するための取組 (1) ホームページの充実及び積極的な活用促進 ・適宜情報を更新し、最新情報の発信に努めている。 (2) 広報力強化を検討する場を設置 ・広報戦略委員会を中心に、魅力あるSNSの発信に関する職員研修を開催した(7/19) ・プロパー職員を対象に、広報力(情報発信力)を強化する職員研修を開催した(12/22、1/7) (3) 県社協パンフレットによる広報 (4) 機関紙「むすぶつなぐ」(社会福祉しずおか)の発行 ・年間8回(奇数月、4月、10月) ・各11,300部発行 (5) 【新規】県社協70年史の編纂(再掲)	・県社協ホームページが、地域共生社会づくりのポータルサイトとなるよう運営した。 ・若年層を意識した情報発信を進めた。 ・ビジョン、ガイドラインに基づいた広報を行った。 ・社会福祉協議会の認知度向上に努めている。

実施目標2 「人財」育成を図ります

推進事項1 安心して働ける職場づくり

安心して長く働くことのできる職場づくりのため、長時間労働の是正や年次有給休暇の取得推進のための取組を行った。

また、本会職員が、育児・介護等個々のライフスタイルに合った働き方ができるよう働きやすい職場環境を整備した。また、県社協職員として目指すべき職員像や具体的な行動目標について、役職、階層、雇用形態ごとに明文化し、知識や技術の向上に取り組んだ。

事業の実績	効果・評価
1 働きやすい職場環境づくり (1) 年次有給休暇の取得推進等、職員が安心して働くための取組 ・休暇取得が遅れている職員への取得奨励 ・災害対応等で夏季休暇を取得できない職員に配慮した取得期間の延長 ・管理職員の災害対応を想定し、県の制度を参考に、管理職特別勤務手当を創設。 ・新型コロナウイルスのワクチン接種や副反応について、職務専念義務免除の対象とした。 ・臨時職員の忌引日数及び特別休暇の付与日数の見直し ・育児休業・介護休業法の改正に合わせた規程類見直し	・職員のワークライフバランスの向上を図った。 ・仕事の効率化による生産性の向上を図った。 ・安定的な人材の確保 ・職員が安心して長く働ける職場環境の実現をすすめた。 ・職員のストレスの軽減 ・職員の健康保持

<ul style="list-style-type: none"> ・名古屋市災害ボランティアセンター3社合同研修 ・新潟県災害支援コーディネーター養成研修（2回） ・京都DWA T研修会 ・奈良DWA T研修会 ・生協役職員研修会 ・しまねDWA T研修会 ・関東甲信越静岡ブロック社会福祉法人経営青年会研修会 ・神奈川県内市町社協ICT情報共有会議 ・浜松市災害VC講座 ・日本介護福祉学科シンポジウム ・全社協チームリーダー養成研修 ・愛知県DWA T研修会 <p>(7) 業務マニュアル等の整備と見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会計システムマニュアルの更新 ・令和4年度勤怠管理システムの導入に向けたマニュアル検討 	
--	--

事業報告の附属明細書

役員・評議員・事務局職員・受託団体の状況

令和4年4月1日現在

1 役員、評議員 (単位：人)

理 事 (定数 16)	会 長	1
	副 会 長	3
	常務理事	1
	その他理事	10
	計	15
監 事 (定数 3)		3
評議員 (定数 26)		24

2 職員 (単位：人)

区 分	前年度(R2年度)		本年度(R3年度)				
	令和2年度 末現在	令和2年度 末退任等	採用	中途 退職	職種 転換	令和3年度 末現在	令和3年度 末退任等
職 員 (内育休)	28 (2)	△3 (0)	2 (0)	△1 (0)	0 (0)	26 (0)	△2 (0)
再 雇 用 (内育休)	2 (0)	△1 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	3 (0)	0 (0)
専 任 職 員 (内育休)	13 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	△2 (0)	11 (0)	△2 (0)
嘱 託 員 (内育休)	4 (0)	△2 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	4 (0)	△2 (0)
嘱託事務員 (内育休)	13 (0)	△3 (0)	11 (0)	△6 (0)	0 (0)	15 (0)	△6 (0)
臨時事務員 (内育休)	2 (0)	0 (0)	1 (0)	△1 (0)	0 (0)	2 (0)	△1 (0)
計 (内育休)	62 (2)	△9 (0)	16 (0)	△8 (0)	0 (0)	61 (0)	△13 (0)

- ※1 令和3年度に職種転換した職員は2人 (R3.4 専任職員→再雇用2人)
- ※2 令和3年度末退任等には、令和4年度当初の職種転換のために退任する職員を含む
(R4.4 専任職員→正規職員1人、専任職員→再雇用1人、嘱託事務員→専任職員2人)
- ※3 区分の項目における「職員」は、プロパー職員と県派遣職員の合計
- ※4 職員数は、本会が採用している実数(育児休業者を含み、町社協からの派遣職員除く)

事務受託団体一覧

団体名	担当課
静岡県社会福祉法人経営者協議会	経営支援課
福利厚生センター静岡事務局	経営支援課
静岡県里親連合会	経営支援課
静岡県肢体不自由児協会	経営支援課
静岡県ホームヘルパー連絡協議会	経営支援課
静岡県民生委員児童委員協議会	地域福祉課

会員状況一覧（令和4年3月末現在）

分類	種別	会員数	分類	種別	会員数	
生活保護施設	救護施設	7	障害者福祉施設	就労移行支援	3	
	宿所提供施設	1		就労継続支援	103	
	医療保護施設	1		障害者支援施設	69	
	計	9		共同生活援助	34	
児童福祉施設	児童発達支援事業所	9		計画相談支援	1	
	放課後等デイサービス	16		地域活動支援センター	9	
	保育所	313		福祉ホーム	2	
	へき地保育所	2		身体障害者福祉センター	4	
	小規模保育所	7		障害者就業・生活支援センター	1	
	認定こども園	166		計	226	
	事業所内保育所	1		婦人保護施設	婦人保護施設	1
	乳児院	4			計	1
	母子生活支援施設	3		社会福祉一般施設	無料低額宿泊所	2
	児童養護施設	12	無料低額診療施設		1	
	児童心理治療施設	1	計		3	
	児童自立支援施設	1	社会福祉協議会・団体	市町社会福祉協議会	35	
	福祉型障害児入所支援	10		福祉関係団体等	96	
	医療型障害児入所支援	4		計	131	
福祉型児童発達支援センター	11	介護保険等関係事業所	介護保険・障害福祉サービス	190		
児童相談所	2		計	190		
計	562	老人福祉施設	老健・療養病床	介護老人保健施設	61	
老人デイサービスセンター	212			介護療養型医療施設	12	
小規模多機能型居宅介護事業所	15			介護療養院	3	
複合型サービス事業所	5			病院	1	
特別養護老人ホーム	239			計	77	
養護老人ホーム	24		個人会員	民生委員・児童委員等	6,939	
軽費老人ホーム	38			計	6,939	
有料老人ホーム	35		賛助会員	首長・議長	44	
サービス付き高齢者向け住宅	2			団体	7	
老人福祉センター	15			企業	60	
老人介護支援センター	5	個人		23		
認知症高齢者グループホーム	61	計		134		
地域包括支援センター	9	合計	8,932			
計	660					

令和3年度静岡県社会福祉協議会ふれあい基金

地域福祉・ボランティア活動等推進助成事業

<地域福祉・ボランティア活動等推進助成事業>

(単位：円)

NO.	市町名	グループ名	助成額	事業内容
1	三島市	NPO 法人森のようちえん太陽と緑の風クラブ	200,000	手作りカホン音楽隊！！音楽でみんなを元気にしよう！！
2	富士市	特定非営利活動法人富士明るい社会づくりの会	15,332	傾聴ボランティア養成講座
3	静岡市 葵区	特定非営利活動法人子育てサークルネットしずおか	172,000	オンライン&対面講座のハイブリット式子育て親子交流事業
4	静岡市 清水区	特定非営利活動法人 WAC 清水さわやかサービス	112,000	安心・安全・見守りつき手作りWAC弁当
5	藤枝市	特定非営利活動法人 W.Co まつぼっくり	200,000	天使の贈り物プロジェクト
6	島田市	特定非営利活動法人ららの家	120,000	みんなで作ろう！地元野菜を使ったお弁当♪～食べることの楽しさ・大切さを学ぼう～
7	掛川市	NPO 法人掛川シニア交流研究会	188,000	掛川塾
8	磐田市	特定非営利活動法人キャリア教育研究所ドリームゲート	138,882	夏休みわくわく寺子屋
9	沼津市	拡大図書グループささぶね	87,000	教材制作用 Office ソフトと必要経費
10	富士宮市	富士宮防災ボランティアの会	199,779	防災ボランティアによる安心・安全な社会づくり
11	富士市	富士の麓 de おとなまつり実行委員会	200,000	中高年世代による地域コミュニティ創出事業
12	静岡市 清水区	任意活動団体 YokaYoka	159,310	クロスオーバー講座「学ぶ×働く×遊ぶ（休む）」
13	焼津市	五ヶ堀わかば見守り隊	198,000	五ヶ堀地域通学見守り活動
14	島田市	まいせるふ	200,000	コロナでも負けない「学んで語って、子育てあるあり」-いきいき子育て勉強会-

15	掛川市	よみきかせ会「ひまわり」	200,000	よみきかせ会「ひまわり」
16	静岡市 葵区	特定非営利活動法人静岡市障 害者協会	200,000	生き直す決意をした人への支 援者養成事業
計			2,590,303	

<【先駆的（モデル的）】地域福祉・ボランティア活動等活動推進助成事業>

(単位：円)

NO.	市町名	グループ名	助成額	事業内容
1	長泉町	ながいずみ支えあいの会	259,000	チームつながり
2	富士宮市	富士宮市民楽友会コールエー コン	500,000	お助けマン参上
3	静岡市 駿河区	西豊田学区地域支え合い実行 委員会	496,000	住民参画による福祉と防災の 連携促進活動
計			1,255,000	

<セルフヘルプ活動支援事業>

(単位：円)

NO.	市町名	グループ名	助成額	事業
1	三島市	特定非営利活動法人自立生活 センターアシストミル	200,000	自立生活写真集「できる」の 作成
計			200,000	

<しずおかの居場所助成事業>

(単位：円)

NO.	市町名	グループ名	助成額	事業
1	伊豆の国市	福っこ食堂	150,000	子供・ジージ・バーバ食堂
2	伊東市	Ein こぐま倶楽部	150,000	Ein こぐま倶楽部 こども食堂
3	静岡市駿河区	こども食堂 TESSEN	150,000	こども食堂 TESSEN
4	藤枝市	こどものフリースペースぴよんたろう	148,000	こどものフリースペースぴよんたろう
5	島田市	あい愛サロンの会	150,000	あい愛カフェ
6	島田市	ヒノワ	150,000	コミュニティスペース子ども食堂
7	湖西市	あなたの居場所ルクラ	150,000	学校に行きにくい子の居場所づくり
8	三島市	居場所太陽	150,000	居場所太陽
9	沼津市	東桃郷サロン ももの会	148,652	地域の輪を尾広げ、高齢者のいきいきとした生活につながる居場所づくり事業
10	袋井市	いま行くかい	135,000	いま行くかい
計			1,481,652	

<広域的な防災活動推進助成事業>

(単位：円)

NO.	市町名	グループ名	助成額	事業
1	菊川市	社会福祉法人菊川市社会福祉協議会	200,000	近隣市連携による大規模災害被災時対応訓練と災害ボランティア育成事業
2	藤枝市	社会福祉法人藤枝市社会福祉協議会	130,000	災害時志太榛原地区社協広域連携推進事業(社協間の連携強化)
計			330,000	

<令和3年度ふじのくに「地域共生」大賞 受賞一覧>

(単位：円)

NO	グループ・団体名	活動テーマ	受賞の内容	贈呈額
1	特定非営利活動法人 しずおか共育ネット	定時制・通信制高校生の 生き抜く力を育む事業	最優秀賞	100,000
2	一般社団法人 ママとね	ママ・パパと地域の繋がりを 促進し、地域全体で支える 子育て	最優秀賞	100,000
3	認定非営利活動法人 丸子まちづくり協議会	赤ちゃんからお年寄りまで、 楽しく安全なまちづくりを 実現する	優秀賞	100,000
4	西豊田学区地域支え合い体制 づくり実行委員会	要配慮者の支え合う地域 づくりに向けたインクルーシブ な防災活動	優秀賞	100,000
5	SWOSの会 (静岡県海外研修女性の会)	男女共同参画を劇でわかり やすく伝えます!【びっくり 箱劇団】	委員特別賞	20,000
6	浅羽・笠原まちづくり協議会 生活支援ネットワーク 「支え愛」	『住民主体による、地域を 挙げた、支え愛のあるまち づくり』	委員特別賞	20,000
7	門池コミュニティ推進委員会	平時の防災これからの福祉で 安全安心な明るく住み良い まちづくり	委員特別賞	20,000
8	浜松市 リハビリテーション病院	自らの健康を地域で守る～ 市民いきいきトレーナーの 活躍～	委員特別賞	20,000
9	特定非営利活動法人 泉の会	多様性を認め合い、みんな が自分らしくいられる居 場所	委員特別賞	20,000
10	掛川市大坂地区 子ども食堂	遊んで食べてみんなで団らん 笑顔の花咲くお手伝い	委員特別賞	20,000
11	NPO法人すてっぷあっぷ・ 障害者デイサービスホーム すてっぷあっぷ	自分で・・・みんなですてっ ぷあっぷ・楽しく、愉快地に、 アットホームに、造ろう、 習おう、楽しもう!	神谷基金賞	100,000
計				620,000

令和3年度みんなで支える地域福祉促進事業一覧

事業区分	名称	事業名	決算額	県費補助額
実施事業 県社協	県社協	小地域福祉活動等の担い手養成研修事業	円	円 1,125,000
	小計		0	1,125,000
	三島市	買い物支援モデル事業	1,200,000	600,000
	藤枝市	地域で「誰ひとりも見逃さない」まちづくり事業	1,046,000	300,000
	菊川市	地域の支えあい・つながり結び直しプロジェクト	1,359,114	675,000
	長泉町	地域共生社会をめざした地域資源との繋がり与人づくり	800,000	400,000
	函南町	「地域でつくる」いつでも行ける居場所といつでも来れる足の手段の体制づくり	1,371,469	675,000
	富士宮	「普遍的・相互的福祉観」と「地域福祉」を学ぶ福祉教育推進事業	497,000	235,000
	御殿場	社会福祉法人等との連携によるふれあい配食事業	1,350,000	450,000
	小計		7,623,583	3,335,000
合計			7,623,583	4,460,000

令和3年度運営適正化委員会苦情受付合計、解決結果

(単位:件)

サービス種別	区 分	苦情受付件数	苦 情 解 決 結 果				
			①相談助言	②紹介伝達	③あつせん	④通知	⑤その他
高齢者福祉	①サービス内容(職員の接遇)	1					1
	②サービス内容(サービスの質や量、説明・情報提供)	6	2	3			1
	③利用料						
	④被害・損害、権利侵害	2	1				1
	⑤その他(介護保険料、職員の処遇)	1	1				
	小 計	10	4	3			3
障害者福祉	①サービス内容(職員の接遇)	15	4	4			7
	②サービス内容(サービスの質や量、説明・情報提供)	12	4	6			2
	③利用料	1	1				
	④被害・損害、権利侵害	8	3	2			3
	⑤その他(事業報告の開示)	1	1				
	小 計	37	13	12			12
児童福祉	①サービス内容(職員の接遇)	5	1	4			
	②サービス内容(サービスの質や量、説明・情報提供)	3					3
	③利用料						
	④被害・損害、権利侵害	1	1				
	⑤その他	1		1			
	小 計	10	2	5			3
その他	①サービス内容(職員の接遇)	6	1	3			2
	②サービス内容(サービスの質や量、説明・情報提供)	6	1	4			1
	③利用料						
	④被害・損害、権利侵害	2		1			1
	⑤その他	4	1	2			1
	小 計	18	3	10			5
合 計	①サービス内容(職員の接遇)	27	6	11			10
	②サービス内容(サービスの質や量、説明・情報提供)	27	7	13			7
	③利用料	1	1				
	④被害・損害、権利侵害	13	5	3			5
	⑤その他	7	3	3			1
	合 計	75	22	30			23

令和3年度静岡県民間社会福祉施設運営費助成基金助成事業

区分	助成事業名	概 要		件数	助成額
1	社会福祉事業振興のための助成	(区分1) 第三者評価受審助成事業	福祉サービス第三者評価事業において、良質かつ安心・安全なサービス提供実現のために推進する事業に対して助成する。	15	(千円) 1,960
2		(区分2) 地域との連携協働推進助成事業	子ども食堂、認知症カフェ、居場所、相談窓口の設置、子育て・介護相談の実施などの住民の福祉への理解や施設と地域との連携の推進等を図る取組に対して助成する。	4	573
3		(区分3) 職場内 OJT 助成事業	人材確保、定着のための方針内研修の実施に対して助成する。	16	2,579
4		(区分4) 法人間連携推進事業	複数の事業所が合同で研修等を行い、事業所間連携による住民の福祉の理解に向けた取組や人材の育成を図る事業に対して助成する。	7	1,084
5		(区分5) 法人の経営適正化のための助成事業	外部の専門家（公認会計士・社会保険労務士、社会福祉士等）の指導による法人経営の適正化に向けた取組に対して助成する。	7	1,384
6		(区分6) 防災減災対策・福祉避難所設置助成事業	福祉避難所に指定された事業所において、地域との合同防災訓練や事業所から地域に発信できる防災対策等に関して助成する。	1	300
7		(区分7) 移動支援助成事業	地域の高齢者等を対象とした移動支援に必要な経費、及び移動支援に関する講習会等普及啓発に係る取組に対して助成する。	1	300
特		(特別助成) 先駆的・研究事業に対する助成	地域福祉や職員の資質向上等を目的とした先駆的な取り組みで、実施に2年を要する事業又は2年継続することで効果や成果が発揮される事業に対して助成する。ただし、プレゼンテーションによって、その成果や効果が他の模範となるような事業であると認められるものに限る。	1	630
小 計				52	8,706
経	経営協への助成	各種別協への運営費、研修費助成			2,160
合 計					10,866

令和3年度福祉サービス・社会的養護関係施設第三者評価事業実施一覧

	経営主体	施設名	種別
1	(福) 草笛の会	ふれんずつばさ	放課後等デイサービス
2	(福) 明和会	めいわ可睡保育園	保育所
3	(福) 輝望会	いずみ	生活介護
4	(福) 信愛会	富士わかば保育園	保育所
5	(福) 浜松母子福祉苑	トットジョイ	母子生活支援施設

令和3年度民間社会福祉団体運営費助成事業

(単位:円)

No.	団 体 名	団体決算額	補助決算額	補助事業の内容
		円	円	
1	(福)静岡県社会福祉協議会	1,320,782	810,000	運営に要する経費
2	(福)静岡県身体障害者福祉会	3,840,000	3,735,000	〃
3	静岡県民生委員児童委員協議会	1,518,119	560,000	〃
4	静岡県社会福祉法人経営者協議会	4,199,045	3,160,000	〃
5	静岡県保育連合会	1,843,872	610,000	〃
6	静岡県里親連合会	2,084,670	2,070,000	〃
7	静岡県知的障害者福祉協会	439,786	410,000	〃
8	静岡県保育士会	1,014,169	290,000	〃
9	静岡県肢体不自由児協会	252,000	130,000	〃
10	(一社)静岡県肢体不自由児者父母の会連合会	2,530,290	500,000	〃
11	(公社)静岡県母子寡婦福祉連合会	4,286,249	390,000	〃
12	静岡県筋ジストロフィー協会	450,015	360,000	〃
13	静岡県手をつなぐ育成会	10,503,564	7,400,000	〃
14	静岡県自閉症協会	316,297	250,000	〃
15	(一社)静岡県子ども会連合会	5,470,831	3,340,000	〃
16	静岡県聴覚障害者親の会	149,830	110,000	〃
17	(一財)静岡県老人クラブ連合会	10,213,108	4,380,000	〃
18	静岡県ホームヘルパー連絡協議会	976,780	540,000	〃
19	(N)静岡県作業所連合会・わ	685,241	410,000	〃
	計	52,094,648	29,455,000	

令和3年度民間社会福祉活動促進事業費助成事業(民間団体育成強化事業)

(単位:円)

団体名	NO	期間	事業名	実績報告	補助額(円)
社会福祉法人 静岡県社会福祉協議会	1	継	広報事業	6,870,178	847,000
	2	継	市町社会福祉協議会職員研修事業	881,220	428,000
	計			7,751,398	1,275,000
社会福祉法人 静岡県身体障害者 福祉会	1	継	身体障害者福祉事業推進費	1,600,000	1,600,000
	2	継	身体障害者相談活動事業費	700,000	560,000
	3	継	身体障害者機能回復促進事業	2,450,000	1,960,000
	4	継	身体障害者文化作品展開催事業	360,000	288,000
	5	継	身体障害者自動車安全教室開催事業	281,000	224,000
	6	継	心臓障害者相談指導事業	180,000	144,000
	7	継	静岡県身体障害者福祉大会開催事業	450,000	270,000
	8	単	秋季日本身体障害者団体連合会関東甲信越静岡ブロック協議会代表者会議開催事業	300,000	300,000
計			6,321,000	5,346,000	
(静岡県視覚障害者協会)	1	継	町づくり情報提供事業	620,000	620,000
	2	継	視覚障害者社会参加促進事業	1,080,000	1,080,000
	3	継	視覚障害者リーダー養成事業	250,000	150,000
	計			1,950,000	1,850,000
(静岡県聴覚障害者協会)	1	継	聴覚障害者研修事業	400,000	228,000
	2	継	聴覚障害者スポーツ大会開催事業	1,053,000	828,000
	3	継	聴覚障害者健康増進事業	580,000	400,000
	4	継	聴力・言語障害者生活相談事業	400,000	320,000
	計			2,433,000	1,776,000
(3団体合計)	総合計			10,704,000	8,972,000
静岡県民生委員児童委員協議会	1	継	主任児童委員研修事業	500,000	400,000
	2	継	相談技法に関する研修事業	625,000	500,000
	計			1,125,000	900,000
静岡県経営者協議会	2	継	施設利用者作品奨励事業	310,000	150,000
	計			310,000	150,000
静岡県保育連合会	2	継	静岡県保育研究大会	2,894,810	900,000
	3	継	新規採用予定職員研修会	1,958,666	675,000
	計			4,853,476	1,575,000

団体名	NO	期間	事業名	実績報告	補助額 (円)
静岡県里親連 合会	1	継	里親促進事業	575,595	460,000
	2	継	里親月間事業	527,965	500,000
	3	継	里親賠償責任保険事業	548,340	540,000
	4	継	里親研修事業	206,808	165,000
	計			1,858,708	1,665,000
静岡県知的障 害者福祉協会	1	継	職員研究集会開催事業	701,767	350,000
	2	継	職員研修所開設事業	900,012	450,000
	3	継	口腔衛生指導等委託事業	375,000	300,000
	計			1,976,779	1,100,000
静岡県保育士 会	1	継	保育実務研修事業	585,693	300,000
	2	継	委託研究事業	1,942,680	355,000
	3	継	実践研修事業	806,170	300,000
	4	継	地域保育啓発事業	535,000	180,000
	計			3,869,543	1,135,000
静岡県肢体不 自由児協会	1	継	療育図書等刊行事業	550,380	260,000
	2	継	肢体不自由児社会参加理解啓発事業	355,534	280,000
	計			905,914	540,000
社団法人静岡 県母子寡婦福 祉連合会	1	継	若年母子家庭研修会	134,190	80,514
	2	継	母子家庭支援研修会	470,268	376,214
	3	継	家庭生活支援員講習会	162,834	130,267
	4	継	母子父子家庭啓発事業	235,141	100,000
	計			1,002,433	686,995
静岡県筋ジス トロフィー協 会	1	継	療育図書等刊行事業	404,661	320,000
			肢体不自由児社会参加理解啓発事業		
	計			404,661	320,000
静岡県手をつ なぐ育成会	1	継	知的障害者相談員等研修会事業	1,250,047	1,000,000
	2	継	心身障害児者地域活動促進事業	800,000	480,000
	3	継	重症心身障害児者事業	200,000	160,000
	4	単	第53回手をつなぐ育成会静岡大会	1,012,039	300,000
	計			3,262,086	1,940,000
静岡県自閉症 協会	1	継	保護者・指導者研修会	141,264	103,250
	2	継	自閉症児者療育訓練	497,612	398,000

	計			638,876	501,250
静岡県子ども 会連合会	1	継	育成研修事業	967,717	480,000
	2	継	モデル子ども会開催事業	110,030	55,000
	3	継	子ども会活動作文募集及び表彰事業	682,194	682,000
	4	継	児童館構成員研修事業	290,208	145,000
	計			2,050,149	1,362,000
団体名	NO	期間	事業名	実績報告	補助額 (円)
静岡県聴覚障 害者親の会	1	継	生活相談事業	193,158	154,000
	2	継	役員研修事業	199,326	159,000
	3	継	聴覚障害理解啓発事業	361,281	288,000
	4	継	盲ろう者社会参加理解啓発事業	400,000	320,000
	計			1,153,765	921,000
財団法人静岡 県老人クラブ 連合会	1	継	地域福祉人材養成事業	1,824,000	1,094,400
	2	継	活動推進相談員育成指導事業	1,790,782	1,071,000
	3	継	地域クラブ活性化推進事業	3,798,756	2,156,600
	計			7,413,538	4,322,000
静岡県ホーム ヘルパー連絡 協議会	1	継	ホームヘルパー研修事業	1,107,708	885,000
	2	継	サービス提供責任者研修事業	1,063,610	850,000
	計			2,171,318	1,735,000
特定非営利活 動法人 静岡県作業所 連合会・わ	1	継	事業所職員研修事業	895,250	716,000
	計			895,250	716,000
総合計				52,964,411	30,313,045

令和3年度民間社会福祉活動促進事業費助成事業(地域福祉促進事業)

(単位:円)

団体名	NO	期間	事業名	実績報告	補助額(円)
社会福祉法人 静岡県社会福祉協議会	1	継	市町社協地域福祉等支援事業	2,305,249	1,745,000
	2	継	地域包括ケア推進に関わる啓発事業	782,000	545,000
	計			3,087,249	2,290,000
社会福祉法人静岡県身体障害者福祉会	1	継	身体障害者スポーツ活動等健康増進事業	2,250,000	1,800,000
	2	継	身体障害者地域ふれあい奉仕活動事業	550,000	440,000
	3	継	身体障害者地域防災対策連携強化事業	1,125,000	900,000
	4	継	障害者福祉啓発事業	410,000	410,000
	計			4,335,000	3,550,000
(静岡県視覚障害者協会)	1	継	視覚障害者地域ふれあい促進事業	1,000,000	800,000
	計			1,000,000	800,000
(静岡県聴覚障害者協会)	1	継	みみの日大会開催事業	1,100,000	600,000
	2	継	手話活動研究事業	840,000	640,000
	3	継	手話通訳者健康障害予防事業	1,450,000	1,450,000
	計			3,390,000	2,690,000
(3団体合計)	総合計			8,725,000	7,040,000
静岡県里親連合会	1	継	里親専用サポート事業	844,000	675,000
	2	継	里親地区研修事業	525,085	420,000
	計			1,369,085	1,095,000
静岡県知的障害者福祉協会	1	継	障害者体力増進事業	1,000,017	800,000
	2	継	障害者創作作品展示事業	1,768,000	1,060,000
	計			2,768,017	1,860,000
一般社団法人静岡県肢体不自由児者父母の会連合会	1	継	肢体不自由児者ふれあい体験研修事業	1,535,054	1,200,000
	計			1,535,054	1,200,000

団体名	NO	期間	事業名	実績報告	補助額(円)
社団法人 静岡県母子寡婦福祉連合会	1	継	親と子の心身健全育成推進事業	1,254,653	1,254,653
	2	継	地域ふれあい事業	1,000,000	800,000
	計			2,254,653	2,054,653
静岡県筋ジストロフィー協会	1	継	筋ジストロフィー介護者研修事業	1,401,871	1,120,000
	2	継	筋ジストロフィー相談窓口事業	1,000,124	800,000
	計			2,401,995	1,920,000
静岡県手をつなぐ育成会	1	継	知的障害者職業自立啓発セミナー	2,552,400	2,040,000
	2	継	地域交流・自立促進事業	720,619	560,000
	計			3,273,019	2,600,000
静岡県自閉症協会	1	継	自閉症児者野外ワークショップ	158,373	126,200
	2	継	支援者育成事業	1,074,770	856,000
	計			1,233,143	982,200
静岡県子ども会連合会	1	継	チャレンジ冒険遊び事業	2,915,144	2,332,000
	計			2,915,144	2,332,000
財団法人 静岡県老人クラブ連合会	1	継	シニアスポーツ普及推進事業	1,319,373	1,050,000
	2	継	クラブ解散・休会等再興支援事業	1,331,880	1,050,000
	計			2,651,253	2,100,000
特定非営利活動法人 静岡県作業所連合会・わ	1	継	地域交流ふれあいスポーツ・レクリエーション	1,255,810	1,004,000
	2	継	障害者福祉普及強化事業	2,034,023	1,620,000
	計			3,289,833	2,624,000
総合計				35,503,445	28,097,853

令和3年度研修評価表

分野	番号	研修名	定員 申込-受講	実施日	日数	会場	内容
組織力を高める	1	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 初任者コース（中部1）	35 45-41	7/26 12/23,24	3	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス提供者、チームの一員としての基本の習得 ・初任者が自らのキャリアデザインを描く
		”（賀茂）	新型コロナウイルス感染対策により中止	中止	3		
		”（東部）	35 26-23	12/20 1/13,14	3	三島商工会議所	
		”（西部）	35 15-15	10/28 11/16,17	3	浜松市勤労者会館Uホール	
	2	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 中堅職員コース(中部1)	35 22-22	4/27 5/20,21	3	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)	<ul style="list-style-type: none"> ・中堅職員としての役割を遂行するための基本の習得 ・中堅職員が自らのキャリアデザインを描く
		”（中部2）	新型コロナウイルス感染対策により中止	中止	3	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)	
		”（東部）	35 19-19	6/17 7/8,9	3	三島商工会議所	
		”（西部）	新型コロナウイルス感染対策により中止	中止	3	アクトシティ浜松	
	3	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 チームリーダーコース（中部1）	35 22-19	4/21 5/12,13	3	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)	<ul style="list-style-type: none"> ・チームリーダーの役割を遂行するための基本の習得 ・チームリーダーが自らのキャリアデザインを描く
		”（中部2）	新型コロナウイルス感染対策により中止	中止	3	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)	
		”（東部）	新型コロナウイルス感染対策により中止	中止	3	三島商工会議所	
		”（西部）	35 32-30	7/16 12/6,7	3	アクトシティ浜松	
	4	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 管理職員コース	35 27-22	1/11,12	2	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)	<ul style="list-style-type: none"> ・管理職としての役割を遂行するための基本の習得 ・管理者等が自らのキャリアデザインを描く
	5	人手不足を正しく分析しよう ～何人雇っても足りない理由～	90 48-47	6/2	1	オンライン	人材が定着するための環境とチーム作りの方法を学ぶ
	6	新人育成 ～やめない・育つ・元気に笑う プリセプターシップ～	90 64-61	2/9	1	オンライン	人を育てる仕組みと環境づくりについて学ぶ
7	相談員のための支援力アップ講座	60 91-87	8/20	1	オンライン	生活相談員の役割と業務について正しい理解と更なる支援力アップのための知識、技術の習得	
122	相談員のための支援力アップ講座(実践編)	90 73-73	1/28	1	オンライン	利用者・家族との連携におけるトラブル解決力アップのポイントを学ぶ	
8	セルフリーダーシップノススメ	90 88-85	8/13	1	オンライン	利用者本位サービスを担う実践リーダー像について学ぶ	
9	人が育つ組織づくり講座	90 94-90	11/1	1	オンライン	人が育つ組織づくりについて学ぶ	
10	研修活用入門講座	90 52-48	6/8	1	オンライン	研修を活用した人材育成手法を学ぶ	
11	業務の定着化を図る教え方講座	60 63-61	11/5	1	オンライン	理解しやすい業務マニュアル・業務手順書の作り方、教え方を学ぶ	

講師	対象	受講料 (会員)	満足度(上段:件数(人)、下段:率(%))					担当 課
			満足	やや満足	やや不満	不満	未回答	
(福)牧之原やまばと学園 障害者支援施設 垂穂奈 施設長 大畑 彰弘氏 (福)天竜厚生会 総務課 森川 正志 氏 (福)三愛会 特別養護老人ホーム愛華の郷 介護長 中邑 愛 氏	初任者(概ね入職後 1~2年程度の職員)	テキスト 代等	31 83.8%	5 13.5%	0 0.0%	0 0.0%	1	研 修 課
開催中止			-	-	-	-	-	
(福)十字の園 伊豆高原十字の園 施設長 宮島 克利 氏 (福)誠信会 障害者支援施設富士本学園 課長 小林 拓 氏 放課後等デイサービスという 施設長 栗原 寛美 氏			20 87.0%	2 8.7%	0 0.0%	1 4.3%	0	
(福)桂 カリタス21 管理者・主任介護支援専門員 飯塚 哲男 氏 (福)天竜厚生会 総務課 森川 正志 氏 放課後等デイサービスという 施設長 栗原 寛美 氏	13 86.7%	2 13.3%	0 0.0%	0 0.0%	0			
(福)天竜厚生会 総務課 森川 正志 氏 (福)牧之原やまばと学園 障害者支援施設 垂穂奈 施設長 大畑 彰弘氏 (福)炉暖会 特別養護老人ホーム炉暖の郷 相談員兼介護支援員 土屋 博昭 氏	中堅職員(入職後概ね 3~5年程度の職員)	テキスト 代等	16 88.9%	2 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	0	
開催中止			-	-	-	-	-	
(福)炉暖会 特別養護老人ホーム炉暖の郷 相談員兼介護支援員 土屋 博昭 氏 (福)富士宮市社会福祉協議会 主幹兼相談支援係長 遠藤 久仁子 氏 (福)あしたか太陽の丘 静岡県立富士見学園 鶴田 安弘 氏			17 89.5%	2 10.5%	0 0.0%	0 0.0%	0	
開催中止	-	-	-	-	-	-		
ふるい後見事務所 認定社会福祉士 古井 慶治 氏 (福)三愛会 特別養護老人ホーム愛華の郷 介護長 中邑 愛 氏 放課後等デイサービスという 施設長 栗原 寛美 氏	チームリーダー(主任、係長等)	テキスト 代等	15 83.3%	2 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	1	
開催中止			-	-	-	-	-	
開催中止			-	-	-	-	-	
ふるい後見事務所 認定社会福祉士 古井 慶治 氏 (福)三愛会 特別養護老人ホーム愛華の郷 介護長 中邑 愛 氏 放課後等デイサービスという 施設長 栗原 寛美 氏			25 86.2%	3 10.3%	0 0.0%	0 0.0%	1	
(福)和松会 理事・相談役 板倉 幸夫 氏 (福)桂 居宅介護支援事業所カリタス 管理者・主任介護支援専門員 飯塚 哲男 氏	管理者、施設長等	テキスト 代等	18 81.8%	4 18.2%	0 0.0%	0 0.0%	0	
医療法人財団 百葉の会 人材開発室部長 高口 光子 氏	介護保険施設・事業所に勤務する 主に中堅クラス以上の方	5,000 (3,000)	18 69.2%	8 30.8%	0 0.0%	0 0.0%	0	
医療法人財団 百葉の会 人材開発室部長 高口 光子 氏	介護保険施設・事業所に勤務する 主に中堅クラス以上の方	5,000 (3,000)	35 87.5%	5 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	0	
健康科学大学 健康科学部 准教授 梅沢 佳裕 氏	社会福祉施設・介護保険事業所に 勤務する方(相談員)	5,000 (3,000)	29 49.2%	27 45.8%	3 5.1%	0 0.0%	0	
健康科学大学 健康科学部 准教授 梅沢 佳裕 氏	社会福祉施設・介護保険事業所に 勤務する方(相談員)	5,000 (3,000)	28 63.9%	16 36.4%	0 0.0%	0 0.0%	0	
日本女子大学 人間社会学部 教授 久田 則夫 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等 に勤務する方	5,000 (3,000)	52 86.7%	8 13.3%	0 0.0%	0 0.0%	0	
日本女子大学 人間社会学部 教授 久田 則夫 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等 に勤務する方	5,000 (3,000)	52 85.2%	8 13.1%	0 0.0%	0 0.0%	1	
静岡県社会福祉協議会 曽根 允 他 実践報告者	社会福祉施設・介護保険事業所等 に勤務する方	2,000 (無料)	14 73.7%	5 26.3%	0 0.0%	0 0.0%	0	
(株)はあもにい 代表取締役 大野 晴己 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等 に勤務する方	5,000 (3,000)	22 53.7%	16 39.0%	1 2.4%	0 0.0%	2	

分野	番号	研修名	定員 申込-受講	実施日	日 数	会場	内容	
組織力強化	12	コーチング研修	60 60-59	6/11	1	オンライン	コーチングに対する意識を深め、部下の自発的意欲を引き出すための指導法を習得する	
	13	ファシリテーション講座	60 90-86	7/12	1	オンライン	会議でチームが本来持っている力を引き出し、大きく育てる「ファシリテーション」を学ぶ	
	14	意思決定支援セミナー	60 63-63	12/22	1	オンライン	意思決定支援に関する各種ガイドラインをもとに、意思決定における権利擁護を学ぶ	
	15	市町社協 新任職員研修	50 76-76	5/20,21	2	WEB開催	社協職員としての心構え、福祉サービスの実践、組織活動に必要な知識等	
	16	市町社協 会長会議	80 59-59	3/1	1	ハイブリッド 会場 + Zoom	環境変化下の社協経営と管理者の役割 災害対応BCPの作成に向けて社協が備えるべき視点	
	17	社会福祉法人 経営セミナー [前期] (県社会福祉法人経営者協議会)	新型コロナウイルス 感染対策により中止	中止				
	18	社会福祉法人 経営セミナー [後期] (県社会福祉法人経営者協議会)	150 123-123	2/1	1	Web配信	社会福祉法人の健全な経営や施設経営の基盤強化を図る	
	19	社会福祉法人 監事監査研修会	264-264	4/21~ 5/9		Web配信	監事の役割や業務、会計監査のポイントを学ぶ 講師:公認会計士 杉山 明善雄 氏	
	20	社会福祉法人・福祉施設運営管理研修会	115 - 115	1/12	1	オンライン	福祉施設の職員が危機対応を学び、緊急事態が発生した際に組織として迅速な対応と速やかな復旧、事業継続が出来るようBCP(事業継続計画)について学ぶ。	
	21	新設社会福祉法人 運営管理説明会	中止	中止			社会福祉法人の会計処理及び指導監査、各種運営支援制度、福利厚生等について情報提供する	
	22	社会福祉施設 人事・労務管理研修会	64 - 64	9/21~ 10/12	1	Web配信	社会福祉法人が労働関連法令を遵守するための基本的理解及び福祉業界での体制整備についての考え方を学ぶ。	
	23	福祉・介護人材確保実践セミナー① (特定)処遇改善加算入門WEBセミナー	490 199-159	11/19	1	Zoom	処遇改善加算の基礎知識 処遇改善加算取得の実際	
		福祉・介護人材確保実践セミナー② 外国人介護人材雇用に係る法務WEBセミナー	90 66-45	12/15	1	Zoom	「介護」分野で外国人を雇用するための制度の概要や動向。 特に技能実習2号から他の在留資格への切替、特定技能での雇用手続きなど。	
	財務・経理	24	社会福祉法人 簿記入門講座	68-68	6/21~ 7/8		Web配信	複式簿記の基本的仕組みや初歩的な仕分けの理解
		25	社会福祉法人・施設事務職員 経理基礎講座	82-82	7/14~ 8/1		Web配信	帳簿組織と財務諸表、仕分の考え方、勘定科目、伝票起票に関する基本的知識を学ぶ
		26	社会福祉法人・施設事務職員 経理応用講座	122-122	8/23~ 9/13		Web配信	社会福祉法人の会計制度や施設・事業種別に即した、日々の応用的な会計処理を、実践的事例を通じ、個別具体的に学ぶ 講師:公認会計士 杉山 明善雄 氏
27		社会福祉法人 予算管理基礎講座	130-130	9/16~ 9/29		Web配信	社会福祉法人の制度上の予算や予算管理に関する基礎知識、予算積算方法等について学ぶ。	
28		社会福祉法人・施設事務職員 会計実務専門講座	92-92	10/15~ 10/26		Web配信	会計実務に関する特定テーマを必要に応じてとりあげ、会計実務に必要な専門的知識を深める	
29		社会福祉法人・施設事務職員 税務実務講座(所得税)	77-77	11/17~ 11/30		Web配信	社会福祉法人の特性に応じた税務に必要な、実務的な税務知識を学ぶ ※消費税と所得税等を隔年で実施	
30		社会福祉法人 財務管理講座	99-99	12/15~ 12/26		Web配信	経営状況を把握するための手法等、財務管理の基礎的知識を学ぶ	
31		社会福祉法人 決算実務講座	156-156	2/7~ 2/24		Web配信	各種決算整理事項や財務諸表の作成等に必要な知識を学ぶ	

講師	対象	受講料 (会員)	満足度(上段:件数(人)、下段:率(%))					担当課
			満足	やや満足	やや不満	不満	未回答	
コーティングアカデミー静岡校 校長 酒井 美保 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	5,000 (3,000)	40 78.4%	8 15.7%	0 0.0%	0 0.0%	3	研修課
(特非)日本ファシリテーション協会 フェロー 鈴木 まり子 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	5,000 (3,000)	52 96.3%	2 3.7%	0 0.0%	0 0.0%	0	
ふるい後見事務所 認定社会福祉士 古井 慶治 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	5,000 (3,000)	27 69.2%	12 30.8%	0 0.0%	0 0.0%	0	
愛知東邦大学人間健康学部 人間健康学科 教授 西尾 敦史 氏 コーティングアカデミー静岡校 校長 酒井 美保 氏 日本ファシリテーション協会 フェロー 鈴木 まり子 氏	(市町社協) 当該年度採用職員及び未受講の方	無料	62 81.5%	11 14.5%	0 0.0%	0 0.0%	3	地域福祉課
厚生労働省 地域福祉専門官 玉置 隼人 氏 オフィス園崎 代表 園崎 秀治 氏	(市町社協) 会長・役員・事務局長等	無料	-	-	-	-	-	経営支援課
	社会福祉法人の役員等	5,000 (無料)	-	-	-	-	-	
全国社会福祉法人経営者協議会 制度制作委員会 委員長 宮田 裕司 氏	社会福祉法人の役員等	5,000 (無料)	2 6.7%	26 86.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	経営支援課
静岡県福祉指導課職員 公認会計士 杉山 明喜雄 氏	社会福祉法人の監事、役員等	10,000 (5,000)	56 68.3%	26 31.7%	-	-	-	
・(福)群馬県社会福祉協議会 施設福祉課災害福祉支援専門幹 鈴木 伸明 氏 ・(福)さかい福祉会 特別養護老人ホームいこいの里 管理者・生活相談員 大久保 亮 氏 ・(福)誠光会 障害者支援施設 誠光荘 施設支援課長 藤井 友和 氏	社会福祉法人の役員	5,000 (3,000)	43 36.4%	36 30.5%	3 2.5%	0 0.0%	36	
	新設社会福祉法人関係者等	テキスト代等	-	-	-	-	-	
㈱川原経営総合センター人事コンサルティング部 社会保険労務士 薄井 和人 氏	社会福祉施設の役員	5,000 (3,000)	7 10.9%	7 10.9%	0 0.0%	0 0.0%	50	人材課
ふくしえん社労士事務所 後藤功太氏(社会保険労務士) (福)白寿会 特別養護老人ホーム第二白寿園 施設長 伊藤茂記氏	福祉・介護事業所経営者・管理者・採用担当者等	無料	36 16.9%	25 11.7%	4 1.9%	2 0.9%	146	
弁護士 杉田 昌平 氏 (弁護士法人Global HR Strategy)	福祉・介護事業所経営者・管理者・採用担当者等	無料	18 40.0%	16 35.6%	0 0.0%	0 0.0%	11	
公認会計士 杉山 明喜雄 氏	新任会計実務担当者等	10,000 (5,000)	40 80%	10 20%	0 0.0%	0 0.0%	0 0%	経営支援課
公認会計士 杉山 明喜雄 氏	会計実務担当者等 (簿記入門修了程度)	15,000 (10,000)	33 53.3%	29 46.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0%	
公認会計士 杉山 明喜雄 氏	会計実務担当者等 (経理基礎修了程度)	15,000 (10,000)	58 72%	22 28%	0 0.0%	0 0.0%	0 0%	
公認会計士 杉山 明喜雄 氏	新任予算管理担当者等	10,000 (5,000)	64 71.8%	21 23.1%	5 5.1%	0 0.0%	0 0%	
公認会計士 杉山 明喜雄 氏	会計実務担当者等	10,000 (5,000)	49 62.5%	24 31.3%	7 6.2%	0 0.0%	0 0%	
公認会計士 杉山 明喜雄 氏	税務実務担当者等	10,000 (5,000)	30 50%	30 50%	0 0.0%	0 0.0%	0 0%	
公認会計士 杉山 明喜雄 氏	社会福祉法人の役員等	10,000 (5,000)	51 63.3%	26 33.3%	2 3.4%	0 0.0%	0 0%	
公認会計士 杉山 明喜雄 氏	会計実務担当者等	15,000 (10,000)	64 59.3%	46 40.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0%	

分野	番号	研修名	定員 申込-受講	実施日	日 数	会場	内容
組織力を高める	32	市町社協 会計実務研修会	- 129 - 129	10/15~ 12/31		Web配信(限定公開)	社協における会計実務処理等
	33	市町社協 決算実務研修会	- 100 - 100	3/1~ 4/30		Web配信(限定公開)	社協における決算実務処理等
組織力を高める			2,050 3,015 - 2,911				
専門技術力を身につける 利用者の日常生活	34	動き出しは本人からの介護実践	90 74-74	9/28	1	オンライン	利用者主体の関りとは何かに係る介護技術の習得
	35	動き出しは本人からの介護実践(実践編)	60 39-38	1/25	1	オンライン	生活場面に即した実践的介護技術の習得
	36	口腔のケア講座	110 45-38	3/16	1	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)オンライン併 用	高齢者や障害のある方への口腔のケアに必要な知識・技術の習得
	37	ポジショニング研修	90 95-88	7/6	1	オンライン	介護職が実践に活かせるベッド上、坐位でのポジショニング、適切な除圧方法等を学ぶ
	38	排泄ケアWebセミナー	90 62-59	7/9	1	オンライン	介護職に必要な排泄ケアの基礎的知識の習得
	39	快適なおむつの使い方講座	新型コロナウイルス 感染対策により中止	中止	1		介護現場における紙おむつ装着に関する知識や技術の習得
	40	車いすメンテナンスセミナー	60 42-40	12/3	1	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)	車いすを利用する方が快適に過ごせるよう、車いすの調整とメンテナンスを学ぶ
	41	フットケア講座	90 46-43	11/10	1	オンライン	高齢者への支援方法としてフットケアの知識・技術の習得
	42	感染症講座(初級編)	90 63-61	5/26	1	オンライン	感染症の基礎的知識と標準予防策、発生時の対応の仕方を学ぶ
	43	感染症講座(中級編)	90 98-95	11/9	1	オンライン	感染症の実践的知識と予防方法の習得、発生時の対応の仕方を学ぶ
	44	感染症講座(児童編)	90 77-74	7/14	1	オンライン	児童によく見られる感染症の知識と予防方法、家庭や医療機関との連携等について学ぶ
	45	介護職のための薬の基礎知識	90 69-68	10/21	1	オンライン	介護職に必要な薬の基礎的知識の習得
	46	急変を見逃さないための救急講座	90 82-78	11/2	1	オンライン	利用者の容体の変化を見逃さずに対応するために必要な知識の習得
	47	ターミナルケア ～生き抜く人を見届ける～	90 70-67	10/5	1	オンライン	ターミナルケアの実際を理解し、終末期の対応や、家族へのケア方法を学ぶ
	48	居宅における看取りの実践	90 26-25	2/2	1	オンライン	ついのすみかを決めた暮らしの場での看取りをどう支えるか、福祉・介護の役割と技術を学ぶ
	49	精神疾患の理解	90 68-65	1/21	1	オンライン	精神疾患、うつ、統合失調症などの知識を習得するとともに、症状に応じた支援方法の基礎を学ぶ
	50	楽しく笑顔になれるレクリエーション	新型コロナウイルス 感染対策により中止	中止	1	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)	高齢者のためのレクリエーションの知識と技術の習得
51	心と体を癒すタッチケア	90 52-52	9/27	1	オンライン	「触れること」の効果を再確認し、介護等における活用方法を学ぶ	

講 師	対 象	受講料 (会員)	満足度(上段:件数(人)、下段:率(%))					担当 課
			満足	やや満足	やや不満	不満	未回答	
公認会計士 杉山 明喜雄 氏	総務・会計担当者	無料	-	-	-	-	-	経営 支援 課
公認会計士 杉山 明喜雄 氏	総務・会計責任者	無料	-	-	-	-	-	
			1,137 59.5%	492 25.7%	25 1.3%	3 0.2%	255	
日本医療大学保健医療学部 リハビリテーション学科 教授 大堀 具視 氏	高齢者福祉施設・介護保険事業所等に勤務する介護職等	5,000 (3,000)	44 91.7%	4 8.3%	0 0.0%	0 0.0%	0	研 修 課
日本医療大学保健医療学部 リハビリテーション学科 教授 大堀 具視 氏	高齢者福祉施設・介護保険事業所等に勤務する介護職等で介護技術の基礎的知識がある方	6,000 (4,000)	34 85.0%	6 15.0%	0 0.0%	0 0.0%	0	
デンタルサポート監 代表 認定歯科衛生士(老年) 小宮山 ひろみ 氏 さくらばし歯科医院 認定歯科衛生士 佐藤 美紀 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	5,000 (3,000)	16 66.7%	8 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0	
市立島田市民病院 看護部 看護師長 皮膚排泄ケア認定看護師 奈木 志津子 氏	高齢者福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	5,000 (3,000)	55 88.7%	7 11.3%	0 0.0%	0 0.0%	0	
順天堂大学 保健看護学部 准教授 藤尾 祐子 氏	高齢者福祉施設・介護保険事業所等に勤務する介護職等	6,000 (4,000)	41 87.2%	6 12.8%	0 0.0%	0 0.0%	0	
	高齢者福祉施設・介護保険事業所等に勤務する介護職等	5,000 (3,000)	-	-	-	-	-	
井出商会 代表 井出 容敬 氏	高齢者福祉施設・介護保険事業所等に勤務する介護職等	5,000 (3,000)	27 67.5%	11 27.5%	1 2.5%	0 0.0%	1	
(合)SANUA 湯河原接骨院グループ 代表 青柳 博 氏	高齢者福祉施設・介護保険事業所等に勤務する介護職等	5,000 (3,000)	31 93.9%	2 6.1%	0 0.0%	0 0.0%	0	
静岡済生会総合病院 TQRMセンター 感染対策室 主任 感染管理認定看護師 鈴木 のぞみ 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	5,000 (3,000)	45 83.3%	7 13.0%	0 0.0%	0 0.0%	2	
静岡済生会総合病院 TQRMセンター 感染対策室 主任 感染管理認定看護師 鈴木 のぞみ 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	5,000 (3,000)	59 81.9%	13 18.1%	0 0.0%	0 0.0%	0	
静岡済生会総合病院 TQRMセンター 感染対策室 主任 感染管理認定看護師 鈴木 のぞみ 氏	保育所等、児童福祉施設に勤務する方	5,000 (3,000)	52 74.3%	17 24.3%	1 1.4%	0 0.0%	0	
ドレッドノート(株) 薬剤師・元主任介護支援専門員 藤澤 節子 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	5,000 (3,000)	27 50.0%	22 40.7%	5 9.3%	0 0.0%	0	
日本赤十字社 静岡赤十字病院 クリティカルケア特定認定看護師 池田 朋美 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	6,000 (4,000)	40 71.4%	16 28.6%	0 0.0%	0 0.0%	0	
医療法人財団 百葉の会 人材開発室部長 高口 光子 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	5,000 (3,000)	30 78.9%	8 21.1%	0 0.0%	0 0.0%	0	
認定 NPO 法人 マギーズ東京 共同代表理事 訪問看護師 秋山 正子 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	5,000 (3,000)	15 88.2%	2 11.8%	0 0.0%	0 0.0%	0	
公益財団法人 復康会 沼津中央病院 社会復帰部長補佐 澤野 文彦 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	6,000 (4,000)	45 81.8%	10 18.2%	0 0.0%	0 0.0%	0	
	高齢者福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	6,000 (4,000)	-	-	-	-	-	
桜美林大学 リベラルアーツ学群 教授 山口 創 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	5,000 (3,000)	36 76.6%	11 23.4%	0 0.0%	0 0.0%	0	

分野	番号	研修名	定員 申込-受講	実施日	日数	会場	内容
利用者の日常生活支援	52	介護職員が知っておきたい 利用者の身体観察のポイント講座	90 65-62	2/24	1	オンライン	高齢者の食事、排泄、入浴などそれぞれの生活場面に応じた観察ポイントを学ぶ
	53	介護職が知っておきたい皮膚・褥瘡ケア	60 63-61	12/10	1	オンライン	高齢者の皮膚障害の早期発見と褥瘡予防のために、皮膚観察やケアについて知識と技術を学ぶ
	121	高血圧と心不全	90 38-37	11/26	1	オンライン	心疾患を持つ方に現れやすい症状とその対応などを学ぶ
	54	成年後見制度 市町長申立研修	500 363-246	6月	2	Web配信+動画配信(2週間)	成年後見制度 市町長申立に係る実務を学ぶ
	55	福祉職員のための 成年後見制度理解促進研修会(基礎編・応用編)	300 482-184	基礎編 12/10 応用編 12/17	2	Web配信+動画配信(2週間)	・成年後見制度の基礎知識を学ぶ ・成年後見制度の具体例等を学ぶ
	56	認知症の人に寄り添うプロの介護セミナー	90 98-97	12/16	1	オンライン	・認知症高齢者に対する介護の見方、考え方、認知症高齢者への対応
	57	認知症の人のためのレクリエーション	90 48-44	3/9	1	オンライン	認知症の方のためのレクリエーション手法について学ぶ
	58	三好春樹の人間学に基づく認知症介護	120 40-24	3/2	1	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)	認知症の方の行動や心理症状を理解し、利用者へのより良い関わり方について考える
	59	直伝！現役OT安藤祐介の 利用者に心地よく介護者に優しい介護技術	90 63-61	10/29	1	オンライン	お金や時間や人手をかせずに、現場ですぐに取り組める利用者への心地よい「関わり方」「動きの手伝い方」の工夫を学ぶ
	認知症ケア	60	認知症介護基礎研修(東部)	80 228-80	10/20	1	オンライン
60		認知症介護基礎研修(西部)	80 406-78	10/12	1	オンライン	
60		認知症介護基礎研修(中部)	80 388-80	10/18	1	オンライン	
61		認知症介護実践者研修(浜松)	60 96-60	6/2,14,26 7/5,17 11/12	6	(福)天竜厚生会 研修センター	認知症の原因疾患や容態に応じ、本人やその家族のQOL向上を図る対応や技術を修得(全6日+実習)
		認知症介護実践者研修(掛川)	60 61-59	7/30 10/2,9,24 11/6 12/22	6	掛川市生涯学習センター 県総合教育センターあすなろ	
		認知症介護実践者研修(静岡)	60 132-59	7/7,21,27 8/4 10/8 11/24	6	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)	
		認知症介護実践者研修(富士)	60 59-56	7/29 10/17 10/26 11/1 11/17,12/23	6	ふじさんめっせ	
		認知症介護実践者研修(三島)	60 68-59	6/1,16,22 7/1,13 11/23	6	三島商工会議所	
62		認知症介護実践リーダー研修	新型コロナウイルス感染対策により中止	中止	10	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)	ケアチームにおける指導的立場としてチーム員の知識・技術・態度を指導する能力及びチームリーダーとしてのチームマネジメント能力を修得(全10日+実習)
63		認知症対応型サービス事業 管理者研修(西部)	60 26-25	2/17,18	2	浜松市福祉交流センター	(行政からの受託研修、募集・申込先は行政)
	認知症対応型サービス事業 管理者研修(中部)	60 59-59	3/10,11	2	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)		
	認知症対応型サービス事業 管理者研修(東部)	60 46-46	3/3,4	2	三島商工会議所		

講師	対象	受講料 (会員)	満足度(上段:件数(人)、下段:率(%))					担当課
			満足	やや満足	やや不満	不満	未回答	
公益財団法人 静岡看護協会 訪問看護ステーションいわた所長 訪問看護認定看護師 長瀬 由美 氏	高齢者福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	5,000 (3,000)	29 70.7%	12 29.3%	0 0.0%	0 0.0%	0	研修課
市立島田市民病院 看護部 看護師長 皮膚排泄ケア認定看護師 奈木 志津子 氏	高齢者福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	5,000 (3,000)	40 85.1%	7 14.9%	0 0.0%	0 0.0%	0	
静岡 市立清水 病院 慢性心不全看護 認定看護師 平岡 佐知子	高齢者福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	5,000 (3,000)	18 72.0%	7 28.0%	0 0.0%	0 0.0%	0	
静岡家庭裁判所 ふるい後見事務所 認定社会福祉士 古井 慶治 氏	市町行政担当職員、地域包括支援センター職員、市町社協職員	無料	121 49.2%	41 16.7%	6 2.4%	0 0.0%	78	権利擁護課
ふるい後見事務所 認定社会福祉士 古井 慶治 氏 特別養護老人ホーム カリタス21 施設長 海野 直秀 氏 掛川工房つつじ 施設長 滝口 裕二 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方、市町行政担当職員、市町社協職員	無料	115 59.3%	76 39.2%	3 1.5%	0 0.0%	0	
医療法人財団 百葉の会 人材開発室部長 高口 光子 氏	高齢者福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	5,000 (3,000)	49 80.3%	12 19.7%	0 0.0%	0 0.0%	0	
医療法人中村会 老健あさひな 認知症介護レクリエーション実践研究会 尾波 順子 氏	高齢者福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	5,000 (3,000)	23 79.3%	12 19.7%	0 0.0%	0 0.0%	0	
生活とりハビリ研究所 代表 三好 春樹 氏	高齢者福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	5,000 (3,000)	19 86.4%	3 13.9%	0 0.0%	0 0.0%	0	
介護老人保健施設 ケアセンターゆうゆう 認知症フロア専属作業療法士 安藤 祐介 氏	高齢者福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	5,000 (3,000)	39 86.7%	6 13.3%	0 0.0%	0 0.0%	0	
静岡県認知症介護指導者の会 指導者 他	認知症介護に携わる方	テキスト代等	58 95.1%	3 4.9%	0 0.0%	0 0.0%	0	研修課
			13 86.7%	2 13.3%	0 0.0%	0 0.0%	0	
			34 91.9%	2 5.4%	0 0.0%	0 0.0%	1	
静岡県認知症介護指導者の会 指導者	高齢者介護の実務経験が概ね2年以上の方	43,000	46 79.3%	10 17.2%	0 0.0%	0 0.0%	2	研修課
			43 74.1%	9 15.5%	2 3.4%	1 1.7%	3	
			50 90.9%	5 9.1%	0 0.0%	0 0.0%	0	
			47 90.4%	3 5.8%	1 1.9%	0 0.0%	1	
			45 80.4%	8 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	3	
	高齢者介護の実務経験が概ね5年以上で、認知症介護実践者研修修了後1年経過している者	80,000	-	-	-	-	-	
静岡県認知症介護指導者の会 指導者 他	認知症対応型通所介護事業所・(看護)小規模多機能型居宅介護事業所・認知症対応型共同生活介護事業所の管理者	4,500	18 75.0%	5 20.8%	1 4.2%	0 0.0%	0	研修課
			47 81.0%	10 17.2%	0 0.0%	0 0.0%	1	
			34 75.6%	11 24.4%	0 0.0%	0 0.0%	0	

分野	番号	研修名	定員 申込-受講	実施日	日 数	会場	内容	
専門技術力を身につける	認知症ケア	64	小規模多機能型サービス等 計画作成担当者研修(中部)	35 29-26	1/25.26	2	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)	(行政からの受託研修、募集・申込先は行政)
			小規模多機能型サービス等 計画作成担当者研修(西部)	35 12-11	2/3.4	2	浜松労政会館	
		65	認知症対応型サービス事業 開設者研修	45 18-18	10/14	1	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)	(行政からの受託研修、募集・申込先は行政)
	リスク防止	66	介護記録の書き方・活かし方講座	60 61-68	9/3	1	オンライン	介護職に必要な介護記録の書き方・活かし方の基礎的知識の 習得
		67	高齢者施設のリスクマネジメント講座 in web講座	90 60-52	2/21	1	オンライン	高齢者施設・事業所の危機管理・安全管理に必要な基礎的知識・ 技術の習得
		68	リスクマネジメント講座(防災・防犯編)	90 53-53	2/28	1	オンライン	高齢者施設・事業所の危機管理・安全管理に必要な基礎的知識・ 技術の習得
		69	子どもがいる現場の リスクマネジメント講座	90 51-50	2/19	1	オンライン	子どもがいる現場での危機管理・安全管理に必要な知識・技術の 習得
		70	高齢者の転倒予防講座	70 76-73	12/21	1	オンライン	高齢者の転倒予防について、必要な知識・技能の習得
		71	高齢者虐待の予防と対応	60 66-66	2/7	1	オンライン	虐待防止への取り組みと発生時の対応方法等、管理者等に 必要な知識を習得する
		72	身体拘束は廃止できます ～私たちは縛りたくない～	90 91-87	8/6	1	オンライン	身体拘束について理解を深め、責任の所在やチームケアのあり 方を学ぶ
	職種別	73	福祉サービス苦情解決研修会	80 91-86	11/26.12/7	1	オンライン	社会福祉事業者に寄せられる苦情対応の変化に対応する実 践力と再発防止力を強化するための知識、技術等を習得す る。
		74	相談員・ケアマネのための 栄養ケアWeb講座	90 22-22	9/10	1	オンライン	個別援助計画やケアプラン作成の際に役立つ栄養学を学ぶ
		75	看護職員研修～急変時対応～	70 42-40	8/5	1	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)	社会福祉施設等に勤務する看護職員に必要な知識・技術の 習得
		76	ホームヘルパー一般研修① (県ホームヘルパー連絡協議会)	40 31-25	6/8	1	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)	ヘルパー研修 在宅ヘルパーの感染対策
			" ②	- 39-39	8/16～8/31	1	Web配信	ヘルパー研修 ～誰かの支えになろうとする人こそ、一番支えを必要として いる～
			" ③	- 51-51	11/15～ 11/30	2	Web配信	ヘルパー研修 訪問系介護事業所におけるBCP作成支援研修
		77	サービス提供責任者研修① (県ホームヘルパー連絡協議会)	- 51-51	7/15～8/1	1	Web配信	サービス提供責任者研修 訪問系介護サービスにおけるリス クマネジメント ～介護事故や過度なクレームや苦情、災害への 備えについて～
			" ②	- 55-55	10/18～ 11/3	1	Web配信	サービス提供責任者研修 介護事業所のケアマネジメント
			" ③	- 36-36	1/14～1/31	1	Web配信	サービス提供責任者研修 障がい者の居宅支援
		78	肢体不自由児療育指導者講習①-1 (県肢体不自由児協会)	新型コロナウイルス 感染対策に より中止	中止			肢体不自由児の総論(入門講座)
			" ①-2	新型コロナウイルス 感染対策に より中止	中止			訓練の基本(実技を含む)
	79	肢体不自由児療育指導者講習②-1 (県肢体不自由児協会)	新型コロナウイルス 感染対策に より中止	中止			脳性麻痺の概論	
		" ②-2	新型コロナウイルス 感染対策に より中止	中止			脳性麻痺の訓練入門(実技を含む)	

講師	対象	受講料 (会員)	満足度(上段:件数(人)、下段:率(%))					担当課	
			満足	やや満足	やや不満	不満	未回答		
静岡県認知症介護指導者の会 指導者 他	(看護)小規模多機能型居宅介護事業所の計画作成担当者であって認知症介護実践研修修了者	6,000	21 80.8%	5 19.2%	0 0.0%	0 0.0%	0		
			7 70.0%	2 20.0%	1 10.0%	0 0.0%	0		
静岡県認知症介護指導者の会 ほか	(看護)小規模多機能型居宅介護事業所・認知症対応型共同生活介護事業所の代表者	5,000	17 94.4%	1 5.6%	0 0.0%	0 0.0%	0		
健康科学大学 健康科学部 准教授 梅沢 佳裕 氏	高齢者福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	5,000 (3,000)	24 54.5%	20 45.5%	0 0.0%	0 0.0%	0		
株式会社 安全な介護 代表取締役 山田 滋 氏	高齢者福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	6,000 (4,000)	33 91.7%	3 8.3%	0 0.0%	0 0.0%	0		
株式会社 安全な介護 代表取締役 山田 滋 氏	保育所・児童福祉施設等に勤務する方	6,000 (4,000)	28 73.7%	9 23.7%	1 2.6%	0 0.0%	0		
社会福祉法人八越会ちどり保育園 副園長 吉岡 敦志 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	5,000 (3,000)	25 89.3%	3 10.7%	0 0.0%	0 0.0%	0		
静岡リハビリテーション病院 リハビリテーション部 理学療法科 主任 田中 幸平 氏	高齢者福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	5,000 (3,000)	44 81.5%	10 18.5%	0 0.0%	0 0.0%	0		
(一社)権利擁護支援プロジェクトもす 社会福祉士・主任介護専門員 小川 久美子 氏	高齢者福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	5,000 (3,000)	29 60.4%	16 33.3%	2 4.2%	0 0.0%	1		
医療法人財団 百葉の会 人材開発室部長 高口 光子 氏	介護保険施設・事業所に勤務する方	5,000 (3,000)	40 78.4%	11 21.6%	0 0.0%	0 0.0%	0		
㈱ツクイスタッフ講師 喜山志津香	苦情解決責任者・苦情受付担当者・第三者委員等	6,000 (4,000)	66 79.5%	17 20.5%	0 0.0%	0 0.0%	0	地域福祉課	
順天堂大学 保健看護学部 前任准教授 藤尾 祐子 氏	社会福祉施設等に勤務する看護職員	6,000 (4,000)	11 64.7%	4 23.5%	1 5.9%	0 0.0%	1	研修課	
日本赤十字社 静岡赤十字病院 クリティカルケア特定認定看護師 池田 朋美 氏	社会福祉施設等に勤務する看護職員	6,000 (4,000)	28 68.3%	12 29.3%	0 0.0%	0 0.0%	1		
公益社団法人静岡県看護協会 感染管理認定看護師 濱田 真由美 氏	ヘルパー協会会員	5,000 (2,000)	19 76.0%	5 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	1	経営支援課	
たんぽぽ診療所 院長 遠藤 博之 氏	ヘルパー協会会員	5,000 (2,000)	17 43.6%	6 15.4%	1 2.6%	0 0.0%	15		
びわこ学院大学 教育福祉学部 教授 株式会社福祉リスクマネジメント研究所 所長 一般財団法人鳥野財団 代表理事 鳥野 猛 氏	ヘルパー協会会員	5,000 (2,000)	26 51.0%	3 5.9%	0 0.0%	0 0.0%	22		
びわこ学院大学 教育福祉学部 教授 株式会社福祉リスクマネジメント研究所 所長 一般財団法人鳥野財団 代表理事 鳥野 猛 氏	ヘルパー協会会員 (主にサービス提供責任者)	5,000 (2,000)	21 41.2%	12 23.5%	0 0.0%	0 0.0%	18		
静岡県健康福祉部福祉指導課 参事 平野 義徳 氏	ヘルパー協会会員 (主にサービス提供責任者)	3,000 (1,000)	18 32.7%	18 32.7%	0 0.0%	0 0.0%	19		
浜松市障がい者基幹相談支援センター 相談員 玉澤 卓也 氏	ヘルパー協会会員 (主にサービス提供責任者)	5,000 (2,000)	16 44.4%	11 30.6%	1 2.8%	0 0.0%	8		
	肢体不自由児の療育に携わる特別支援学校・社会福祉施設職員等	4,500	-	-	-	-	-		
	肢体不自由児の療育に携わる特別支援学校・社会福祉施設職員等	4,500	-	-	-	-	-		
	肢体不自由児の療育に携わる特別支援学校・社会福祉施設職員等	4,500	-	-	-	-	-		
	肢体不自由児の療育に携わる特別支援学校・社会福祉施設職員等	4,500	-	-	-	-	-		

分野	番号	研修名	定員 申込-受講	実施日	日 数	会場	内容
専門技術力を身につける 職種別	80	肢体不自由児療育指導者講習③-1 (県肢体不自由児協会)	新型コロナウイルス感染対策により中止	中止			脳性麻痺の各論
		" ③-2	新型コロナウイルス感染対策により中止	中止			脳性麻痺の訓練(実技を含む)
	81	肢体不自由児療育指導者講習④-1 (県肢体不自由児協会)	新型コロナウイルス感染対策により中止	中止			成人脳性麻痺
		" ④-2	新型コロナウイルス感染対策により中止	中止			成人脳性麻痺者のリハビリテーション
	82	コミュニティワーク研修会①	50 19-19	11/24	1	WEB開催	「住民主体」の根底となる、住民間の合意形成や地域課題を明確にすること等、コミュニティワークについての理解を深める
		" ②	50 23-23	1/20	1	WEB開催	
		" ③	50 25-25	2/2	1	WEB開催	
	83	ボランティアコーディネーター研修	50 10-9	1/15	1	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)	ボランティアコーディネーターとして必要な知識と技術の習得を図る
	84	生活支援コーディネーター養成研修	- 162-104	7/14	1	WEB配信	地域支援事業における生活支援体制整備事業の生活支援コーディネーターに必要な知識と技術の習得を図る
	85	生活支援コーディネータースキルアップ研修	- 130-110	11/26	1	WEB配信	生活支援コーディネーターのスキルアップを図るために必要な知識と技術の習得を図る
	86	市町村協 監事研修	- -- 42	4/12	1	WEB配信	監事の役割と必要な知識について
	87	市町村協 新任事務局長研修	- 9-9	4/23		Zoom	社協組織の特性、基本理念、法的な位置付け(設立経過)等
	88	社協災害対応研修会① (市町村協災害ボランティア担当者人材育成研修会) 第1回(実践編)	60 46-46	6/17	1	WEB配信	災害ボランティアセンター担当者の実務スキルを高めるための研修。第1回テーマは技術系支援団体
		" ② 第2回(運営編)	60 47-47	11/29	1	WEB配信	災害ボランティアセンター担当者の実務スキルを高めるための研修。第2回はR3年7月豪雨災害支援振り返り。
		" ③ 第3回(広報&ICT活用編)	60 51-51	3/9	1	WEB配信	災害ボランティアセンター担当者の実務スキルを高めるための研修。第3回は広報・ICT活用。
	89	CSW実践者養成研修 <地域福祉コーディネーター>	30 27-26	7/9,10 2/25,26 (4日間)	4	WEB開催	具体的な事例を通して、コミュニティソーシャルワーク技法を講義と演習形式により習得する
	90	CSW実践者スキルアップ研修	50 25-24	8/24	1	WEB開催	コミュニケーションソーシャルワーカーの実践に必要な理論・アプローチをテーマ別に学ぶ
	91	日常生活自立支援事業 新任専門員研修会	500 26-24	6/12	1	Web配信	専門員としての心構え、基礎的知識の習得
92	日常生活自立支援事業 専門員研修会	20 -- --	3/8~3/31	1	動画配信	利用者死亡の場合の手続きについて	
93	日常生活自立支援事業 新任生活支援員研修会		令和3年度 未実施	1	静岡市	日常生活自立支援事業の業務について	
94	日常生活自立支援事業 現任生活支援員研修会	250 325 - 300	12/14		ハイブリッド Web配信 +配信内容録画DVD配布	「支援に役立つコミュニケーション技法について」~利用者とは信頼関係を築くための工夫とは?~	

講師	対象	受講料 (会員)	満足度(上段:件数(人)、下段:率(%))					担当課
			満足	やや満足	やや不満	不満	未回答	
	肢体不自由児の療育に携わる特別支援学校・社会福祉施設職員等	4,500	-	-	-	-	-	経営支援課
	肢体不自由児の療育に携わる特別支援学校・社会福祉施設職員等	4,500	-	-	-	-	-	
	肢体不自由児の療育に携わる特別支援学校・社会福祉施設職員等	4,500	-	-	-	-	-	
	肢体不自由児の療育に携わる特別支援学校・社会福祉施設職員等	4,500	-	-	-	-	-	
シビックテック・ラボ代表 市川 博之 氏		無料	13 68.4%	5 26.3%	1 5.3%	0 0.0%	0	地域福祉課
静岡福祉大学 増田 樹郎 氏	市町社協職員,市町行政職員,生活支援コーディネーター	無料	6 26.1%	13 56.5%	1 4.3%	0 0.0%	3	
駒澤大学 文学部 社会学科 社会福祉学専攻教授 川上富雄 氏		無料	19 76.0%	6 24.0%	0 0.0%	0 0.0%	0	
(認定特定非営利活動法人ボランティアコーディネーター協会)疋田恵子 氏	地域においてボランティアコーディネーターに関わる方等	無料	5 55.6%	4 44.4%	0 0.0%	0 0.0%	0	
静岡県立大学経営情報学部 教授 東野 定律 氏	第1層及び第2層を活動対象とする生活支援コーディネーターとその候補者	無料	66 61.7%	38 35.5%	3 2.8%	0 0.0%	0	
三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 主席研究員 岩名 礼介 氏	第1層及び第2層を活動対象とする生活支援コーディネーターとその候補者	無料	52 83.9%	10 16.1%	0 0.0%	0 0.0%	0	
公認会計士 杉山 明喜雄 氏	市町社協監事	無料	-	-	-	-	-	
静岡県社会福祉協議会職員	市町社協新任事務局長	無料	-	-	-	-	-	
県内外市町社協職員、技術系NPO等	市町社協災害ボランティア担当者	無料	56 51.9%	44 40.7%	0 0.0%	0 0.0%	8	
日本社会事業大学 准教授 菱沼 幹男 氏 ほか	地域福祉関係職員、地域包括支援センター関係職員	15,000	22 73.3%	2 6.7%	2 6.7%	0 0.0%	4	
日本社会事業大学 准教授 菱沼 幹男 氏	CSW養成研修受講者	無料	21 87.5%	3 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	0	
県社協職員及び熱海市社協職員	市町社協専門員	無料	9 37.5%	6 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	9	権利擁護課
西尾智美法律事務所 弁護士 西尾智美氏	市町社協専門員	無料	6 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0	
	市町社協新任生活支援員	無料	-	-	-	-	-	
一般社団法人静岡市清水医師会 在宅医療介護相談室長 安藤 千晶 氏 静岡市清水区港南地域包括支援センター 赤木 恭子 氏	市町社協現任生活支援員	無料	93 31.0%	57 19.0%	2 0.7%	0 0.0%	148	

分野	番号	研修名	定員 申込-受講	実施日	日 数	会場	内容	
専門技術力を身につける	職種別	95	生活困窮者自立支援事業 従事者養成研修	50 - - -		ハイブリッド Web配信 +現地	生活困窮者自立支援法の理念、業務理解、ケース検討、グループワークなど	
		96	生活福祉資金新任担当者研修会	50 - - -	5月	WEB配信	・生活福祉資金貸付制度の概要(「業務運営の手引き」) ・生活福祉資金貸付制度と生活困窮者自立支援制度の連携	
		97	生活福祉資金担当者会議	50 - - -	4/8 6/21 9/9 12/13 3/16	WEB配信	・生活福祉資金特例貸付の延長等について	
専門技術力を身に付ける			5,875 5,697 - 4,210					
人間力を高める	対人関係	98	コンプライアンス講座	60 40-33	6/9	1	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)	福祉サービス事業従事者が最低限備えておくべき、コンプライアンスと職業倫理の基礎的知識の習得
		99	権利擁護・成年後見セミナー	60 46-41	9/22	1	オンライン	認知症高齢者や知的障がい者等を支援する職員として必要な権利擁護・成年後見の実践的知識の習得
		100	接遇・マナー・コミュニケーション講座	60 60-60	5/27	1	オンライン	接遇の心理学、ビジネスマナー、利用者・家族・スタッフ同士の連携を取るコミュニケーション、自分自身のこころのケアについて学ぶ
		101	アンガーマネジメントを学ぶ講座	90 38-32	3/5	1	オンライン	介護の現場等で怒りの感情を上手にコントロールしながら相手と接するためのスキルを学ぶ
		102	スーパービジョン講座	新型コロナウイルス感染対策により延期	延期	1	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)	福祉専門職を養成するためのスーパービジョンを学ぶ
		103	利用者家族とのより良い関係づくり講座(web)	60 52-52	2/16	1	オンライン	入居者家族が抱える想いを理解し、より良い関係づくりのためのポイントやアプローチ方法を学ぶ
		104	共感を得る「ことば」講座	60 78-77	10/15	1	オンライン	DJボリスも学んだスピーチロックとは！？ 「相手を制限する言葉」から「相手を受け入れる言葉」を旨とし、「言葉選び」の重要性を考える
		105	福祉職場のストレスマネジメント講座 in web	60 69-69	12/3	1	オンライン	介護職・福祉職が抱えがちなストレスについて認識し、ストレスを上手にコントロールする方法を学び、心身共に安定した状態になることで、サービスの質の向上を図る
		106	メンタルヘルス講座	60 54-52	6/21	1	オンライン	メンタルヘルス不調を防止し、職員が生き生きと働ける活気ある職場づくりのための手法や管理者・管理職に求められる役割について学ぶ
		107	人を動かすしつけ学講座	90 91-78	11/22	1	オンライン	「つい行動したくなる」で話題の「仕掛学」とは！人を動かす「仕掛け」のアイデアづくりの考え方を事例を通して学び、課題解決につなげられることを目指す
人間力を高める			600 528 - 494					
地域福祉を支える力を身につける	108	法定地区民児協会長研修会 (県民生委員児童委員協議会)	-			中止	法定地区会長に求められる役割	
	109	主任児童委員研修会 (県民生委員児童委員協議会)	80 - 70	2/9,2/10	1	WEB配信	主任児童委員の役割について協議し、地域における児童委員活動の推進を図る	
	110	民生委員・児童委員のための相談技法に関する研修会 (県民生委員児童委員協議会)	120 - 229	8/30,31 9/13~9/30	3	①・②WEB開催 ③講義動画	民生委員活動の基本となる相談面接スキル等の習得を図る	
	111	地域福祉教育推進セミナー	50 76-76	12/2	1	WEB開催	基調講演とトークセッションをおして、地域共生社会の実現に向けて参加者の皆さまとともに考える	
	112	福祉の職場体験	- 279-209	4月~ 2月	622	県内社会福祉事業所	福祉の施設体験	

講師	対象	受講料 (会員)	満足度(上段:件数(人)、下段:率(%))					担当課
			満足	やや満足	やや不満	不満	未回答	
	自立相談支援員、市町行政担当職員	無料	-	-	-	-	-	
小山町社会福祉協議会 常務理事 原 秀人 氏	市町村協職員	無料	-	-	-	-	-	生活支援課
静岡県社会福祉協議会 生活支援課	市町村協職員	無料	-	-	-	-	-	
			2,343 67.4%	744 21.4%	36 1.0%	1 0.0%	350	
ふるい後見事務所 認定社会福祉士 古井 慶治 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	6,000 (4,000)	26 83.9%	5 16.1%	0 0.0%	0 0.0%	0	研修課
ふるい後見事務所 認定社会福祉士 古井 慶治 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	6,000 (4,000)	19 73.1%	6 23.1%	0 0.0%	0 0.0%	1	
コミュニケーションハウス 代表 坂倉 裕子 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	6,000 (4,000)	44 88.0%	5 10.0%	0 0.0%	0 0.0%	1	
横浜市立大学 医学部看護学科 講師 田辺 有理子 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する中堅職員以上の方	5,000 (3,000)	19 82.6%	4 17.4%	0 0.0%	0 0.0%	0	
	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	6,000 (4,000)	-	-	-	-	-	
大妻女子大学 人間関係学部 人間福祉学科 准教授 井上 修一 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	5,000 (3,000)	22 64.7%	11 32.4%	1 2.9%	0 0.0%	0	
(株)はあもにい 代表取締役 大野 晴巳 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	6,000 (4,000)	43 84.3%	7 13.7%	1 2.0%	0 0.0%	0	
産業カウンセラー 横山美弥子 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	5,000 (3,000)	35 71.4%	14 28.6%	0 0.0%	0 0.0%	0	
横浜市立大学 医学部看護学科 講師 田辺 有理子 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する中堅職員以上の方	5,000 (3,000)	23 60.5%	14 36.8%	0 0.0%	0 0.0%	1	
大阪大学 経済学研究科 教授 村松 真宏 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	5,000 (3,000)	18 38.3%	19 40.4%	8 17.0%	2 4.3%	0	
			249 71.3%	85 24.4%	10 2.9%	2 0.6%	3	
(合)泉恵造研修企画工房 代表社員 泉 恵造 氏	県民児協会員(法定地区民児協会長等)	無料	-	-	-	-	-	地域福祉課
(株)越谷心理支援センター 公認心理士・臨床心理士 石渡 淳嗣 氏	県民児協会員(民生委員・児童委員)	無料	40 57.1%	18 25.7%	0 0.0%	0 0.0%	12	
静岡福祉大学 増田 樹郎 氏 認定NPO法人クリエイティブサポートレッツ 理事長 久保田 翠 氏 skybeans HAAHANOLABO 代表 二宮 奈緒子 氏	学校教諭、教育委員会職員、地区社協役員・関係者、社会福祉施設職員、社協職員、福祉関係者	無料	49 64.5%	8 10.5%	4 5.3%	1 1.3%	14	
	福祉職に関心のある方、福祉職場に就労を希望する方	無料	-	-	-	-	-	人材課

分野	番号	研修名	定員 申込-受講	実施日	日 数	会場	内容
地域福祉を支える力を身につける	113	介護のシゴト復職応援セミナー	- 625-625	4/22~3/12	30	県内30か所	・介護に関する基本的な知識や技術の再確認及び、最新の知識及び技術の習得 ・介護現場の現状 など
	114	保育士さん就職応援セミナー(中部1)	- 103-103	7/11	1	オンライン (オンラインツールRemo)	・午前の部「就職先選びの3つのポイント」 ・午後の部「より良い保護者対応」
		保育士さん就職応援セミナー(中部2)	- 58-46	1/16	1	グランシップ	「絵本の読み方 愛情いっぱい、読み手も楽しむ♪」
		保育士さん就職応援セミナー(西部)	- 9-8	1/15	1	i プラザ	「絵本の選び方 大切にしたいことは？」
		保育士さん就職応援セミナー(東部)	- 21-9	1/29	1	富士市交流プラザ	「絵本をつかってふれあいましょう！こどもたちの笑い声が幸せを運びます♪」
	115	フォローアップセミナー(新任職員対象)	90 74-72	11/5、 11/19、 11/29	3	サーラシティ浜松 シズウエル プラサヴェルデ	・仕事のやりがいや魅力の再確認・ビジネスマナー ・事業所を超えた仲間づくり
	117	外国人介護職員研修交流会(前期)	210 57-53	7回 (9月)	7	Zoom	外国人介護職員の職場定着とスキルアップを目指す
		外国人介護職員研修交流会(後期)	240 44-40	8回 (2月)	8	Zoom	外国人介護職員の職場定着とスキルアップを目指す
	118	静岡DWAT登録員養成研修	50 46-46	2/28		オンライン	静岡県災害派遣福祉チーム(静岡DWAT)として活動するための基礎知識を学ぶ
	119	京都DWAT合同研修会	- 15-15	12/21		オンライン	静岡県災害派遣福祉チーム(静岡DWAT)として活動するために必要な知識やスキルを学ぶ
	120	静岡DWAT支部活動検討会	90 52-52	西部6/11 東部6/15 中部6/16	3	オンライン	静岡DWAT登録員どうしの顔の見える関係づくりを進めるとともに、平時の取組の活性化を図る
	地域福祉を支える力を身につける			930 1,407-1,302			
合計			9,455 10,647-8,917				

講師	対象	受講料 (会員)	満足度(上段:件数(人)、下段:率(%))					担当課	
			満足	やや満足	やや不満	不満	未回答		
社会福祉法人湧泉会 特別養護老人ホームかわせみ 理事長 三井 陽平 氏 他	介護施設等の離職者で介護職に復帰を希望する方	無料	390 62.4%	151 24.2%	20 3.2%	7 1.1%	57	人材課	
大阪教育大学 健康安全教育学系教育学部 教員養成課程家政教育部門 教授 小崎 恭弘 氏	保育所等への就業を希望している方	無料	16 15.5%	21 20.4%	1 1.0%	0 0.0%	65		
株式会社 倉鐘 上藤 美紀代 氏 (絵本専門士・ヴォイスセラピー実践研究家・元SBSアナウンサー)	保育所等への就業を希望している方	無料	44 95.7%	1 2.2%	0 0.0%	0 0.0%	1		
		無料	3 37.5%	5 62.5%	0 0.0%	0 0.0%	0		
		無料	8 88.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1		
ハートフルSRS NPO法人静岡SRRP研究会 代表 新谷 真弓 氏	合同入職式に出席した方	無料	44 61.1%	26 36.1%	2 2.8%	0 0.0%	0		
静岡大学国際連携推進機構 特任准教授 比留間洋一氏 ほか	県内の外国人介護職員、留学生	無料	34 64.2%	12 22.6%	1 1.9%	0 0.0%	6		
静岡大学国際連携推進機構 特任准教授 比留間洋一氏 ほか	県内の外国人介護職員、留学生	無料	24 60.0%	7 17.5%	2 5.0%	0 0.0%	7		
静岡県立大学短期大学部 社会福祉学科 准教授 鈴木 俊文 氏 他	静岡DWAT登録員支援協力申出書を提出している法人・施設の所属職員	無料	28 60.9%	10 21.7%	0 0.0%	0 0.0%	8		経営支援課
株式会社富士通総研コンサルティング本部 行政経営グループ 名取 直美 氏 華頂短期大学幼児教育学科 教授 武田 康晴 氏	静岡DWAT登録員	無料	5 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	10		
	静岡DWAT登録員	無料	13 25.0%	6 11.5%	1 1.9%	0 0.0%	32		
			741 57.1%	300 23.1%	35 2.7%	8 0.6%	213		
			4,470 63.6%	1,621 23.1%	106 1.5%	14 0.2%	821		

社会福祉法人静岡県社会福祉協議会

〒420-8670

静岡市葵区駿府町 1-70

TEL 054-254-5248 FAX 054-251-7508

令和4年6月